

# 商品総合カタログ

電線共同溝用品  
地中線管路材用品

## 株式会社 日本ネットワークサポート

本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目6番2号  
(KFセンタービル)

配電営業部 TEL.06-7506-9632 FAX.06-6264-0532  
電力営業部 TEL.06-7506-9635 FAX.06-6264-0536  
電設営業部 TEL.06-7506-9638 FAX.06-6264-0550

東日本本部 〒279-0011 千葉県浦安市美浜1-9-2  
(浦安ブライトンビル2F)  
TEL.047-381-0061(代) FAX.047-381-0235

九州本部 〒807-0877 福岡県北九州市八幡西区浅川942番地203  
TEL.093-692-2818 FAX.093-692-1322

# ● Head office & Factory



## ● 本社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目6番2号  
KFセンタービルディング  
TEL.06-6264-8501(代表) FAX.06-6264-8520  
URL:<http://www.nnets.co.jp>

## ● 滋賀工場 (金属製品製造)



## ● 播磨工場 (コンクリート製品製造)



## ● 佐野工場 (がいし製品製造)

## ISO9001 審査登録

(登録番号) JQA-0670

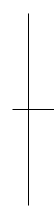
(登録日) 1994.11.11

(登録範囲) ・ 下記製品の設計・開発及び製造

[金属製品関係] 地中ケーブル保護鋼管 (C・C・BOX用)、一般鋼管柱 (NAポールSH、全閉型ポール、SEポール、セパレートポール、タウンポール、及びドリームポール)、組立鋼管柱、及び軽量組立鋼管柱

[コンクリート製品関係] コンクリートポール、

[碍子製品関係] 送電線用碍子、配電線用碍子、電車線用碍子、通信線用碍子、変電用碍子、及び電気機器用碍子



# 目次

● ケーブル保護管	
ケーブル保護バンド管	1-1
ケーブル立上り用保護鋼管	1-2
ケーブル保護鋼管用継手B	1-3
鉄製キャップ	1-4
鉄製キャップ(フック付き)	1-4
異径管継手(屋側配管用)	1-5
ユニジョイント	1-6
ユニジョイント(異径継手)	1-6
● 管路材料	
管路橋	2-1
橋梁添架	2-2
不同沈下対策用管路	
ポリエチレン製可とう管用継手(FPJ)	2-3
ケーブル保護伸縮鋼管(KEP)	2-3
ポリエチレン製可とう管(KFP)	2-3
メタルパワー	
メタルパワー管路	2-4
直管継手	2-5
ベルマウス	2-5
予備管ふた	5-5
異種管継手	2-6
角型TACレックス	
角型TACレックス	2-7
継手	2-8
異種管用アダプター	2-9
角型TACレックスアダプター	2-10
FRPパイプ(橋梁添架管用)	2-11
FRPパイプ継手	
中間継手	2-12
伸縮継手	2-12
FRPパイプクリート	2-13
硬質塩化ビニル管	
電力ケーブル保護管CCVP	
直管	2-14
曲管、ダクトスリーブ、鋼管(SP)用異種管継手	2-15
通信ケーブル保護管ボディV管	2-16
通信ケーブル保護管フリーアクセスV管 SUD-IV管	2-17
通信ケーブル保護管P-Vカン	2-18
保護管用管枕	2-19



● 共用柱	
共用柱	3-1
照明灯・高圧柱	3-2
照明灯・低圧柱	3-4
● 電線共同溝	
電線共同溝 (C-C-BOX) コンクリート製品	4-1
ハンドホール一般組立例	4-2
C-C-BOX	4-4
特長	4-4
設計条件	4-5
● プレキャストハンドホール	
プレハブ基礎Ⅰ型シリーズ	
プレハブ基礎Ⅰ型 タイプ2	5-1
プレハブ基礎Ⅰ型 神戸2連タイプ7	5-2
プレハブ基礎Ⅰ型 2連一体型	5-3
プレハブ基礎Ⅰ型 Uタイプ 1連 H=1100	5-4
プレハブ基礎Ⅰ型 Uタイプ 2連 H=1100	5-5
プレハブ基礎Ⅰ型 Uタイプ 2連 H=800	5-6
プレハブ基礎Ⅰ型 Uタイプ 2連 H=700	5-7
プレハブ基礎Ⅰ型 Uタイプ 2連 H=550	5-8
機器据付ブロックⅠ-100 (H=150・200)	5-9
高さ調整ブロックⅠ-145 (H=150・200・300)	5-10
金蓋取付ブロックⅠ-100 φ880穴	5-11
金蓋取付ブロックⅠ型 600×1200	5-12
蓋版ブロックⅠ型	5-13
プレハブ基礎Ⅱ型シリーズ	
プレハブ基礎Ⅱ型 タイプ6	5-14
機器据付ブロックⅡ-100	5-15
金蓋取付ブロックⅡ型 φ880穴	5-16
金蓋取付ブロックⅡ型 600×1200	5-17
高さ調整ブロックⅡ-100 (H=150・200・400)	5-18
高さ調整ブロックⅡ-195 (H=200・300)	5-19
高さ調整ブロックⅡ-195 (H=400・500)	5-20
プレハブ基礎Ⅲ型シリーズ	
プレハブ基礎Ⅲ型 3連 タイプ1	5-21
金蓋取付ブロックⅢ型 φ880穴・蓋版ブロックⅢ型	5-22
プレハブ基礎S型シリーズ	
プレハブ基礎S1型 タイプ1	5-23
プレハブ基礎S2型 タイプ1	5-24
機器据付ブロックS-100 (H=200)	5-25
首座ブロックS型 (H=200)	5-26
蓋版ブロックS型 (H=150)	5-26

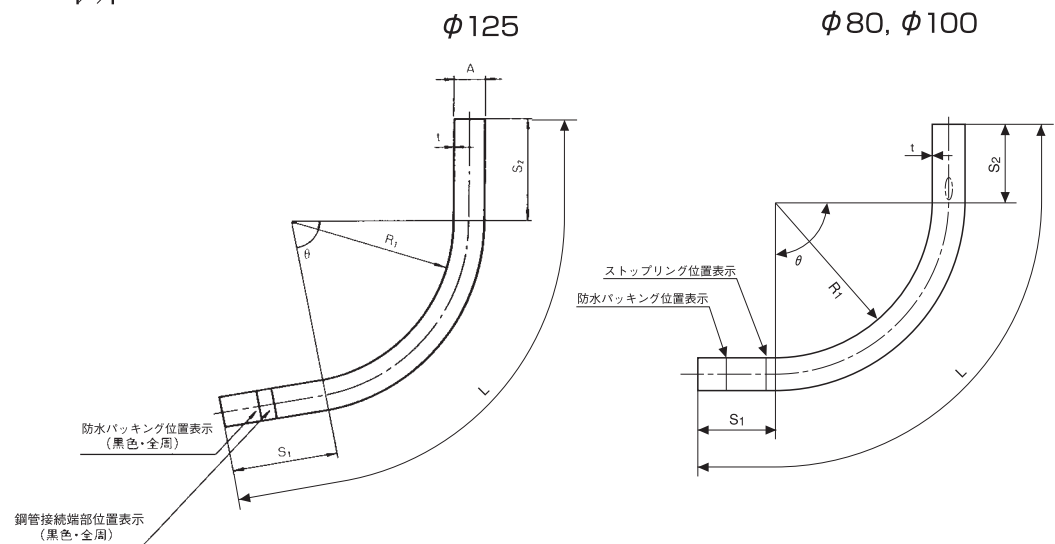
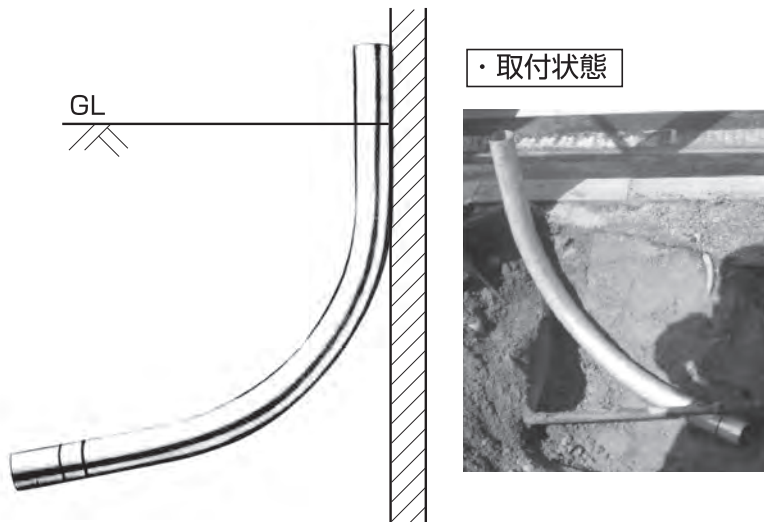


ハンドボールシリーズ	
600×1,100×1,200 タイプ4	5-27
600×1,100×1,200 タイプ14	5-28
通信用高さ調整ブロック	5-29
800×800×1,120 タイプ1	5-30
低圧用樹シリーズ	
R-1型 H=1100	5-31
R-1型 H=1300	5-32
金蓋取付ブロックR-1型 φ600穴	5-33
引込用分岐樹(関電仕様)	5-34
引込用分岐樹高上げブロック タイプ1(H=200)	5-35
低圧分岐樹 タイプ3	5-36
低圧分岐樹 タイプ4	5-37
RT樹シリーズ	
プレハブ基礎RT型 1222	5-38
プレハブ基礎RT型 9522	5-39
RT樹用出入口ブロック(φ700・φ750)	5-40
その他製品	
防護板	5-41
埋設標示板	5-42
● プレハブマンホール	
プレハブマンホールA型シリーズ	
プレハブマンホールA5型	6-1
プレハブマンホールA51型	6-2
プレハブマンホールA5G型	6-3
プレハブマンホールA3型	6-4
プレハブマンホールA31型	6-5
プレハブマンホールA32型	6-6
プレハブマンホールA2型	6-7
プレハブマンホールA1型	6-8
プレハブマンホールB型シリーズ	
プレハブマンホールB2L・R型	6-9
プレハブマンホールB1L・R型	6-11
プレハブマンホールπ型シリーズ	
プレハブマンホールπ2型	6-13
プレハブマンホールπ1型	6-15
首座ブロック	6-17
基礎ブロック	6-18
● プレハブマンホール(施工)	
掘削の標準寸法	7-1
基礎工	7-1
据付工	7-1
管路の取付け	7-3
関連商品(取扱商品)	
鉄蓋	7-4

# ケーブル保護管

## ケーブル保護ベンド管

\* 電柱・その他構造物への立上げ用ベンド管



寸法表

単位：mm

商品コード	寸法 管の呼び径	管の外径 A	直線部		曲げ半径 $R_1$	曲げ角度 $\theta^\circ$	管の厚さ t	有効長 L	メッキ膜厚 $\mu\text{m}$	概算重量 (メッキ含み) kg/m	備考
			$S_1$	$S_2$							
50730 50737	80	89.1	300	300	600	90	2.3	1,612	84 77	5.2	CCBOX
50630 50637	100	114.3	300	300	600	90	2.6	1,632	84 77	7.5	CCBOX
50056 50057 50058 50066	125	139.8	500 300 530	500 500 230	800 500 1,200	80 90	3.0	2,215 1,695 2,754	84 77 84 84	10.8	CCBOX 受注生産扱い 受注生産扱い

上記以外の曲げ半径、曲げ角度の製品は別途お問い合わせください。

# ケーブル保護管

## ケーブル立上り用保護ベンド管

寸法表

単位：mm

商 品 コ ー ド	寸法 管の 呼び径	管の外径	拡管内径	拡管長さ	管の厚さ	有効長	全 長	図 番	メッキ 膜厚 μm
		A	B	C	t	ℓ	L		
50770	80	89.1	91.2	40	2.3	2,710	2,750	1	63
50071	100	114.3	116.4	40	2.6	2,710			

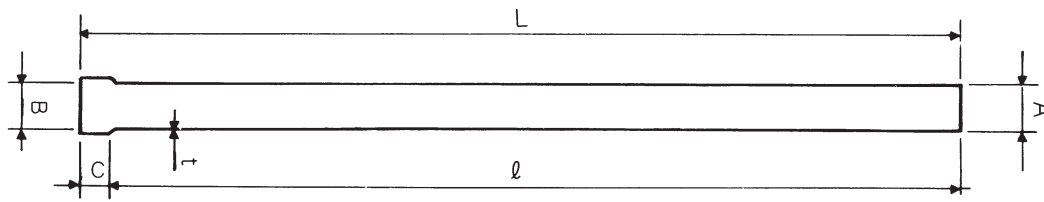


図1

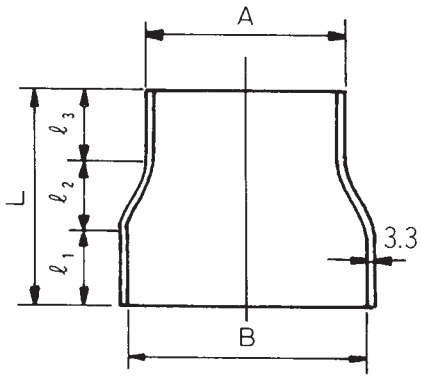


・取付状態



# 鋼管用継手

## ケーブル保護鋼管用継手B (立上り管用)



寸法表

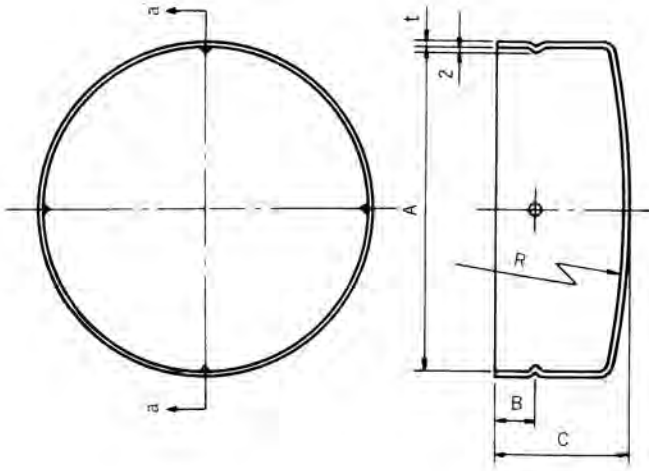
単位：mm

商品コード	管の呼び径	寸法					
		A	B	$\phi_1$	$\phi_2$	$\phi_3$	L
50090	125-100	114.3	142	40	40	40	120



# ● 鋼管用キャップ

## 鉄製キャップ



寸法表

単位：mm

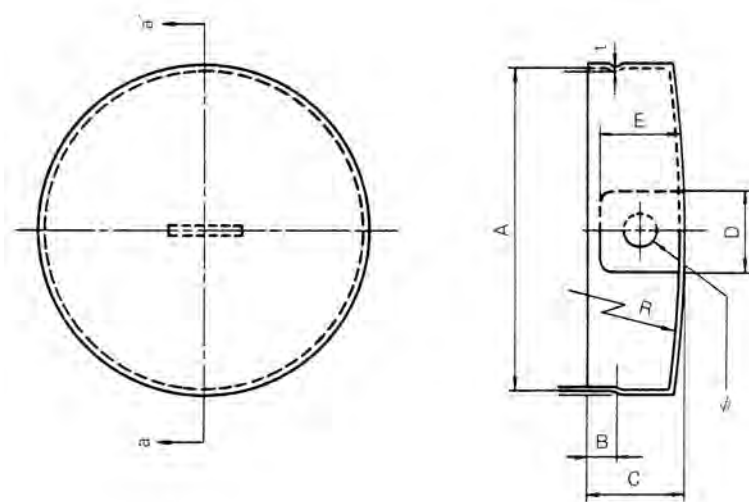
商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	t	R
56500	80		92	10	30	1.6	300
56520	100		118	15	50	1.6	500
50120	125		142	10	30	1.6	300



・取付状態



## 鉄製キャップ(フック付) (ケーブル引込用呼び線引留フック付)



寸法表

単位：mm

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	D	E	t	R	φ
56501	80		92	10	30	40	40	1.6	300	18
56521	100		118	15	50	40	40	1.6	500	18
56510	125		142	10	30	40	40	1.6	300	18

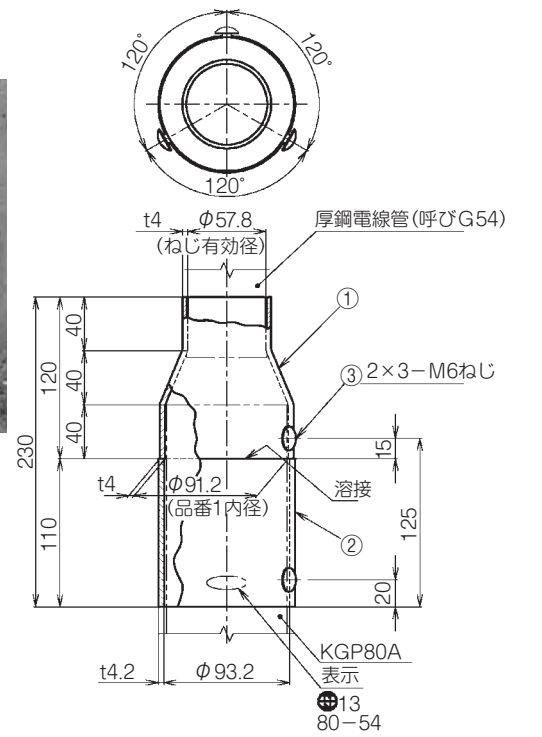


・取付状態



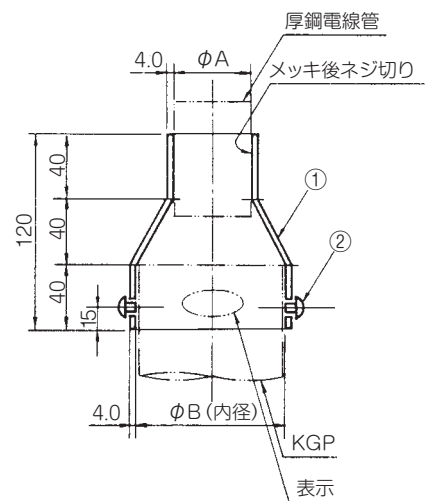
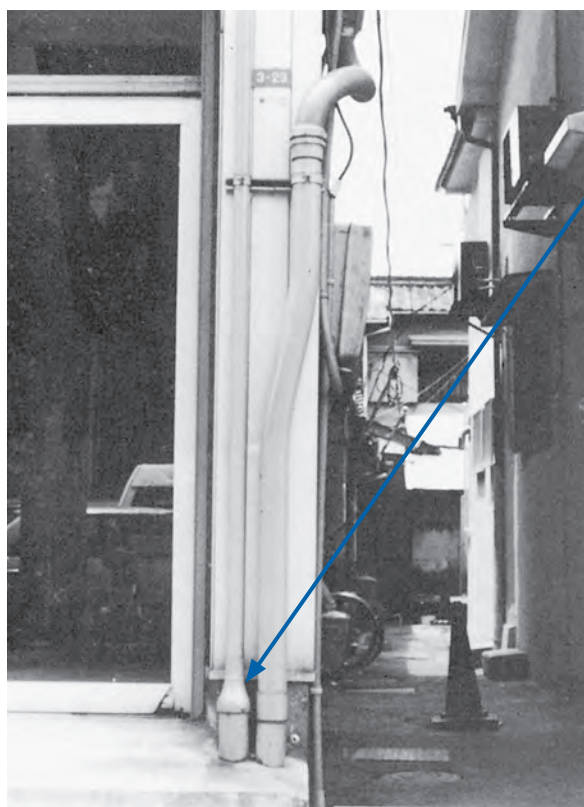
# 鋼管用継手

## 自立型屋側配管用異径継手



単位: mm

## 屋側配管用異径継手



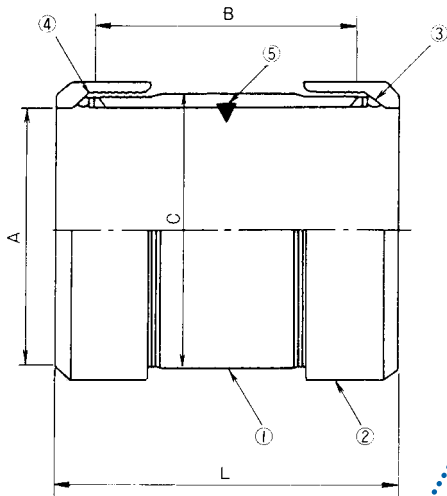
単位: mm

寸法表

商品コード	種類	適用管 (呼び名)		寸法	
		厚鋼電線管	SGP または KGP	$\phi A$	$\phi B$
50340	80-42型	G42	80A	45.9	91.2
50345	80-54型	G54	80A	57.8	91.2
50350	80-70型	G70	80A	73.4	91.2
50360	80-82型	G82	80A	86.1	91.2
50362	100-70型	G70	100A	73.4	116.5
50364	100-82型	G82	100A	86.1	116.5
50368	100-104型	G104	100A	111.2	116.5
50370	125-70型	G70	125A	73.4	142
50380	125-82型	G82	125A	86.1	142
50390	125-104型	G104	125A	111.2	142
-	自立型80-42	G42	80A	45.9	93.2
-	自立型80-54	G54	80A	57.8	93.2
-	自立型80-82	G82	80A	86.1	93.2

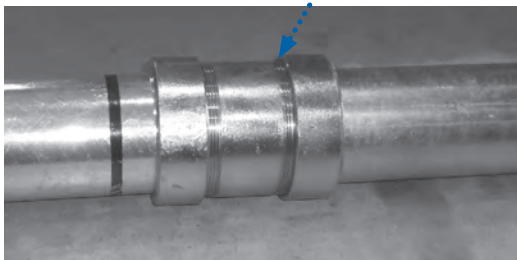
# 鋼管用継手

## ユニジョイント



番号	品名
①	本体
②	ナット
③	カットリング
④	S R リング
⑤	ストップリング

・接続状態

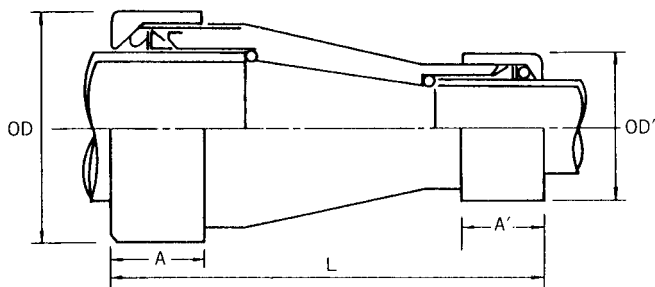


寸法表

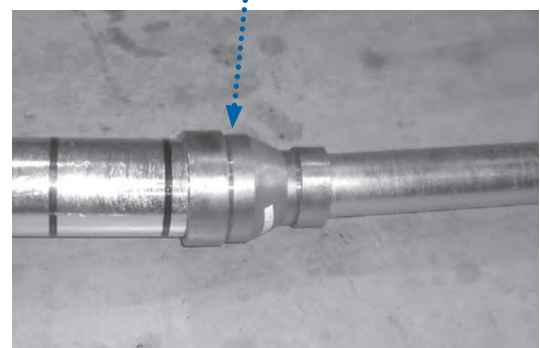
単位：mm

商品コード	寸法 呼び径	A	B	C	L (約) (セット時)	
						特注
特注	56298	50A	62.3	92.0	76.3	120
特注	56299	65A	78.1	92.0	89.1	120
	56300	80A	91.0	95.0	101.6	121
	56310	100A	116.3	100.0	127.0	137
	56311	125A	141.8	100.0	154.0	138
	56320	150A	168.0	100.0	182.0	138
特注	56321	200A	219.3	135.0	234.7	185

## ユニジョイント(異径継手)



・接続状態



寸法表

単位：mm

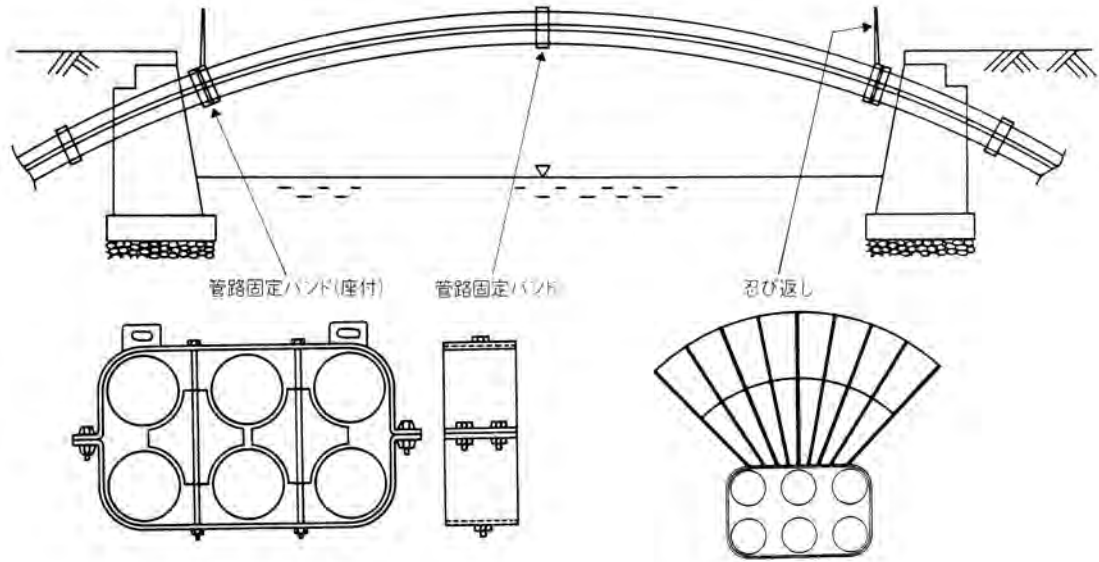
商品コード	寸法 呼び径	OD	OD'	A	A'	L (約) (セット時)	
特注	56420	80A×65A	110.0	95.0	36.0	36.0	175
	56440	100A×80A	135.0	110.0	45.0	36.0	188
特注	56450	125A×80A	159.0	110.0	46.0	36.0	200
	56451	125A×100A	159.0	135.0	46.0	45.0	196
	56454	150A×125A	187.0	159.0	47.0	46.0	222



# 管路橋

地中配電線工事のなかの中小河川などの上空を地中ケーブルで横断する鋼管管路橋を設計・製造いたします。

1 管路橋概要図



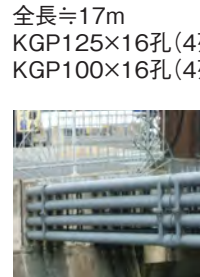
2 1 管路橋



全長≒17m  
KGP150×4孔  
(4列1段)



3 2 管路橋



全長≒17m  
KGP125×16孔(4列4段)  
KGP100×16孔(4列4段)



4 3 管路橋



KGP125×12孔  
(4列3段)



5 4 管路橋



KGP125×10孔  
(5列2段)





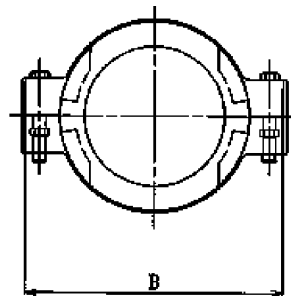
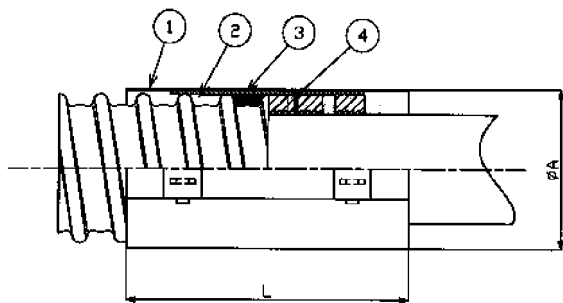
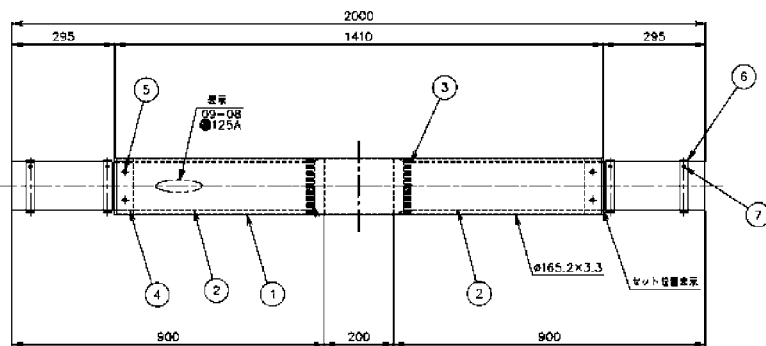
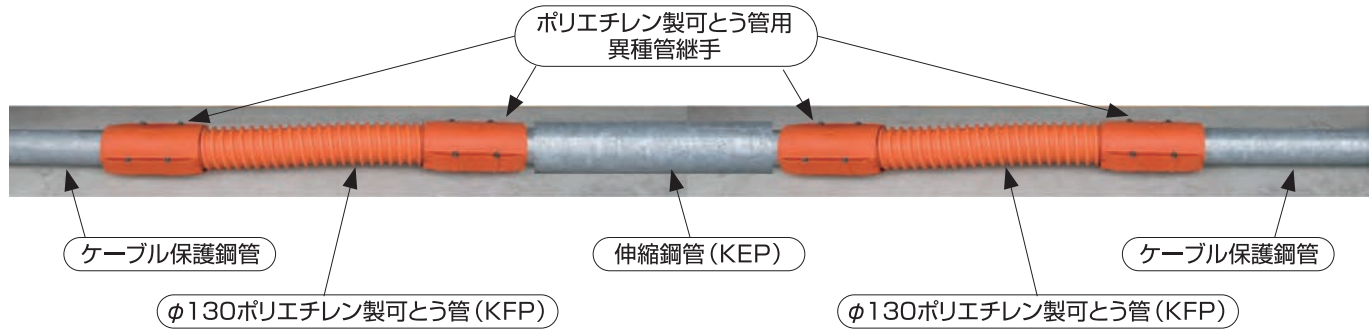
# 橋梁添架

地中配電線工事のなかの河川などの上空を地中ケーブルで横断する橋梁添架部材の設計・製造いたします。

添架概要図	<p>[欄干への添架]</p>  <p>支持部材</p>	<p>[主桁への添架]</p>  <p>支持部材</p>	<p>[主桁内への添架]</p>  <p>支持部材</p>
1 欄干への縦添架	  <p>全長≒150m KGP100×3孔(1列3段) 支持部材 間隔4.0m [φ100]</p> 		
2 主桁への添架	 <p>全長≒145m KGP100×4孔(2列2段) 支持部材 間隔4.0m A1、A2橋台側は、曲管路にメタルパワーを使用。</p>  		
3 主桁への添架	 <p>全長≒150m KGP100×4孔(2列2段) 支持部材 間隔4.0m</p>  		
4 欄干への添架	 <p>全長≒22m KGP100×3孔(3列1段) 支持部材 間隔4.0m</p>  		
5 主桁内への添架	 <p>全長≒73m FRP125×4孔(4列1段) 支持部材 間隔2.0m</p>  <p>アンカーボルト不許可の場合</p>  <p>管路防災措置実施</p>		

# ● 不同沈下対策用管路

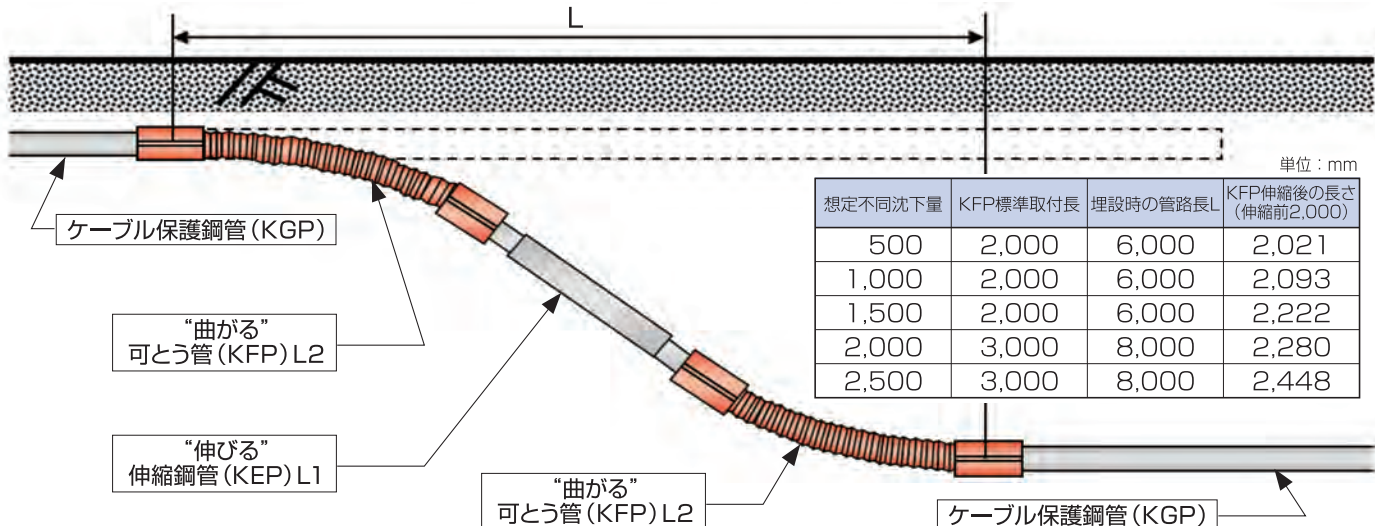
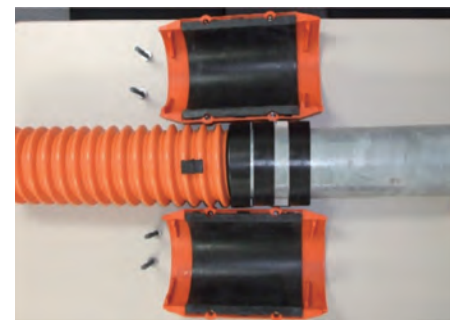
この管路は、不同沈下が予想される埋立地等の軟弱地盤において、地中管路の損傷を防ぎ、ケーブル事故への波及を防止するのに好適です。(サイズはφ125用とφ80用の2サイズです)



7	六角穴付止めねじM8×8	8
6	滑り止めリング(φ152.4×8×25)	4
5	十字穴付なべ小ねじ M8×8	2
4	受けリング(半割り)	2
3	防水パッキング(挿入管)	2
2	伸縮挿入管	2
1	伸縮鞘管	1
品番	品名	個数

4	防水パッキングKGP側	合成ゴム(SBR)	3
3	防水パッキング可とう管側	合成ゴム(SBR)	1
2	防水パッキング継手本体側	合成ゴム(SBR)	2
1	継手本体	ポリプロピレン	1
品番	品名	材質	個数

呼び径	外径 A	幅 B	長さ L
130	185	218	329
75	150	150	200



単位: mm

想定不同沈下量	KFP標準取付長	埋設時の管路長L	KFP伸縮後の長さ(伸縮前2,000)
500	2,000	6,000	2,021
1,000	2,000	6,000	2,093
1,500	2,000	6,000	2,222
2,000	3,000	8,000	2,280
2,500	3,000	8,000	2,448

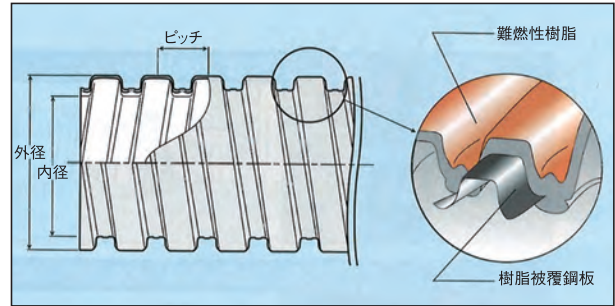
# メタルパワー

東拓工業株式会社

メタルパワー φ75、100、130、150、200mm

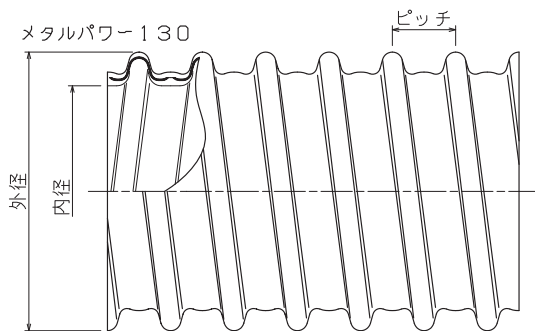
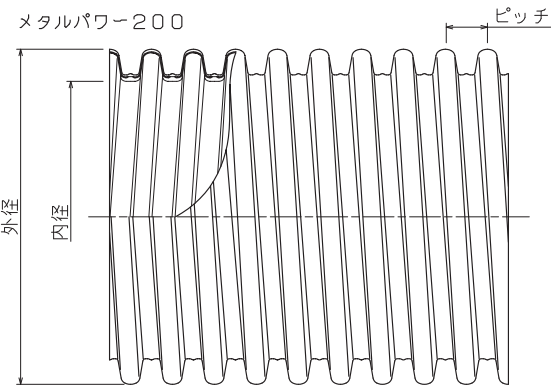
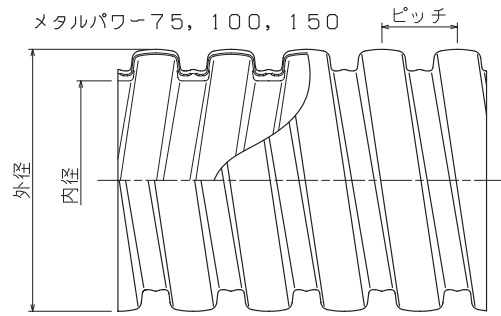


鋼板と難燃性ポリエチレンの複合構造により、圧縮強度が高く、さらに可とう性を有し、浅層埋設、道路下埋設、高圧引込み、電線共同溝等にお使い頂けます。



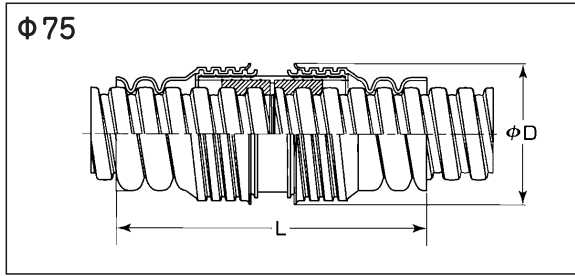
標準寸法

呼び径	内径 (mm)	外径 (mm)	ピッチ (mm)
75	75	105	30
100	100	130	37.5
130	130	171	32
150	150	190	40
200	200	258	35

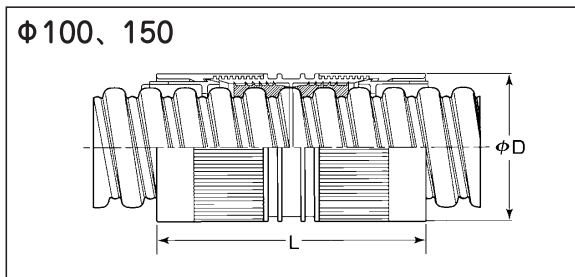


# ● メタルパワー直管継手

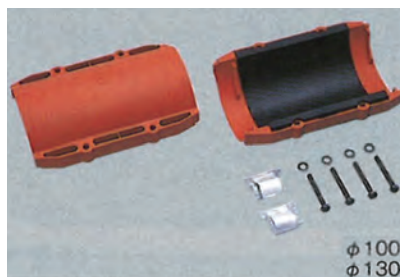
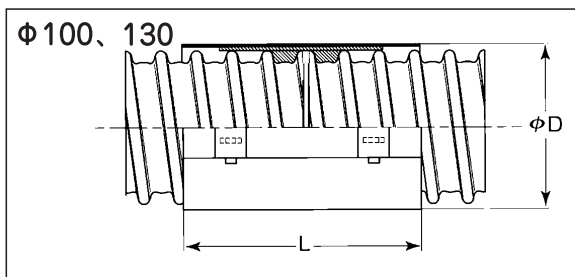
東拓工業株式会社



呼び径	D (mm)	L (mm)
75	150	320

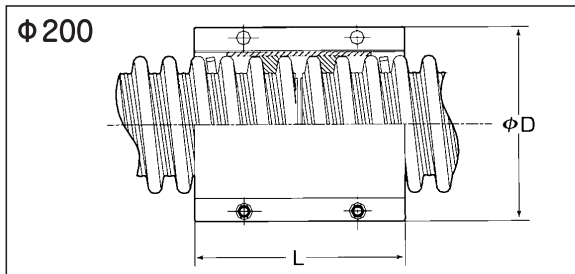


呼び径	D (mm)	L (mm)
100	159	287
150	219	288



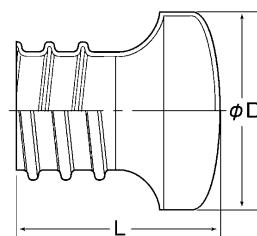
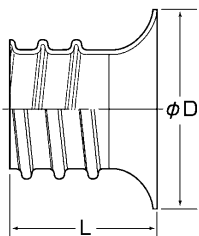
呼び径	D (mm)	L (mm)
100	143	290
130	185	329

※ $\phi 100$ は関西電力仕様のみ

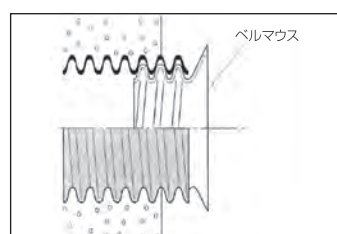


呼び径	D (mm)	L (mm)
200	318	328

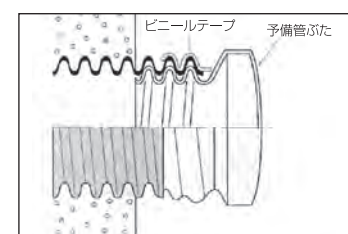
# ● メタルパワーベルマウス メタルパワー予備管ふた



呼び径	D (mm)	L (mm)
75	120	105
100	147	122
130	190	115
150	220	136
200	258	145



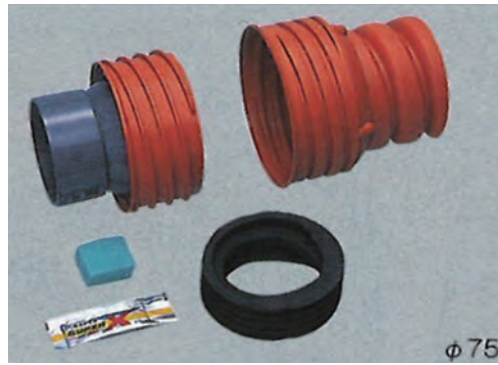
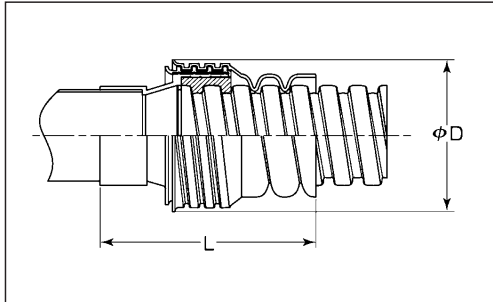
呼び径	D (mm)	L (mm)
75	120	145
100	147	162
130	190	163
150	220	190
200	258	215



# メタルパワー異種管継手

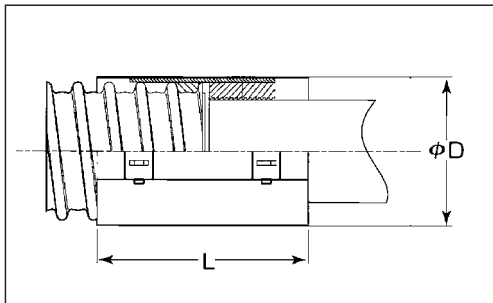
東拓工業株式会社

φ75



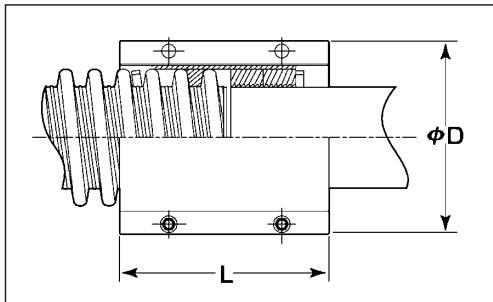
呼び径	D (mm)	L (mm)
75	150	200

φ100、130、150



呼び径	D (mm)	L (mm)
100	143	290
130	185	329
150	205	329

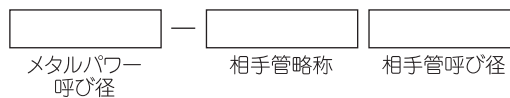
φ200



呼び径	D (mm)	L (mm)
200	318	328

メタルパワー 呼び径	異種管側管種			
	FRPパイプ (FRP)	ポリコンFRP管 (PFP)	鋼管 (SGP)	塩ビ管 (VP,VU,HIVP)
φ75			75-SGP 80	75-PVC 75
φ100	100-FRP 100	100-PFP 100	100-SGP 80 100-SGP 100	100-PVC 75 100-PVC 100
φ130	130-FRP 100 130-FRP 130	130-PFP 100 130-PFP 125	130-SGP 100 130-SGP 125	130-PVC 100 130-PVC 125
φ150	150-FRP 130 150-FRP 150	150-PFP 130 150-PFP 150	150-SGP 100 150-SGP 125 150-SGP 150	150-PVC 100 150-PVC 125 150-PVC 150
φ200	200-FRP 150 200-FRP 200	200-PFP 150 200-PFP 200	200-SGP 150 200-SGP 200	200-PVC 150 200-PVC 200

※異種管継手型番表示方法

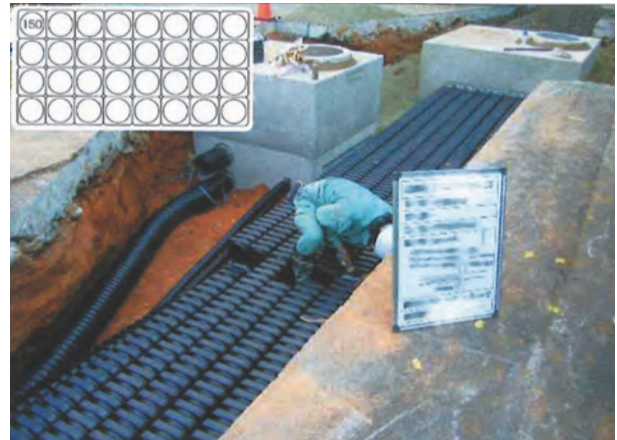
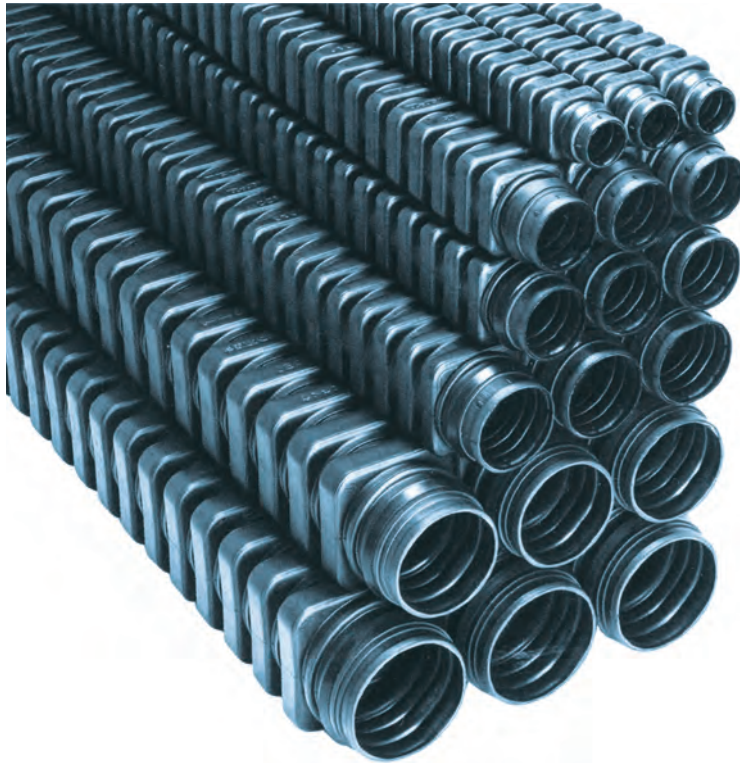




# 角型TACレックス(角型難燃FEP) 東拓工業株式会社

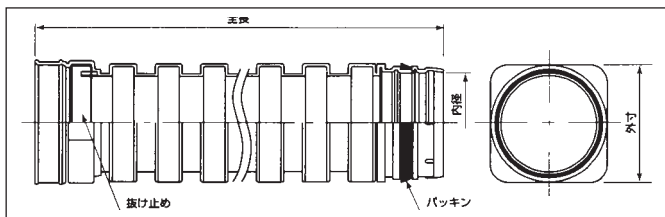
## 〔特長〕

- 多条敷設の際、管どうしを密着して敷設できるため、一括埋戻しが容易。各段ごとの埋戻しの必要ありません。
- 可とう性があるため、曲がり配管が容易で、既設物・障害物などを容易に回避できます。
- 多条敷設の際、円筒管施設のように離隔を取る必要がなく、管どうしを密着して敷設できるため、コンパクトでスピーディな多条配管が可能です。
- 角型TACレックス本体の両端に差込継手がついているため、接続作業がワンタッチで容易です。



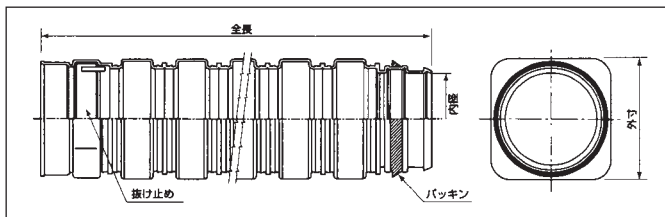
## 角型TACレックス (φ50、φ75、φ81、φ100)

### ■構造図



## 角型TACレックス (φ130、φ150)

### ■構造図



### ■標準寸法 ※規格・仕様については、商品改良のため予告なしに変更する場合があります。

呼び径	外寸 (mm)	内径 (mm)	全長(有効長) (mm)
50	73	50	5,300 (5,250)
75	99.5	75	5,300 (5,250)
81	105	81	5,300 (5,250)
100	125	100	5,300 (5,250)
130	162	130	5,300 (5,250)
150	184	150	5,300 (5,250)

# 角型TACレックス継手

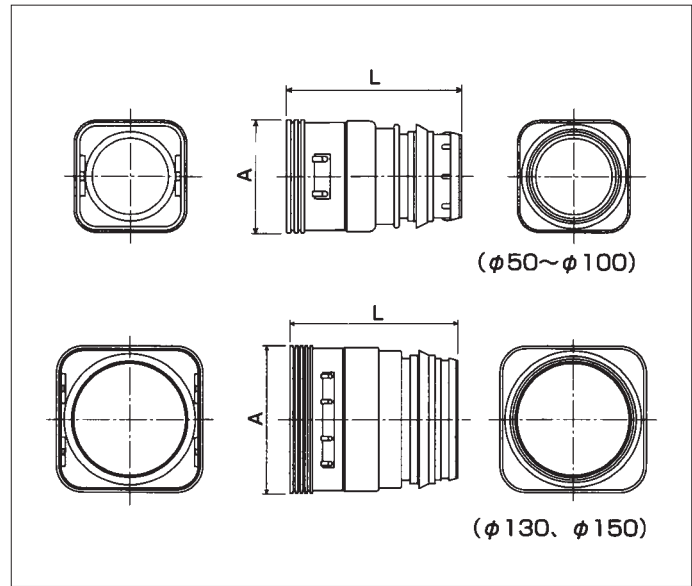
東拓工業株式会社

## 差込オス継手

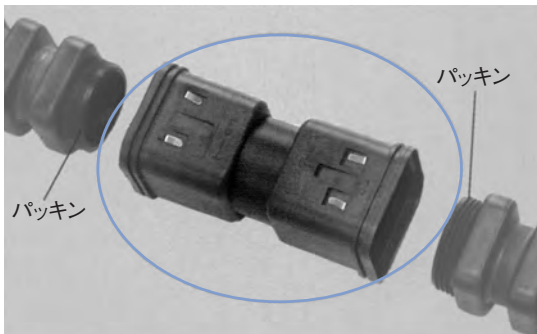


管の途中で切断した端部をオス構造にするために使用します。(長さ調整、端材の有効利用)

項目	呼び径	50	75	81	100	130	150
A (mm)		85.2	111.5	118.7	139.7	176.0	198.0
L (mm)		149.0	170.7	170.7	170.7	227.0	227.0

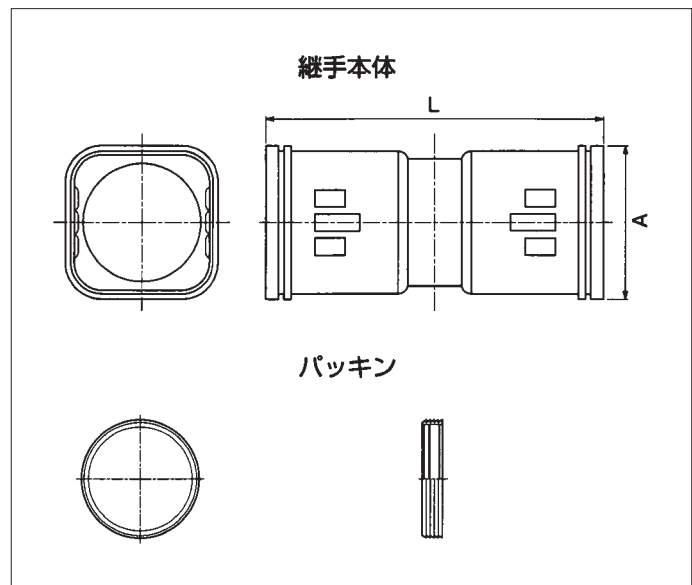


## 差込フリー継手

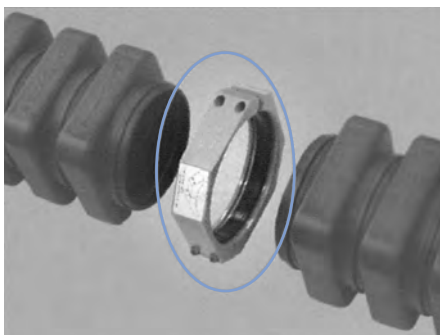


オス・メス部以外の部分で接続するために使用します。(差込タイプ)

項目	呼び径	50	75	81	100
A (mm)		85.5	113.0	118.0	138.0
L (mm)		188	225	225	225

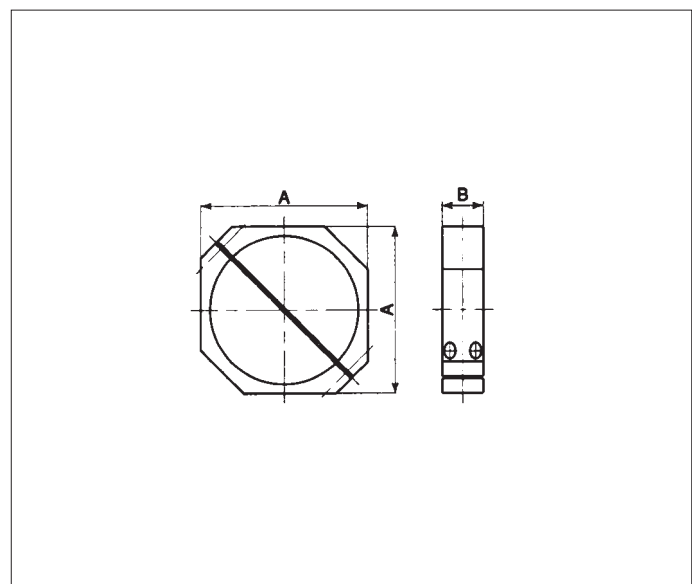


## 継手



管中央部での管の接続、部品の取り付けのために使用します。

項目	呼び径	130	150
A (mm)		162	184
B (mm)		40.0	40.0





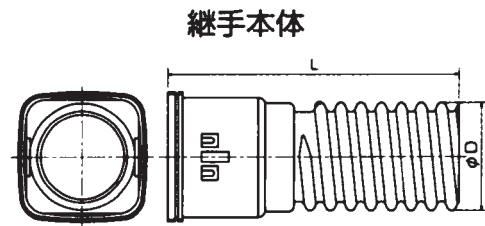
# 角型TACレックス異種管用アダプター 東拓工業株式会社

## 差込異種管アダプター



管中央部で異種管と接続するための部品です。  
(別途(難燃)TACレックス用部品が必要です。)

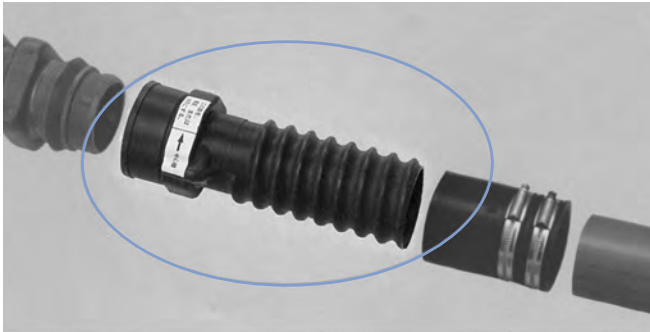
項目	呼び径	50	75	81	100
L (mm)		240	278	278	310
φD (mm)		65.0	102.2	102.2	127.8



継手本体

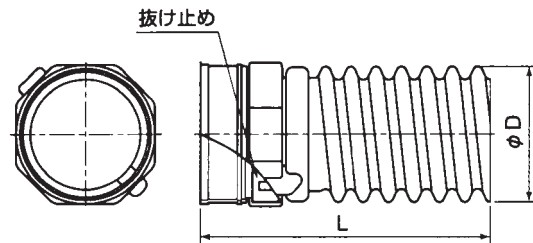


## 異種管用アダプター用(φ50~φ100)



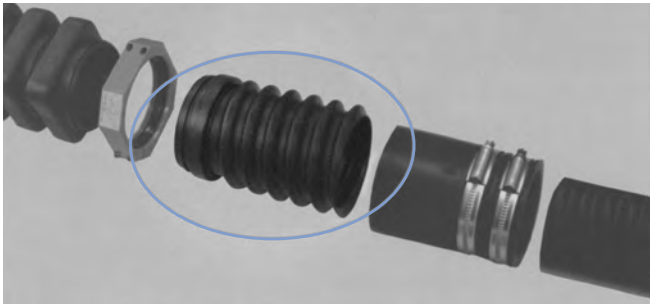
オス部と異種管を接続するために使用します。  
(別途(難燃)TACレックス用部品が必要です。)

項目	呼び径	50	75	81	100
L (mm)		220	220	220	220
φD (mm)		65.6	103.0	103.0	127.8



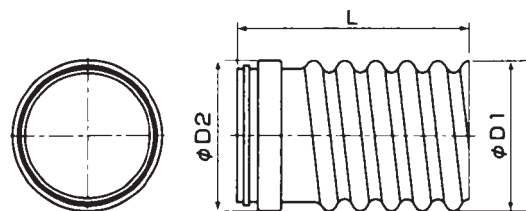
抜け止め

## 異種管用アダプター用(φ130~φ150)



異種管との接続のために使用します。  
(別途(難燃)TACレックス用部品が必要です。)

項目	呼び径	130	150
L (mm)		250	250
φD1 (mm)		162.0	193.0
φD2 (mm)		162.0	184.0

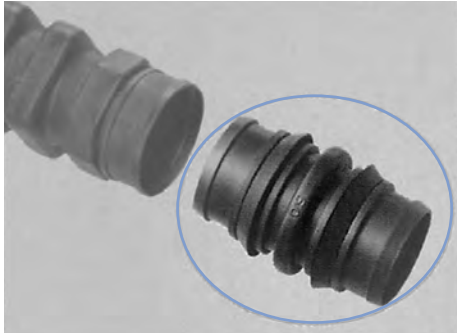




# 角型TACレックスアダプター

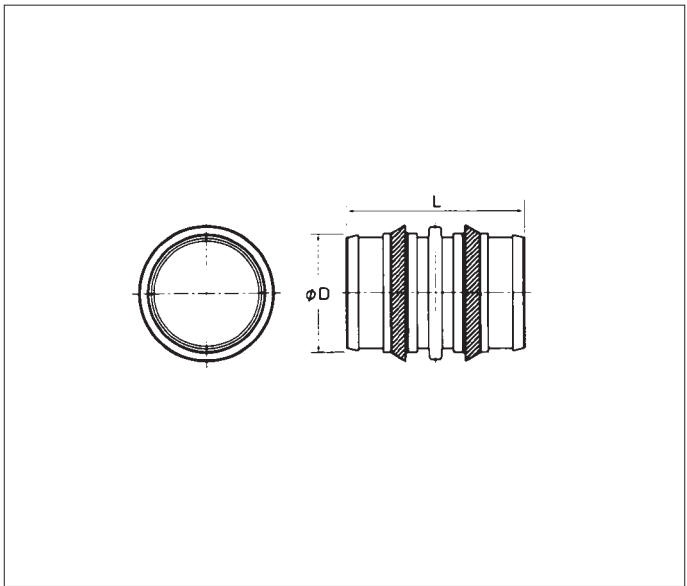
東拓工業株式会社

## オス-オスアダプター



オス部をメス構造に変えるために使用します。  
(ロングベルマウス取付用、端材の有効利用)

項目	呼び径	50	75	81	100
L (mm)		113	134	134	134
φD (mm)		60.3	86.5	92.7	112.1

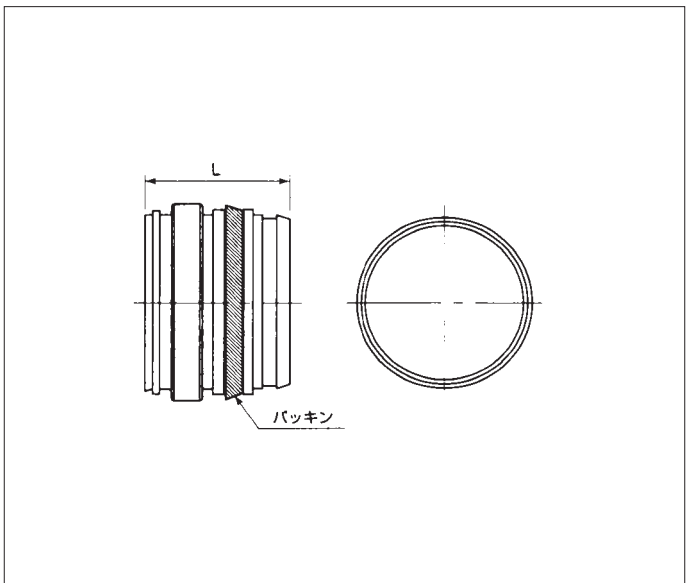


## オスアダプター



呼び径130・150の管中央部をオス構造にするために  
使用します。(端材の有効利用、もしくはロングベル  
マウス、レンジエコブロックベルマウス取付用)

項目	呼び径	130	150
L (mm)		120	120

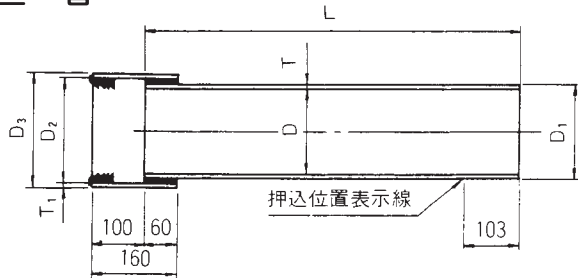




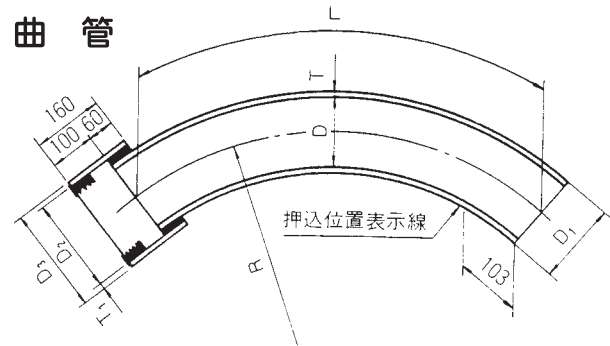
# FRPパイプ (橋梁添架管用)

株式会社栗本鐵工所

## 直管



## 曲管



### 管の寸法

単位: mm

呼び径 Nominal Diameter	P	T	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	T <sub>1</sub>	S	L		参考質量 Reference mass	
							直管 Straight pipe	曲管 bent pipe	管本体(kg/m) pipe	継手(kg) Joint
75	75	4	83	84.5	4	50	4000 2000 1000	2000 1000	1.8	0.40
100	100	4	108	116	4	100			2.4	0.44
125	125	4	133	141	4	100			2.9	0.53
130	130	4	138	146	4	100			3.0	0.54
150	150	4	158	166	4	100			3.5	0.62
175	175	5	185	193	5	100			5.1	0.90
200	200	5	210	218	5	100			5.8	1.01
250	250	5	260	268	5	100			7.2	1.24
300	300	6	312	322	6	100			10.4	1.78

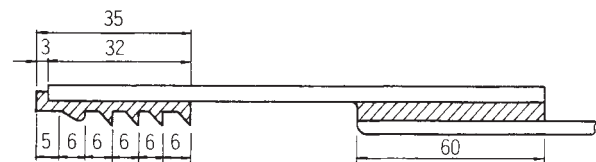
(注)直管のL寸法は規格外の管長も可能です。

### 曲管

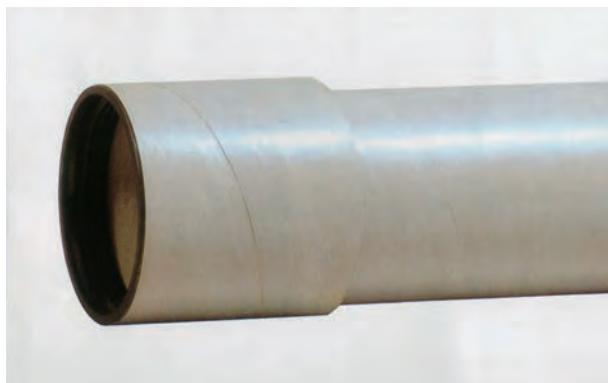
管の寸法 呼び径	L	曲率半径R (単位: m)					
100	1, 2	6	10	15			
125	1, 2	6	8	10	15		
130	1, 2	5	6	8	10	15	20
150	1, 2	5	6	8	10	15	20
200	1, 2	5	6	8	10	15	20
250	1, 2	5		10	15	20	

(注)上記の曲率半径以外に、直管を接合した特殊曲管も製作いたします。

### ゴム輪 (パッキン)

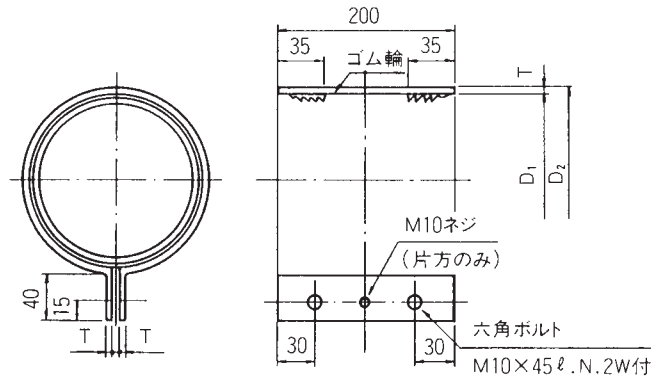


ゴム輪の形状



## 中間継手

この中間継手は、管路の途中における寸法調整などのための切管部に使用します。  
継手の構造は、特殊形状のゴム輪（パッキン）と半割のFRP本体からなります。



寸法表

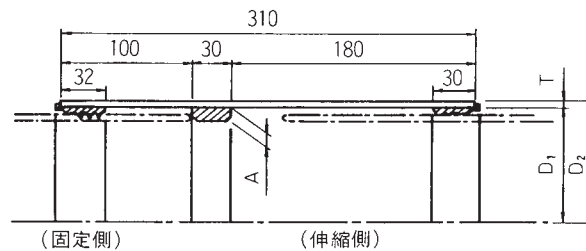
単位：mm

呼び径 Nominal Diameter	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	T <sub>1</sub>	参考質量 Reference mass
100	116	124	4	0.9
125	141	149	4	1.1
130	146	154	4	1.2
150	166	174	4	1.3
175	193	203	5	1.5
200	218	228	5	1.7
250	268	278	5	2.3
300	322	334	6	2.8



## 伸縮継手

橋梁添架では、温度変化による橋梁の伸縮に同調する伸縮継手が必要です。  
標準伸縮継手は常温施工において橋梁支間距離50mまでは使用可能です。  
伸縮量がこれ以上の場合は別製作の伸縮継手が必要です。



寸法表

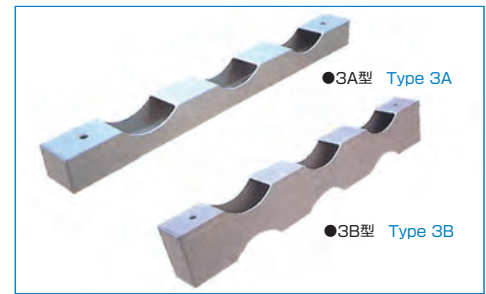
単位：mm

呼び径 Nominal Diameter	T <sub>1</sub>	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>
100	4	116	124	108
125	4	141	149	133
130	4	146	154	138
150	4	166	174	158
175	5	193	203	185
200	5	218	228	210
250	5	268	278	260
300	6	322	334	312

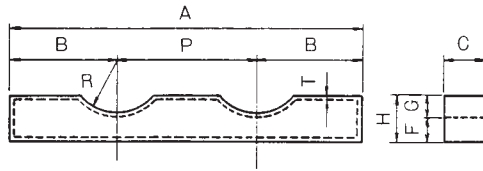
	伸縮長さ Expansion length									
	30	40	50	60	70	80	90	100	150	200
S <sub>1</sub>	160	180	200	220	240	260	280	300	400	500
L	290	310	330	350	370	390	410	430	530	630

## FRPパイプ・クリート

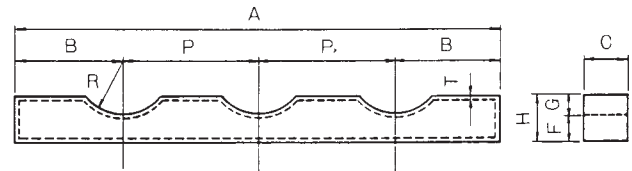
FRPパイプの添架にはFRP製クリートをご使用ください。  
 これはFRP製のため耐候性に優れ、中空構造のため軽量です。  
 またボルト用などの孔加工ができます。  
 なお、標準型以外も製作いたします。



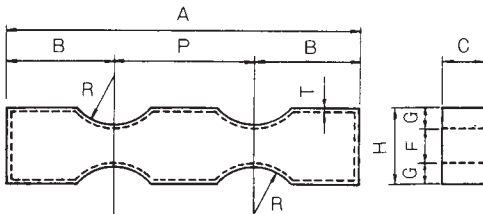
2孔用A型



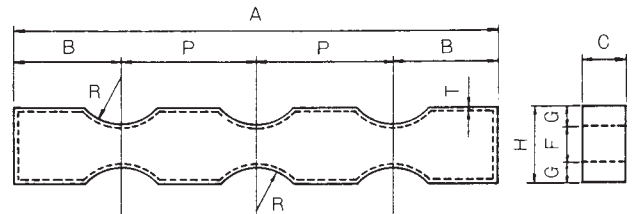
3孔用A型



2孔用B型



3孔用B型

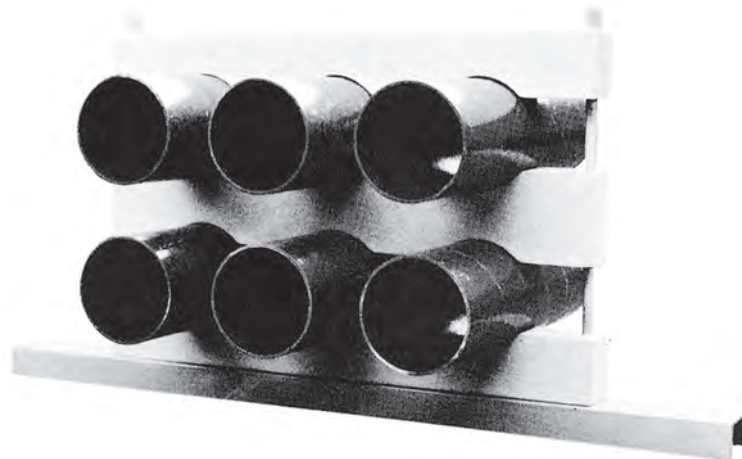


寸法表

単位：mm

呼び径 Nominal Diameter	形状 Shape	P							P						
		P	R	L	A	B	C	参考質量(kg)	P	R	L	A	B	C	参考質量(kg)
100	A型	200	56	450	125	—	—	0.97	200	56	650	125	—	—	1.40
	B型					92	24	1.42					92	24	2.05
125	A型	200	69	500	150	—	—	1.08	200	69	700	150	—	—	1.51
	B型					67	36.5	1.58					67	36.5	2.21
130	A型	200	71.5	500	150	—	—	1.08	200	71.5	700	150	—	—	1.51
	B型					62	39	1.58					62	39	2.21
150	A型	230	81	580	175	—	—	1.25	230	81	810	175	—	—	1.75
	B型					72	34	1.83					72	34	2.55
175	A型	250	94.5	650	200	—	—	1.40	250	94.5	900	200	—	—	1.94
	B型					65	37.5	2.05					65	37.5	2.84
200	A型	300	107	700	200	—	—	1.51	300	107	1000	200	—	—	2.16
	B型					90	25	2.21					90	25	3.15

※4孔用もあります。



## 1 電力ケーブル保護管 CCVP

### 信頼性の高いゴム輪受口タイプの電力ケーブル保護管

〔特長〕

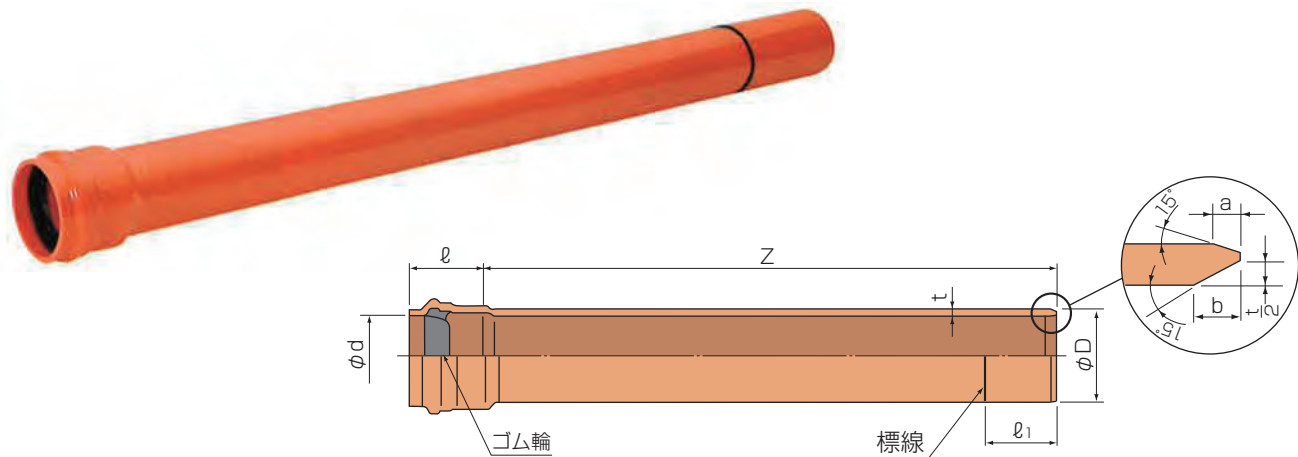
- 電力ケーブル保護管として幅広く多数の実績があります。
- 硬質塩化ビニル製のため軽量で施工性に優れています。
- ゴム輪受口を採用しているため施工が容易で優れた水密性を確保します。
- 内面が平らで滑らかなのでケーブル被覆を傷つけずにケーブルを引き込むことができます。
- 耐衝撃性に優れ、より安全性の高い管路の構築が可能です。
- ケーブルが発熱し管の温度が上昇しても埋設管として十分な強度を発揮します。
- 不測の事態によりケーブルが発火しても自消性の材料のため延焼することがありません。
- 耐食性に優れ、海岸隣接地域や酸性土壌にも埋設できます。
- 電気絶縁性に優れ、電食の心配がありません。

**⚠ 注意**

1. 接続差込み長さは、差口標線の範囲としてください。
2. 管を切断した場合は、直管・曲管と同様、管端部の内外面に面取りを施してください。

直管

品番6907, 6607, 6644



単位:mm

呼び径	差口および管体部					受口部		有効長 Z (参考)	参考質量 kg/本
	D (基本寸法)	t (基本寸法)	φ <sub>1</sub> (参考)	a (参考)	b (参考)	d (基本寸法)	φ (参考)		
75	89.0	5.9	120	5	13	90.2	120	5000	11.4
100	114.0	7.1	132	6	13	115.5	130		17.7
125	142.5	8.5	138	7	16	144.2	135		26.6
130	147.5	8.9	138	7	17	149.0	138		28.7
150-I	170.5	10.0	145	8	19	172.3	142	2000	16.0
150-II	170.0	10.0	148	8	19	171.3	145		15.9
175	200.0	11.5	166	9	22	201.8	160		21.8
200	227.0	12.5	180	9	24	228.7	170		27.1

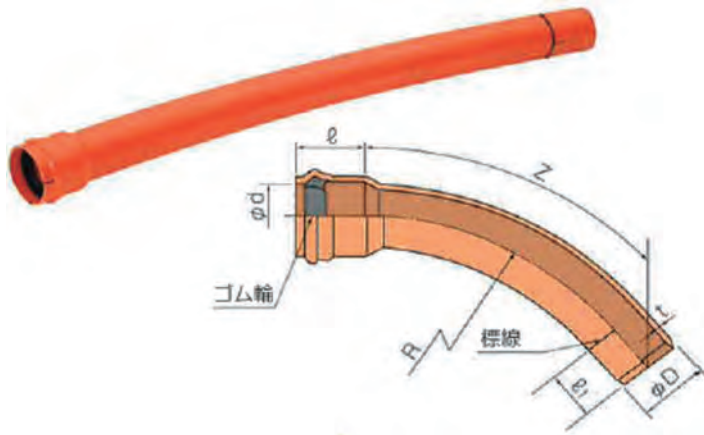
備考：1. 上記以外の有効長の直管は別途お問い合わせください。  
2. 管端の面取り寸法a・bは寸法が異なる場合があります。お問い合わせください。

# ● 硬質塩化ビニル管

株式会社クボタケミックス

## 曲管

品番4461, 4462, 4569, 4562



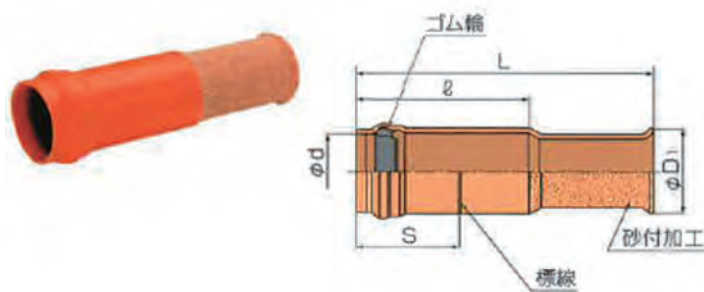
単位: mm

呼び径	差口および管体部			受口部		曲率半径 R (参考)	有効長 Z (参考)
	D (基本寸法)	t (基本寸法)	ℓ <sub>1</sub> (基本寸法)	d (基本寸法)	ℓ (基本寸法)		
75	89.0	5.9	120	90.2	120	3000 5000 6000 (10000)	1000
100	114.0	7.1	120	115.5	130		
125	142.0	8.5	120	144.2	135		
130	147.5	8.9	120	149.0	138		
150-I	170.5	10.0	120	172.3	142		
150-II	170.0	10.0	120	171.3	145		
175	200.0	11.5	120	201.8	160		
200	227.0	12.5	120	228.7	170		

備考: 上記以外の有効長・曲率半径の製品は別途お問い合わせください。

## ダクトスリーブ

品番4431, 4531, 4467



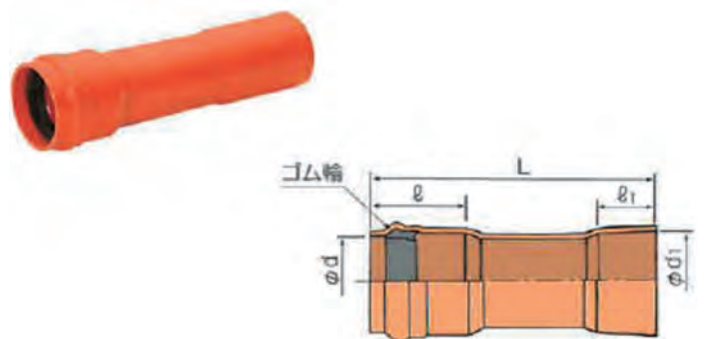
単位: mm

呼び径	差口および管体部			D <sub>1</sub> (参考)	全長 L (参考)
	d (基本寸法)	挿入しろ S (参考)	ℓ (参考)		
75	90.2	120	235	100	450
100	115.5	132	260	130	
125	144.2	138	260	165	
130	148.8	162	260	173	
150	172.3 (171.3)	145	275	195	

備考: 呼び径130は全長600の製品も品揃えしております。

## 鋼管(SP)用異種管継手

品番4421, 4521



単位: mm

呼び径	受口部(塩ビ管側)		受口部(異種管側)		全長 L (参考)
	d (基本寸法)	ℓ (参考)	D <sub>1</sub> (基本寸法)	ℓ <sub>1</sub> (参考)	
75	90.2	120	91.3	150	400
100	115.5	130	117.7	210	460
125	144.2	135	142.4		500
150	172.3 (171.3)	142 (145)	168.0		655
175	201.8	160	194.0		
200	228.7	170	218.9		

備考: 1. 異種管継手の接続には、P32のエポキシ系接合剤をご使用ください。  
2. 鋼管(SP)用以外の継手は別途ご相談ください。

### 2 通信ケーブル保護管 ボディーV管

## 共用FA方式に対応した高強度ボディ管

#### 〔特長〕

- 共用FA方式に求められる十分な扁平強度、曲げ強度を有しています。
- 無電柱化推進計画(共用FA方式)に対応した設計・品揃えをしています。
- ゴム輪受口を採用しているため施工が容易で優れた水密性を確保します。
- 地盤変位に十分追従するロング受口構造(有効長の±1%の伸縮を吸収)を有しています。
- 耐食性に優れ海岸隣接地域や酸性土壌にも埋設できます。
- 電気絶縁性に優れ電食の心配がありません。

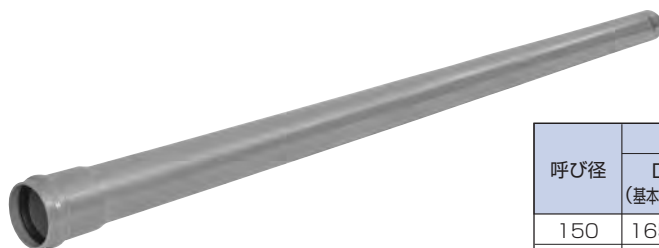


#### 注意

1. 接続差込み長さは、差口標線の範囲としてください。
2. 管を切断した場合は、直管・曲管と同様、管端部の内外面に面取りを施してください。

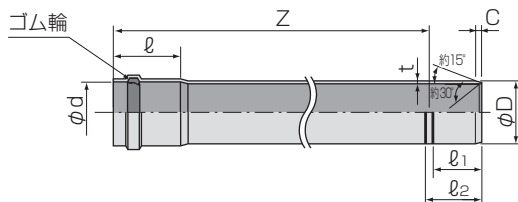
#### 直管

品番4108



単位:mm

呼び径	差口および管体部					受口部		有効長 Z (参考)	参考 質量 Kg/本
	D (基本寸法)	t (基本寸法)	ℓ <sub>1</sub> (参考)	ℓ <sub>2</sub> (参考)	C (参考)	d (基本寸法)	ℓ (参考)		
150	165.0	8.9	155	175	18	166.6	215	5000	34.9
200	216.0	10.3	180	200	21	217.3	240	2500	27.5
								5000	52.8
250	267.0	12.7	200	220	25	268.6	255	2500	42.3
								5000	81.0



備考：ボディV管φ150はフリーアクセスV管φ150と同じ管です。

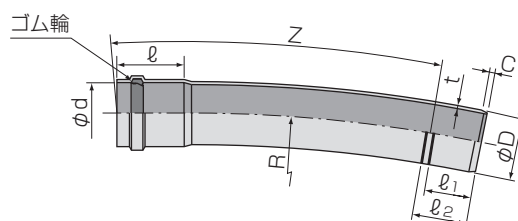
#### 曲管

品番8084



単位:mm

呼び径	差口および管体部					受口部		曲率半径 R (参考)	有効長 Z (参考)
	D (基本寸法)	t (基本寸法)	ℓ <sub>1</sub> (参考)	ℓ <sub>2</sub> (参考)	C (参考)	d (基本寸法)	ℓ (参考)		
150	165.0	8.9	155	175	18	166.6	215	5000 10000	1000
200	216.0	10.3	180	200	21	217.3	240		
250	267.0	12.7	200	220	25	268.6	255		



備考：ボディV管φ150はフリーアクセスV管φ150と同じ管です。

### 3 通信ケーブル保護管 フリーアクセス-V管 SUDI-V管

#### 複数のケーブルを同時収容しダイレクトに需要家へケーブル引き込みができる通信ケーブル保護管

##### 【特長】

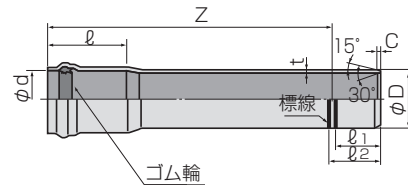
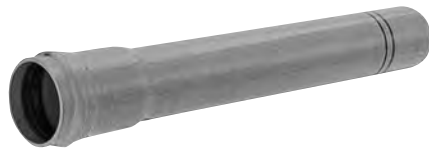
- 分岐管によってダイレクトに需要家へケーブル引き込みができます。
- φ150は無電柱化推進計画(共用FA方式)に対応した設計・品揃えをしています。
- ゴム輪受口を採用している所以施工が容易で接合部に優れた水密性を確保します。
- 地盤変位に十分追従するロング受口構造(有効長の±1%の伸縮を吸収)を有しています。
- 耐食性に優れ海岸隣接地域や酸性土壌にも埋設できます。
- 電気絶縁性に優れ電食の心配がありません。

##### ⚠ 注意

1. 接続差込み長さは、差口標線の範囲としてください。
2. 管を切断した場合は、直管・曲管と同様、管端部の内外面に面取りを施してください。

#### 直管

品番4108

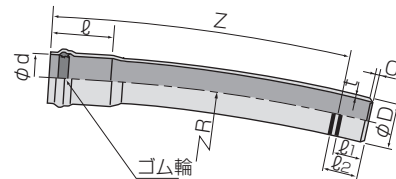


単位:mm

呼び径	差口および管体部					受口部 (注)		有効長 Z (参考)	参考質量 kg/本
	D (基本寸法)	t (基本寸法)	ℓ <sub>1</sub> (参考)	ℓ <sub>2</sub> (参考)	C (参考)	d (基本寸法)	ℓ (参考)		
100	114.0	6.6	135	155	13	115.3	200	5000	17.7
150	165.0	8.9	155	175	18	166.6	215	5000	34.9

#### 曲管

品番8084



単位:mm

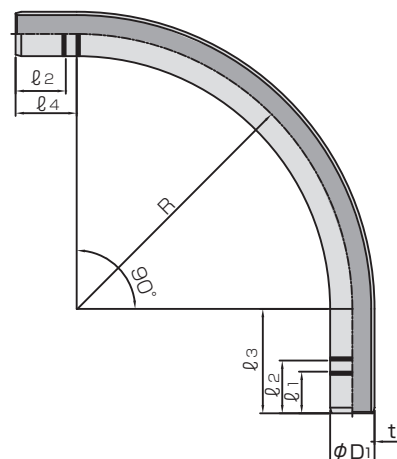
呼び径	差口および管体部					受口部 (注)		曲率半径 R (参考)	有効長 Z (参考)
	D (基本寸法)	t (基本寸法)	ℓ <sub>1</sub> (参考)	ℓ <sub>2</sub> (参考)	C (参考)	d (基本寸法)	ℓ (参考)		
100	114.0	6.6	135	155	13	115.3	200	3000 5000 (6000) 10000	1000
150	165.0	8.9	155	175	18	166.6	215		

#### SUDI-V管用90°曲管

品番8084

単位:mm

呼び径	R (基本寸法)	D <sub>1</sub> (基本寸法)	ℓ <sub>1</sub> (参考)	ℓ <sub>2</sub> (参考)	ℓ <sub>3</sub> (参考)	ℓ <sub>4</sub> (参考)	t (基本寸法)	参考質量(kg)
100	1000	114.0	135	155	400	215	6.6	4.8



## 4 通信ケーブル保護管 P-Vカン

### 信頼性の高いゴム輪受口通信ケーブル保護管

【特長】

- 通信ケーブル保護管として日本全国に多数の実績があります。
- 硬質塩化ビニル製のため軽量で施工性に優れています。
- ゴム輪受口を採用しているため施工が容易で接合部に優れた水密性を確保します。
- 内面が平らで滑らかなのでケーブル被覆を傷つけずにケーブルを引き込むことができます。
- 地盤変位に十分追従するロング受口構造(有効長の±1%の伸縮を吸収)を有しています。
- 耐食性に優れ海岸隣接地域や酸性土壌にも埋設できます。
- 電気絶縁性に優れ電食の心配がありません。

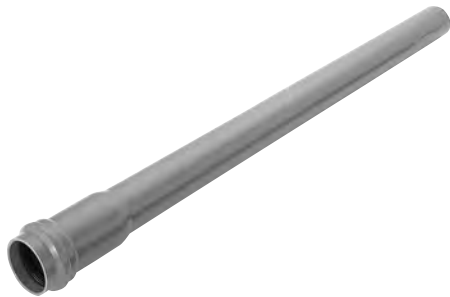


**注意**

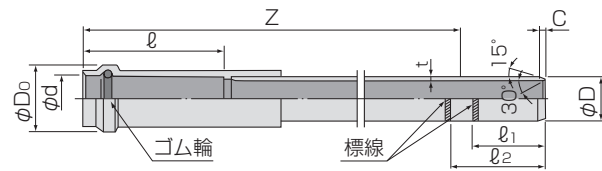
1. 接続差込み長さは、差口標線の範囲としてください。
2. 管を切断した場合は、直管・曲管と同様、管端部の内外面に面取りを施してください。

#### P-Vカン(差込み継手硬質ビニル管)

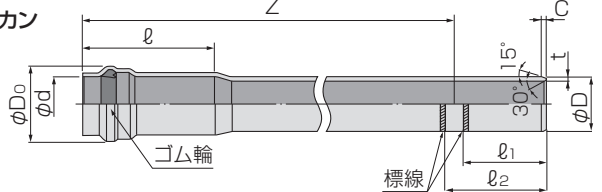
品番8608



25P-Vカン



75,50P-Vカン

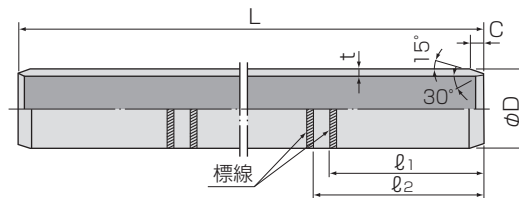


単位:mm

呼び径	差口および管体部					受口部			有効長 Z (参考)	参考質量 kg/本
	D (基本寸法)	t (基本寸法)	l <sub>1</sub> (参考)	l <sub>2</sub> (参考)	C (参考)	D <sub>0</sub> (参考)	d (基本寸法)	l (参考)		
25	34.0	3.0	65	85	6	50	34.6	115	4000	1.8
50	60.0	4.5	90	110	6	84	61.0	144		5.8
75	96.0	6.5	130	150	8	129	97.3	182		13.6

#### P-Vカン・Sナシ(差込み継手硬質ビニル管・継手部なし)

品番8808



単位:mm

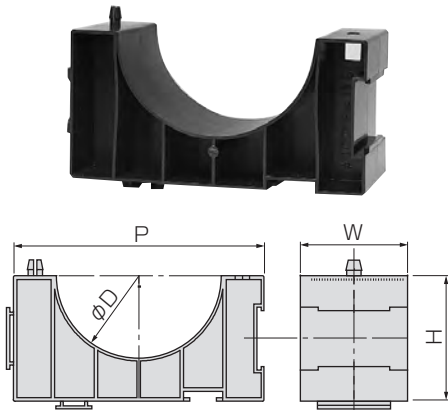
呼び径	差口および管体部					全長 L (参考)	参考質量 kg/本
	D (基本寸法)	t (基本寸法)	l <sub>1</sub> (参考)	l <sub>2</sub> (参考)	C (参考)		
50	60.0	4.5	100	120	6	4000	4.5
75	96.0	6.5	130	150	8	5500	14.4

# 保護管用管枕

株式会社クボタケミックス

## 電力ケーブル保護管用管枕

品番4471



注) 呼び径や種類によって異なる管枕同士の嵌合はできない場合がありますので必ずご確認ください。

単位:mm

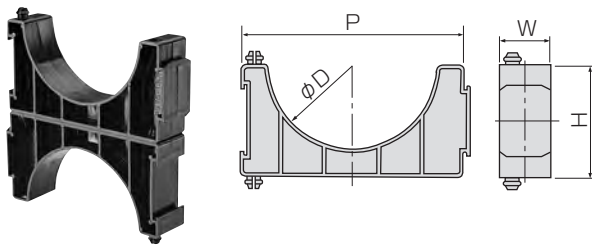
呼び径	P(ピッチ)	D	W	H
75	130	90.0	100	65.0
	150		65	75.0
100	150	115.0	100	75.0
	175		75	87.5
	185		75	92.5
	250		100	125.0
125	185	143.0	100	92.5
	200		100	100
	250		100	100
	250		100	125.0
130	175	149.0	75	87.5
	220		75	110.0
150	220	172.0	100	110.0
	250		100	125.0
175	250	200.0	100	125.0
200	300	227.5	100	150.0

備考: 材質はPEまたはPPです。

## 通信ケーブル保護管用管枕

品番 8471、4471

### RR-VE、P-Vカン用【品番:8471】



※写真は2個組み合わせた状態です。

単位:mm

用途	呼び径	P(ピッチ)	D	W	H
RR-VE用	54	95	61	30	47.5
		130	61		65.0
	70	130	77		65.0
	82	130	90		65.0

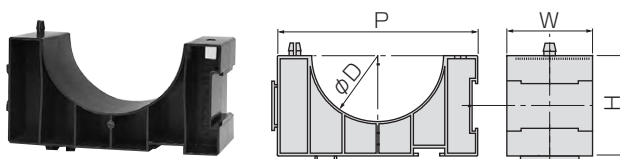
備考: 1. 呼び径54用はP-V50用と兼用しています。  
2. 材質はPEまたはPPです。

単位:mm

用途	呼び径	P(ピッチ)	D	W	H
P-Vカン用	50	95	61	30	47.5
		130			65.0
		150			75.0
	75	130	97		65.0
		150	98		75.0

備考: 1. 呼び径75の管枕はP-Vカンφ75の専用管枕で、他のパイプには使えません。  
2. 材質はPEまたはPPです。

### SUDII-V管、フリーアクセスV-管用【品番:4471】

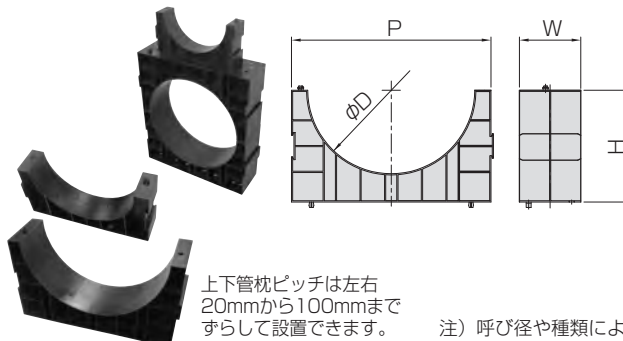


単位:mm

用途	呼び径	P(ピッチ)	D	W	H
SUDII-V管用	100	150	115	100	75
フリーアクセスV管用	150	220	172		110

備考: 1. 材質はPEまたはPPです。  
2. 電力ケーブル保護管用管枕と兼用しています。

### 共用FA方式用【品番:8471】



上下管枕ピッチは左右20mmから100mmまでずらして設置できます。

注) 呼び径や種類によって異なる管枕同士の嵌合はできない場合がありますので必ずご確認ください。

単位:mm

用途	呼び径	P(ピッチ)	D	W	H	引張強さ(参考)
フリーアクセスV管用	150	220	172	50	110	1030N以上
ポディーV管用	200	300	222	100	157	1569N以上
	250	325	272	100	182	2403N以上

備考: 1. 共用FA方式専用です。  
2. 材質はPPです。  
3. 引張強さのデータは弊社における測定値で保証値ではありません。

# 共用柱

ソフト共用柱(高圧)



ソフト共用柱(低圧)



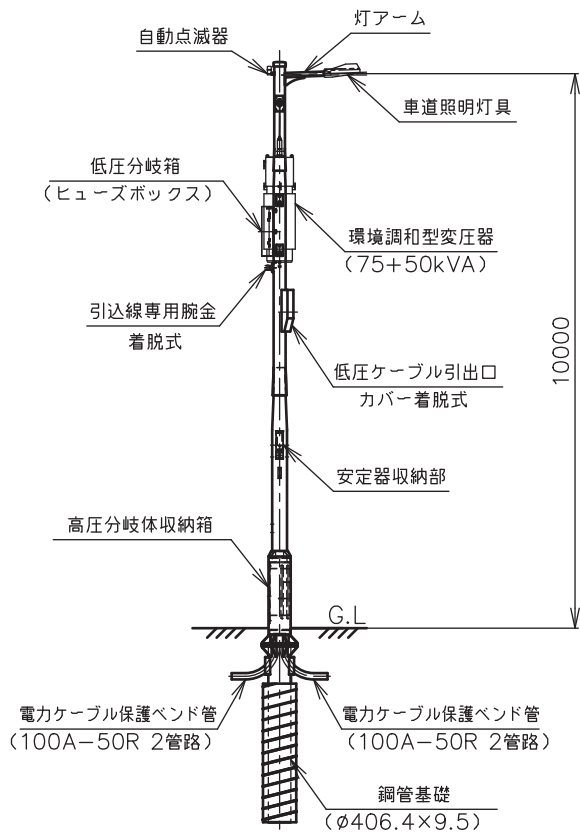
共用柱鋼管基礎施工



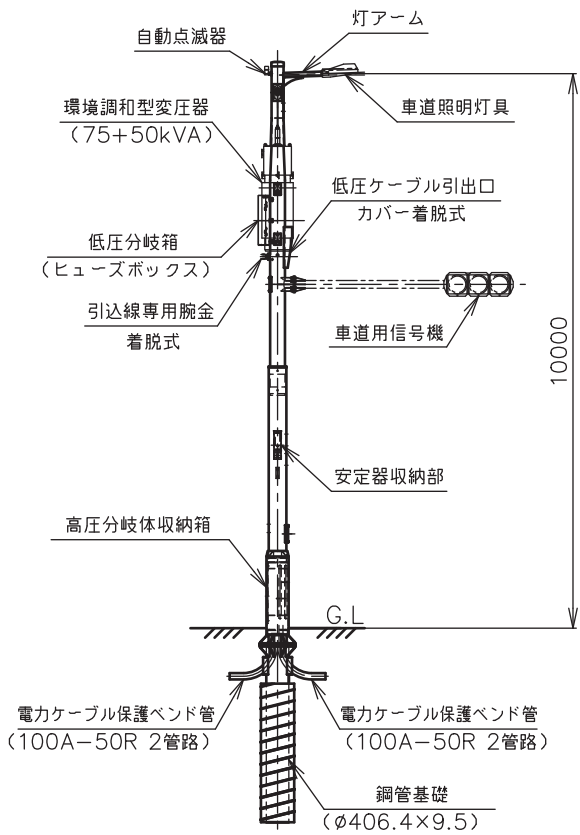
共用柱鋼管基礎部材



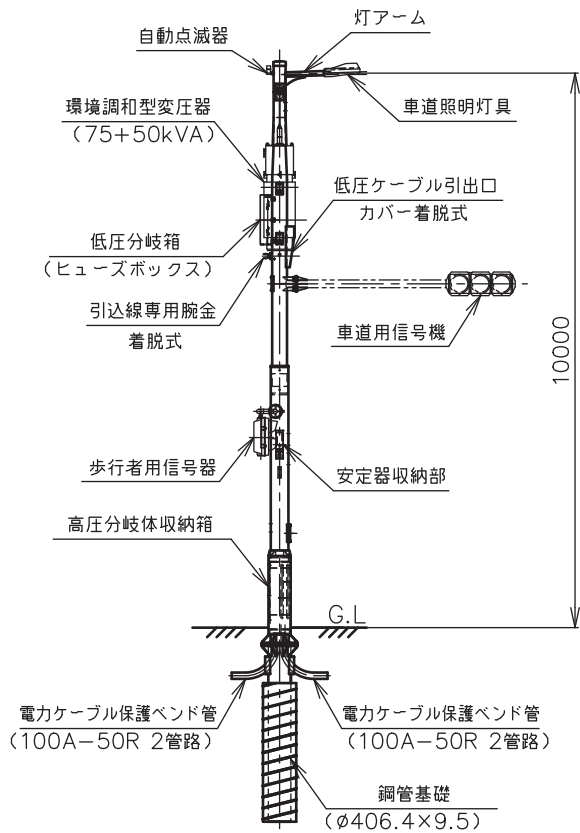
# 照明灯・高压柱



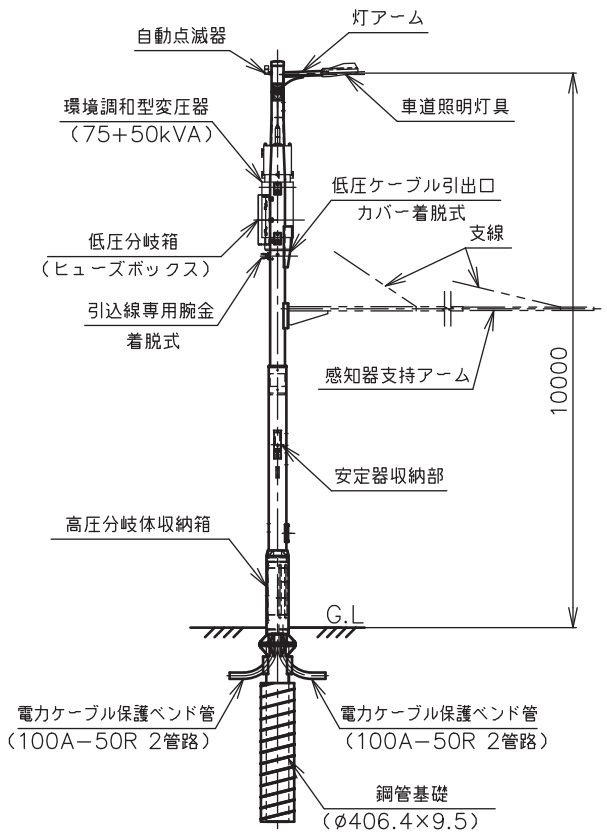
照明灯・高压柱



照明灯・車道信号・高压柱



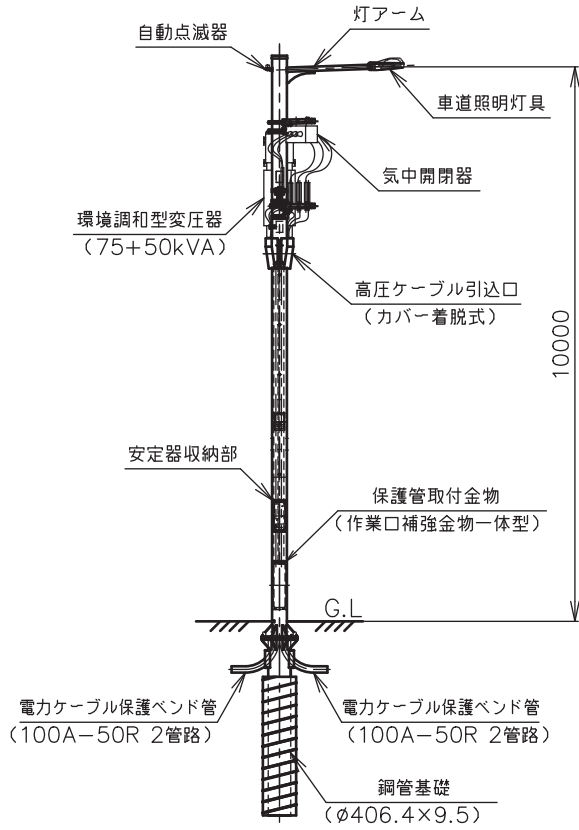
照明灯・歩車道信号・高压柱



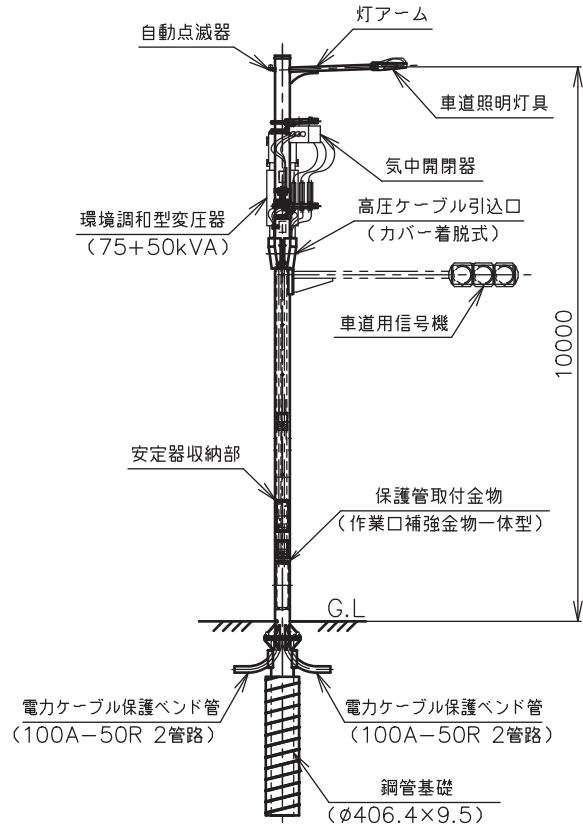
照明灯・感知器・高压柱



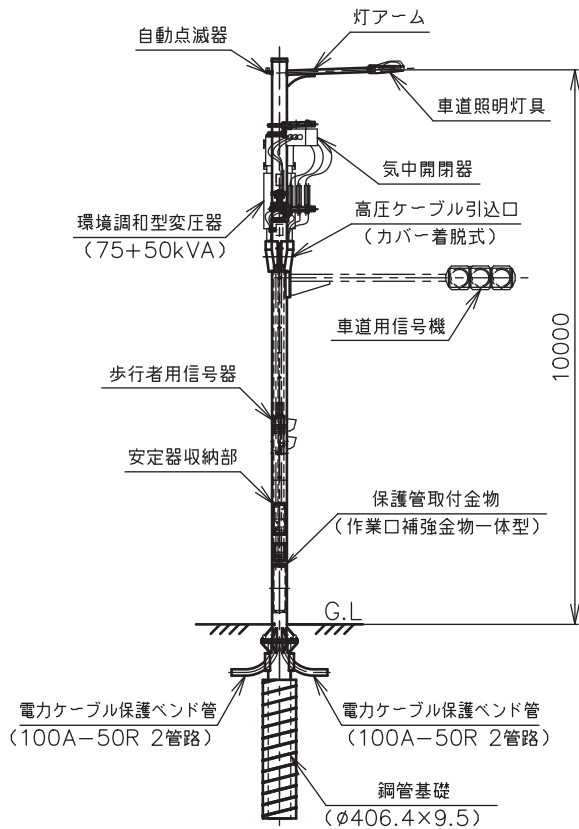
# 照明灯・高压柱



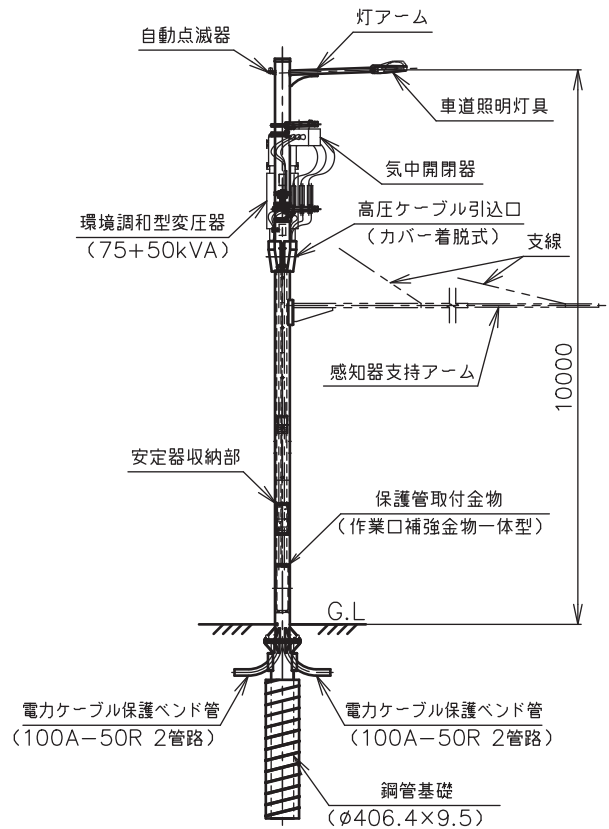
照明灯・高压柱



照明灯・車道信号・高压柱

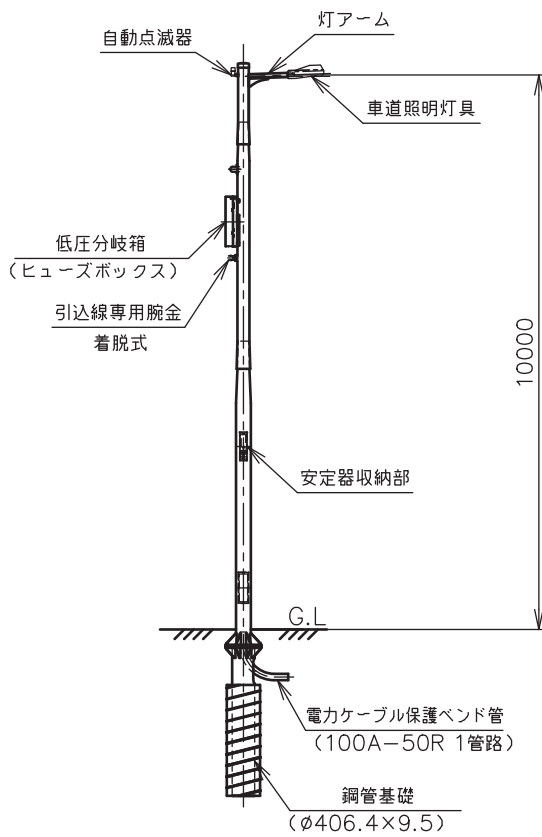


照明灯・歩車道信号・高压柱

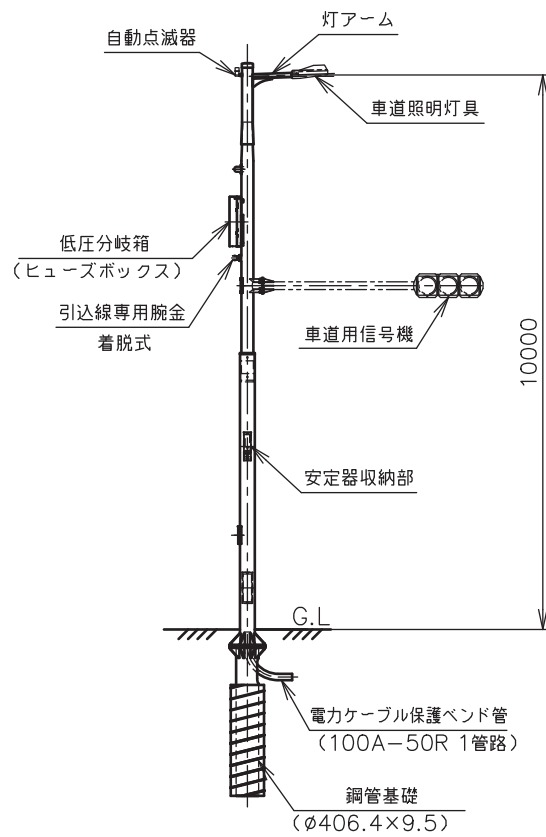


照明灯・感知器・高压柱

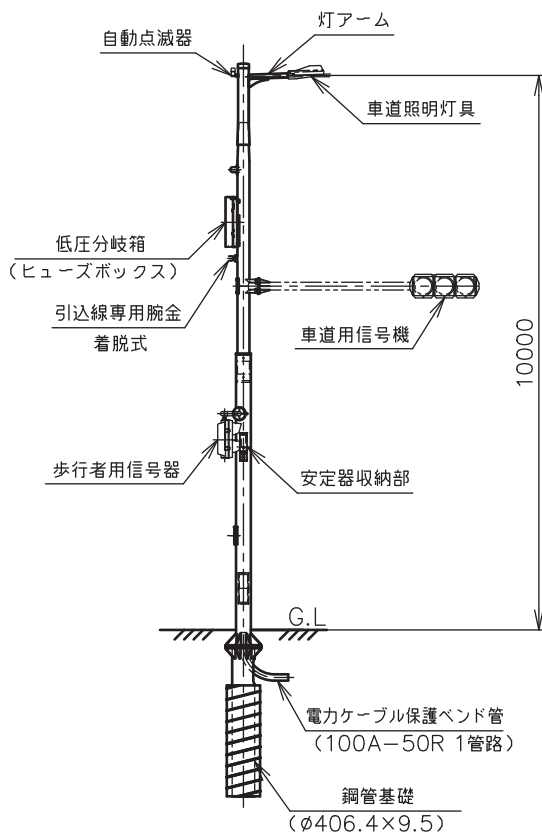
# 照明灯・低圧柱



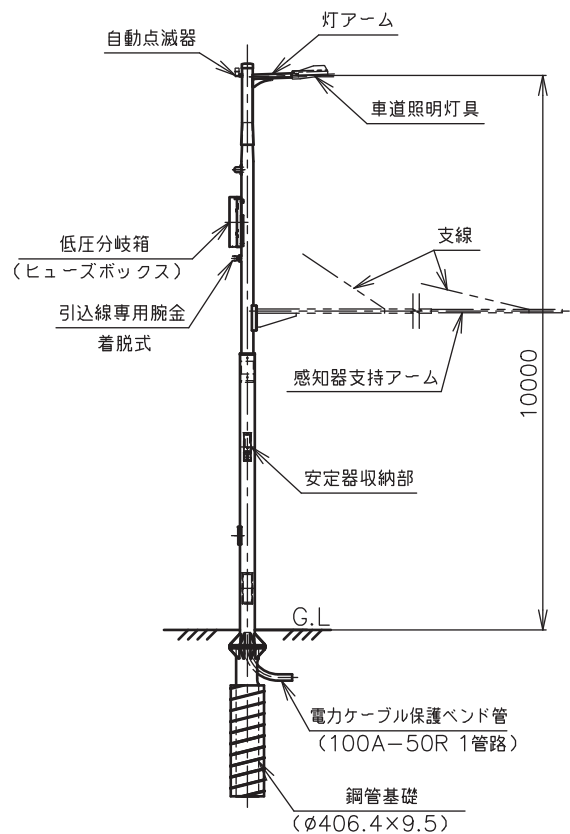
照明灯・低圧柱



照明灯・車道信号・低圧柱

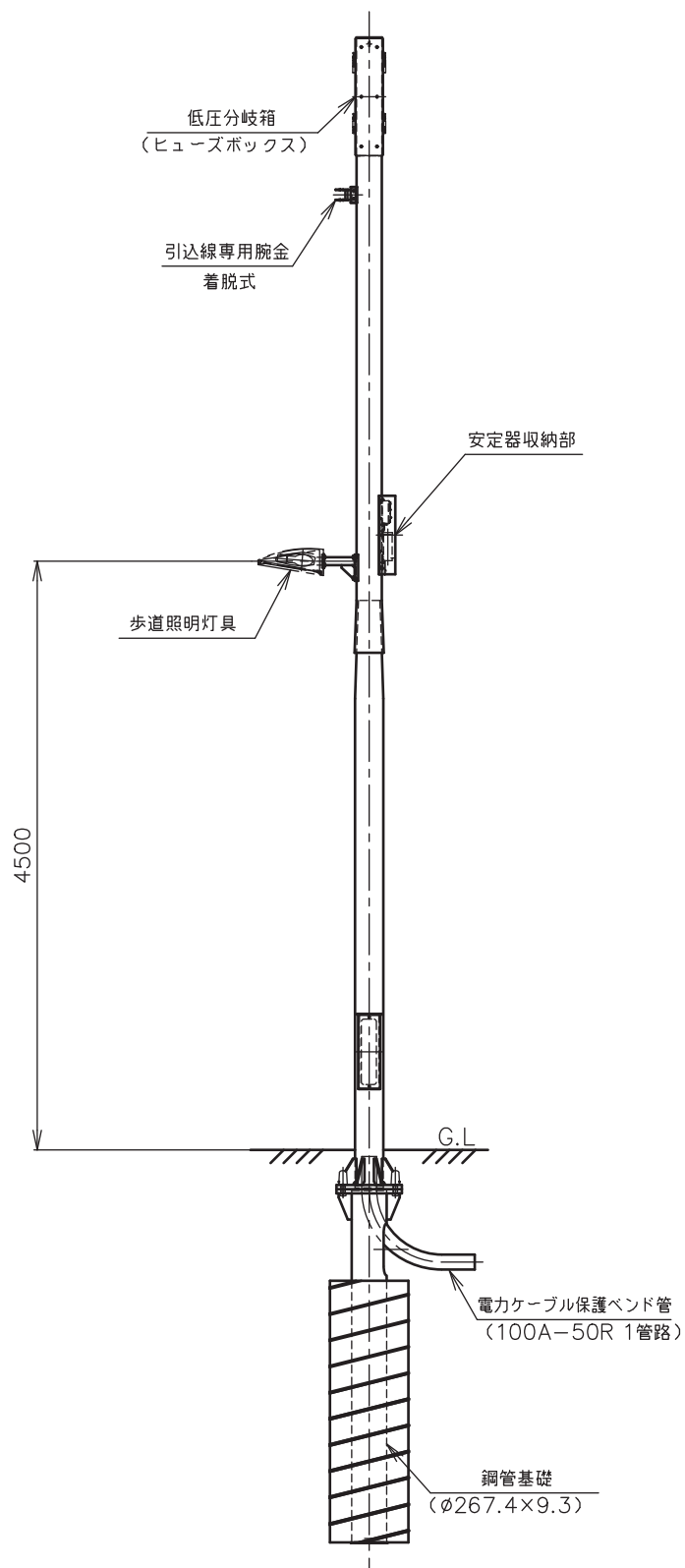


照明灯・歩車道信号・低圧柱



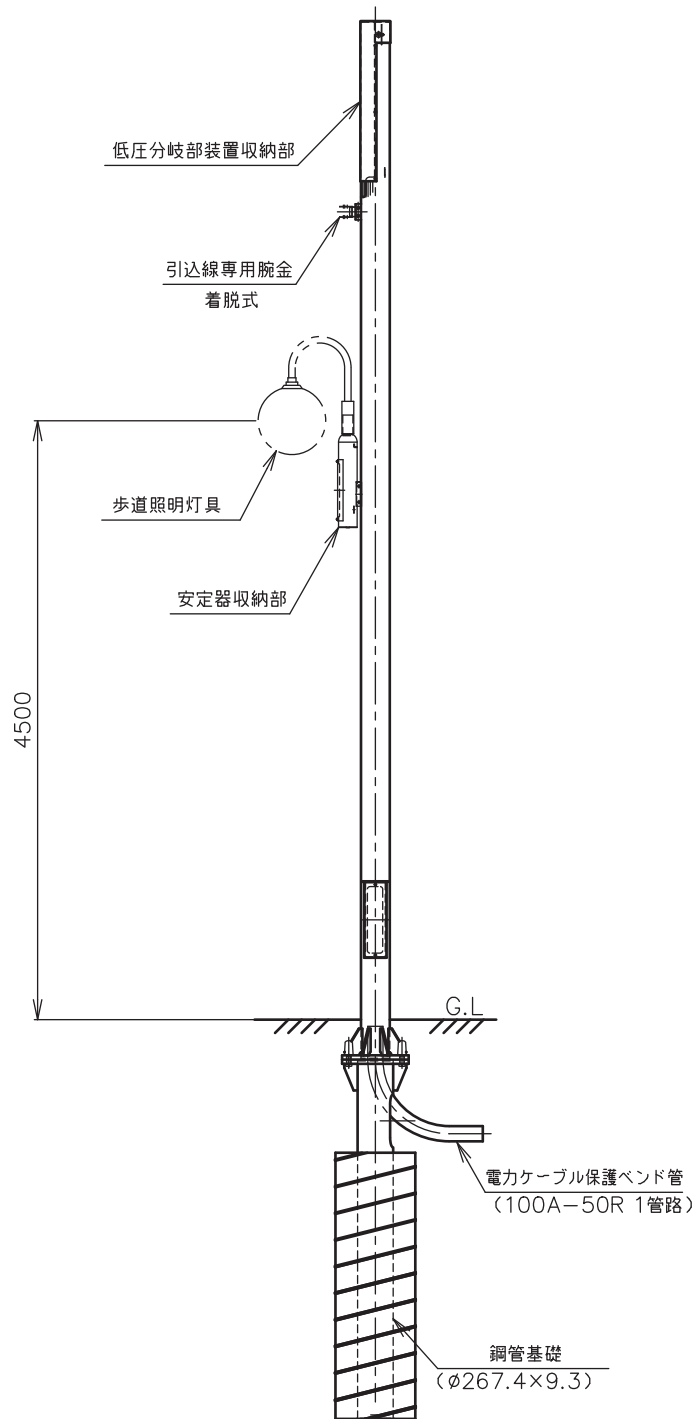
照明灯・感知器・低圧柱

# 照明灯・低圧柱



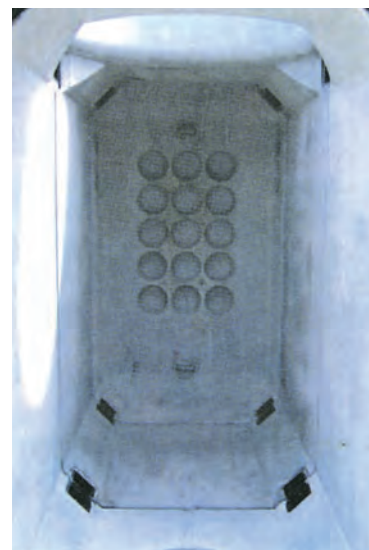
照明灯・低圧柱

# 照明灯・低圧柱



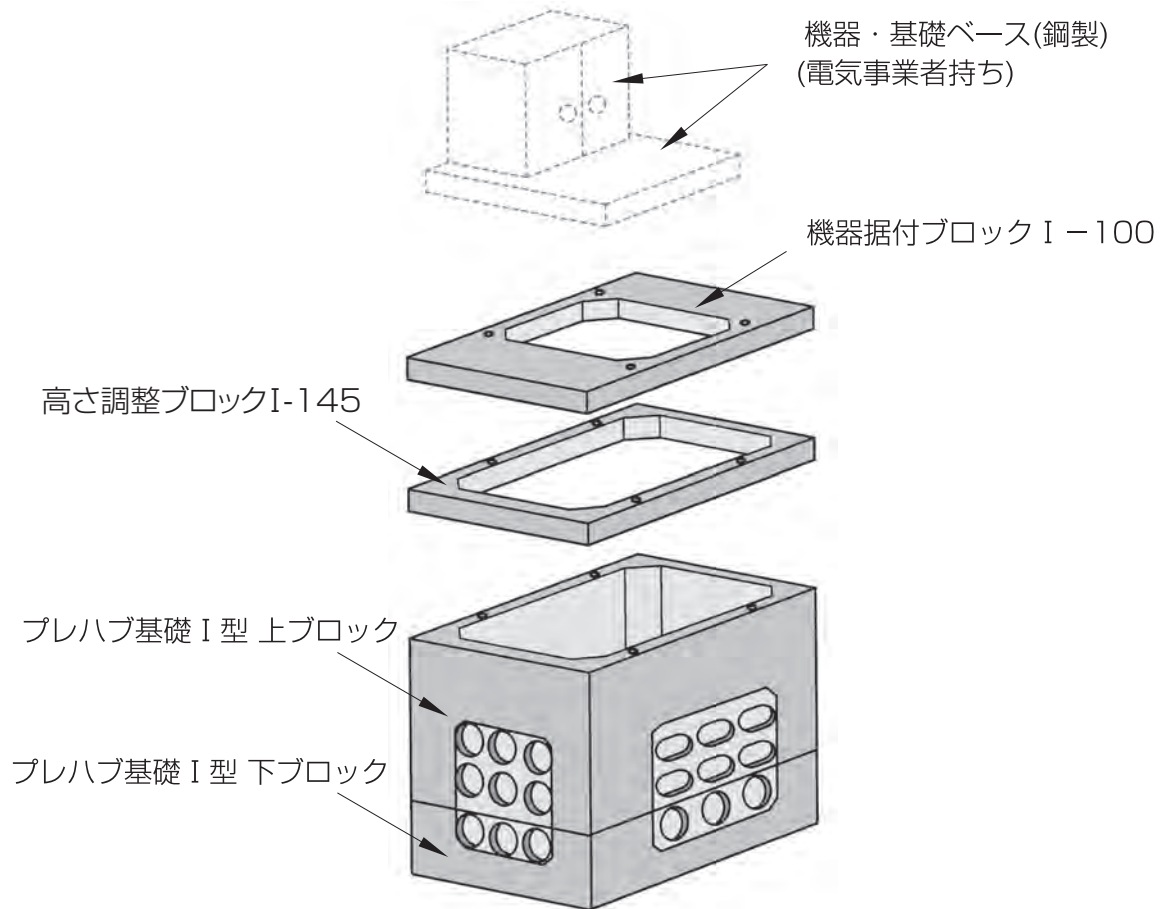
照明灯・低圧柱

# ● 電線共同溝(C-C-BOX)コンクリート製品

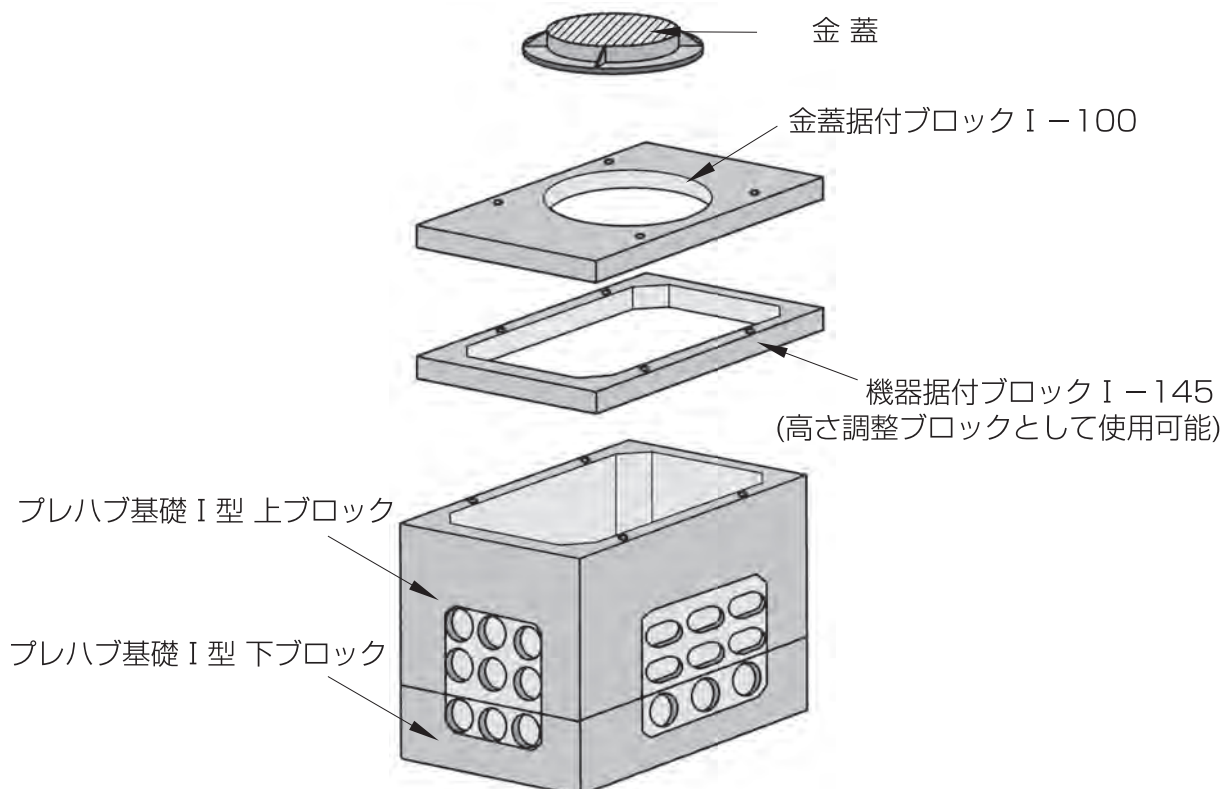


# ● ハンドホール一般組立例

## 1 プレハブ基礎I型 (機器設置)

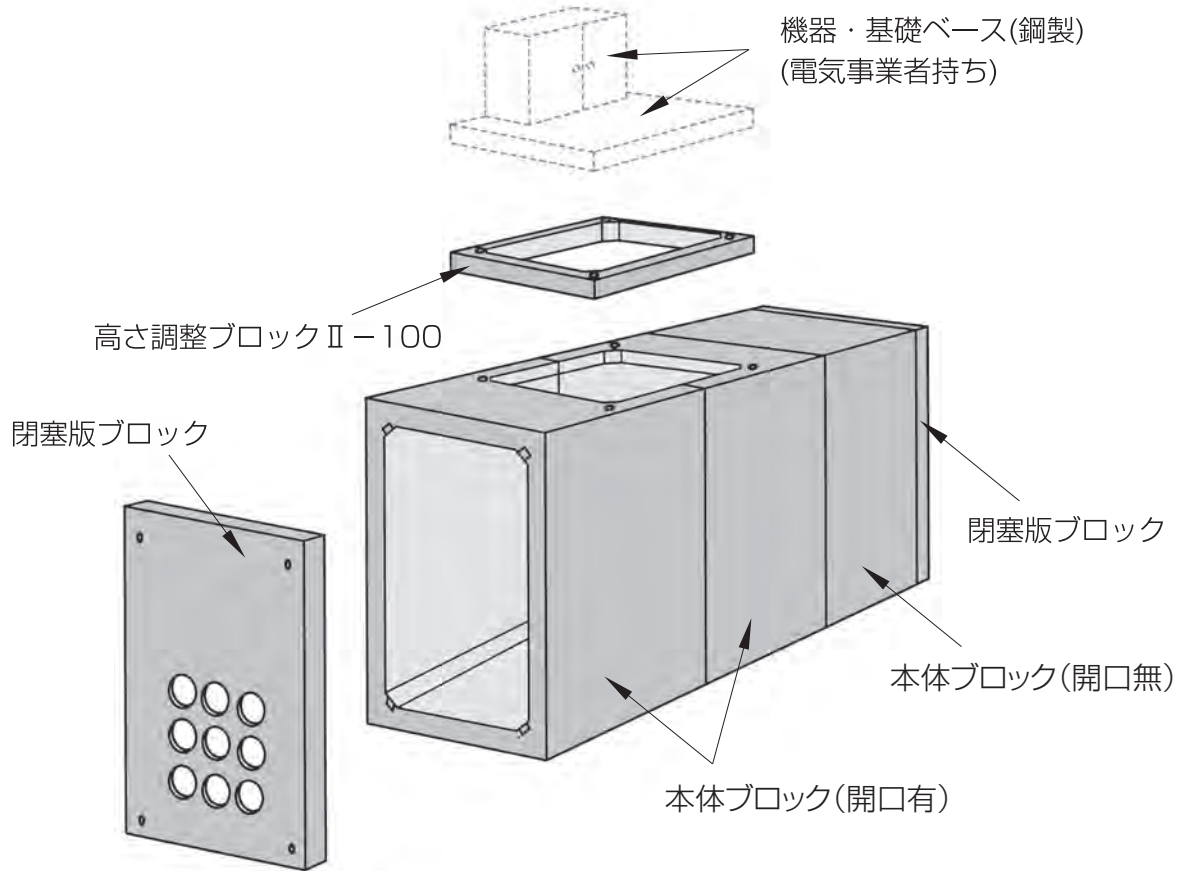


## 2 プレハブ基礎I型 (分岐)

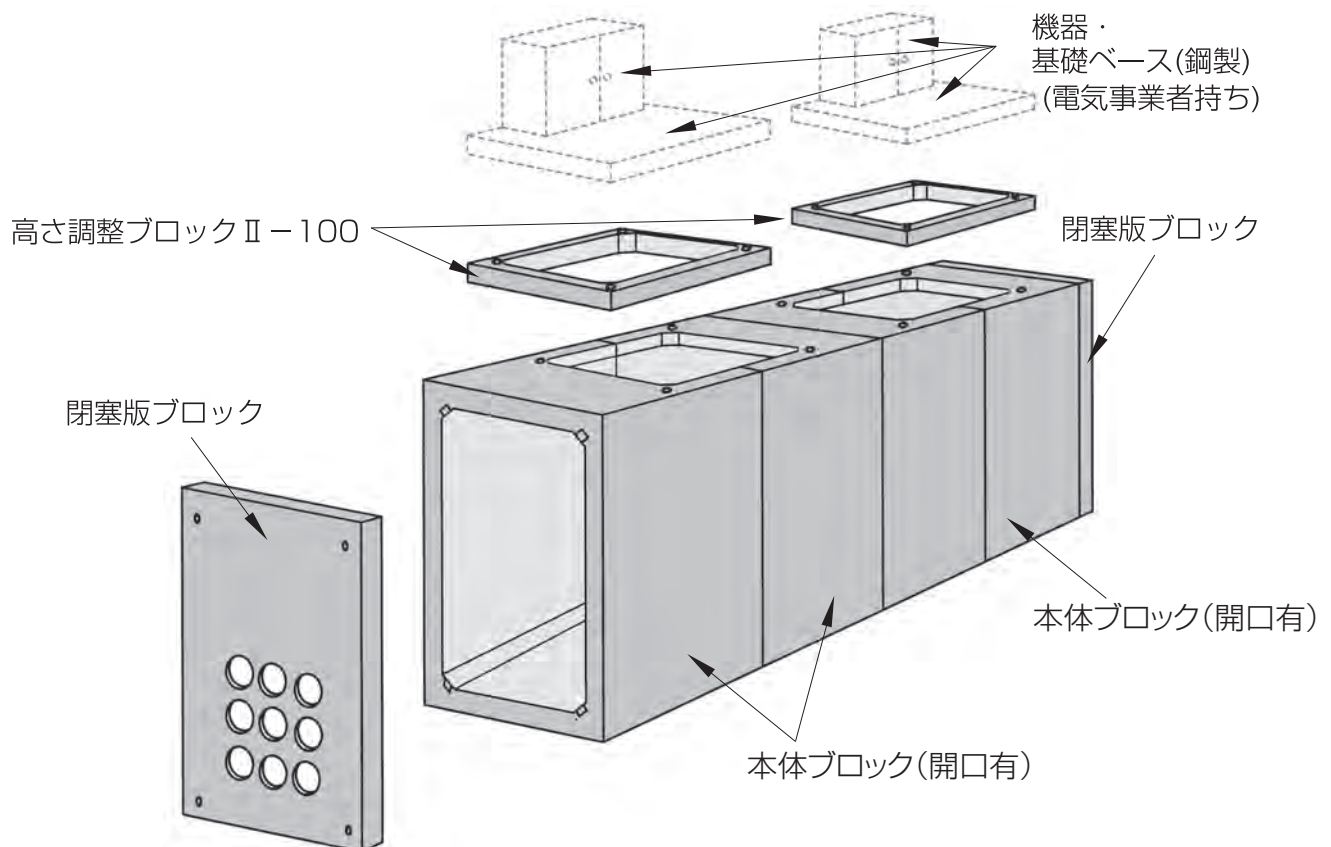


# ● ハンドホール一般組立例

## 1 プレハブ基礎Ⅲ型 (機器1台設置)



## 2 プレハブ基礎Ⅲ型 (機器2台設置)



# C-C-BOX

# C-C-BOX

電線共同溝

## ●プレキャストハンドホール ●プレハブマンホール

電線共同溝は、安全かつ円滑な道路交通の確保と景観の整備等を目的とし、電力、通信、信号、照明、有線放送、CATV等を地下に收容するため道路管理者が施工する施設です。

電線共同溝は低コストでコンパクトな管路部と特殊部（地上機器部、分岐部および接続部）から構成されています。

弊社ではこのような構成設備の建設に際し、狭い歩道でも経済的で、短期間に施工でき、高品質で且つタイムリーに提供可能なプレキャストコンクリート製品を開発し、製造体制と品質管理に万全を期しております。ご使用に当りお役に立てていただきたく、以下の各製品の仕様、組合わせ等の資料を作成いたしました。ご用命をお待ちしております。

## I 特 長

### 品 質

合理的な設計で、且つ管理された工場で製造していますので、品質は良好です。

### 工期の短縮

現場打ち施工と比較して、配筋、型枠組立、コンクリート打設、養生等の作業が省略でき、工期を大幅に短縮することができます。

### 多様なニーズに対応

機器枠、分岐枠等の組合わせにより、種々の設計ニーズにお応えすることができます。

### 経済的効果

型枠、鉄筋組立等の空間が不要で、掘削土量、開削面積の軽減および路面復旧費用も節減でき、経済的効果を発揮することが可能です。

## Ⅱ 設計条件

主として電線共同溝の指針に基づいて設計しております。車道設置の場合は、歩車共用をご使用ください。

### 1 荷 重

#### (1) 死 荷 重

単位：kN/m<sup>3</sup>

材 料	単 位 質 量	材 料	単 位 質 量
鋼 ・ 鋳 鋼	77.0	アスファルト舗装 コンクリート舗装	22.5
鉄筋コンクリート	24.5	砕 石	21.0
鋳 鉄	71.0	埋め戻し砂	19.0
コンクリート	23.0	埋め戻し砂(水中)	10.0
セメントモルタル	21.0		

#### (2) 活 荷 重 ①群集荷重 5.0 kN/m<sup>2</sup>

#### ②自動車荷重

単位：kN

荷 重	後輪1輪の軸重	後輪1輪の輪荷重
245	100	50

#### (3) 衝 撃 係 数

種 別	衝 撃 係 数 i	
歩 道 等 (車両を考慮する場合)	i = 0.1	
車 道	土被り1m未満	i = 0.4
	土被り1m以上	i = 0.3

### 2 許容応力度

単位：N/mm<sup>2</sup>

材 料	項 目	応 力 度
コンクリート	設 計 基 準 強 度	30.0
	曲 げ 圧 縮 応 力 度	11.0
	せん断応力度	0.5
	付着応力度(異形)	1.8
	支 圧 応 力 度	9.0
鉄 筋	引張応力度(SD295)	180.0

### 3 そ の 他

電線共同溝指針に記載されていない事項については、コンクリート標準示方書道路土工およびカルバート工指針による。

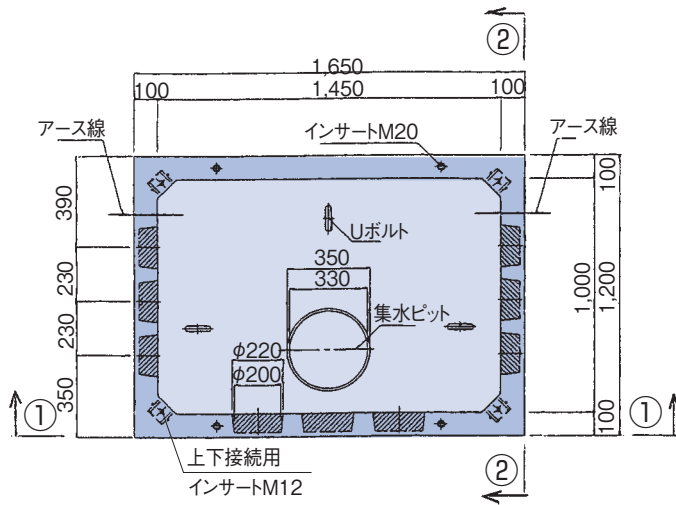
- ・プレハブマンホールの土被り適用範囲 0.4m～2.0m

# プレキャストハンドホール(プレハブ基礎I型シリーズ)

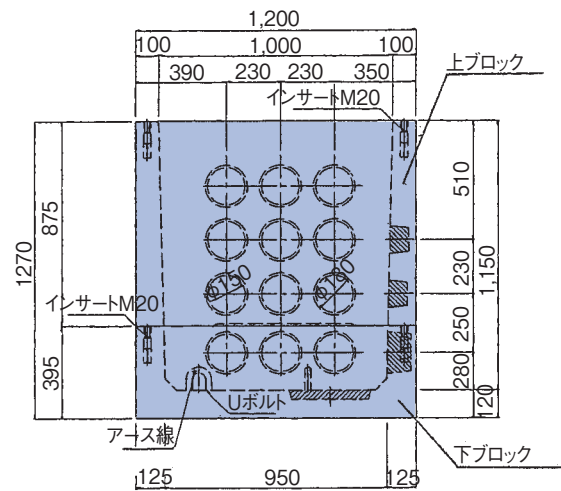
## 1 プレハブ基礎I型 タイプ2

製品コード	仕様	ロックアウト孔	摘要
3410110	関電	9孔	歩道用
3420110	一般	12孔	

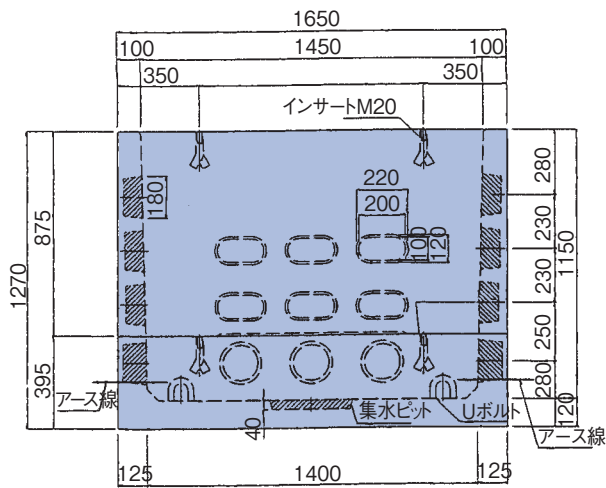
平面図



断面図②-②



正面図①-①



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
上ブロック(1ヶ当り)	1.2	M12 50mm×4本
上ブロック(1ヶ当り)	0.98	
合計(1基当り)	2.18	

### 適 応

- 機器据付ブロック I-100
- 高さ調整ブロック I-145 (H=150・200・300)
- 金蓋取付ブロック I型 (φ880穴)
- 蓋版ブロック I型

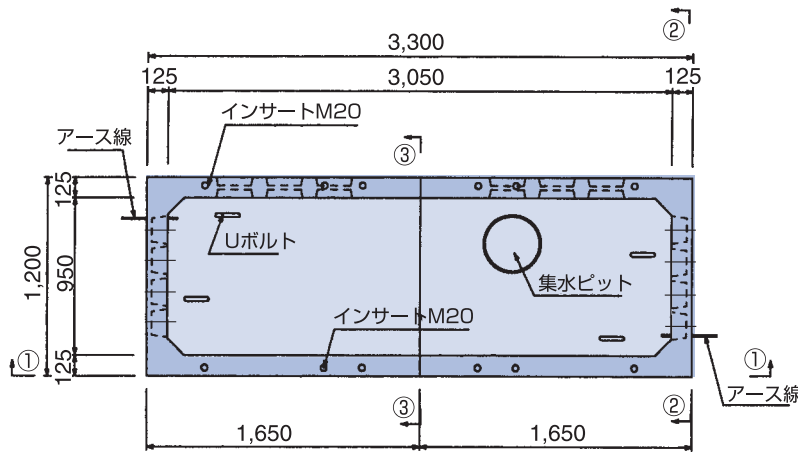
※ロックアウト9孔タイプもあります

# ● プレキャストハンドホール(プレハブ基礎I型シリーズ)

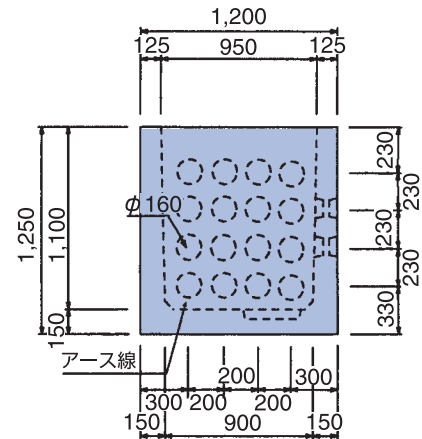
## 2 プレハブ基礎I型 神戸2連タイプ (2ブロック分割型)

製品コード	仕様	ノックアウト孔	摘要
3420123	一般	16孔	歩車共用

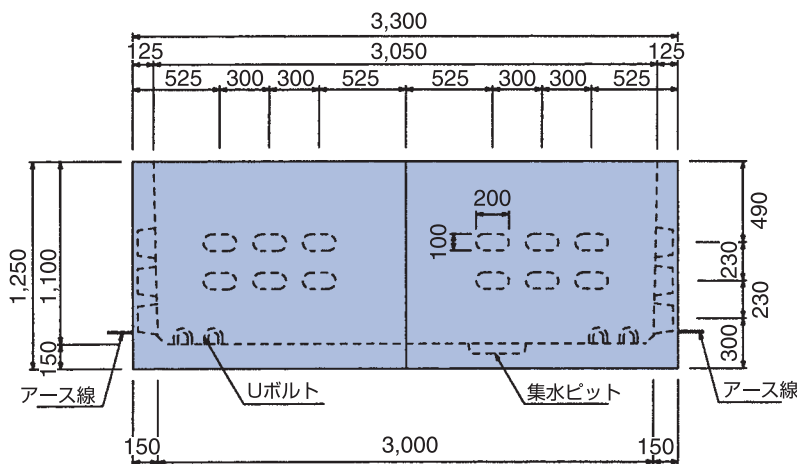
平面図



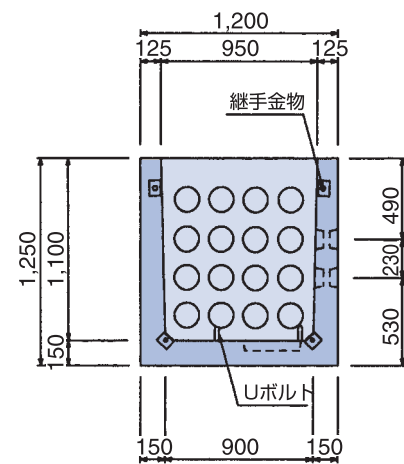
断面図②-②



正面図①-①



断面図③-③



### ■ 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
1ブロック当り	2.255	M16 50mm×4本
合計(1基当り)	4.51	

### ■ 適 応

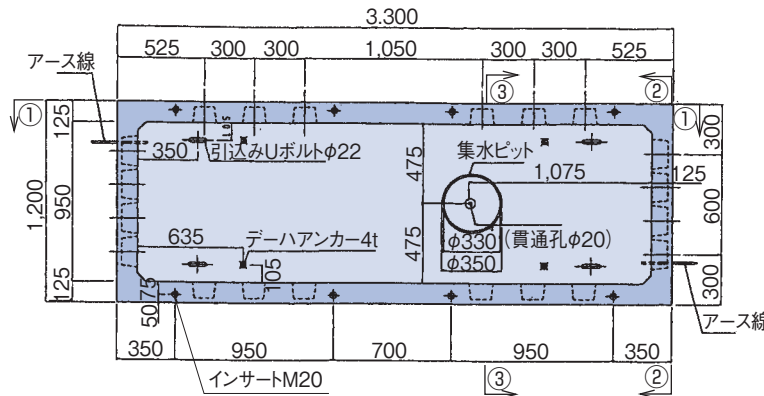
- 機器据付ブロック I-100
- 高さ調整ブロック I-145  
(H=150・200・300)
- 金蓋取付ブロック I型 ( $\phi 880$ 穴)
- 蓋版ブロック I型

# プレキャストハンドホール(プレハブ基礎I型シリーズ)

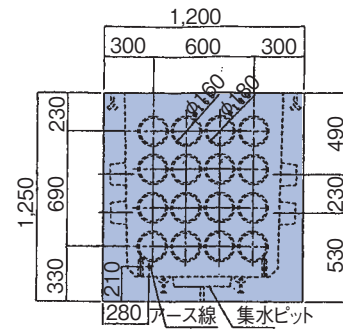
## 3 プレハブ基礎I型 2連一体型 (1ブロッケー体型)

製品コード	仕様	ロックアウト孔	摘要
3411923	一般	16孔	歩車共用

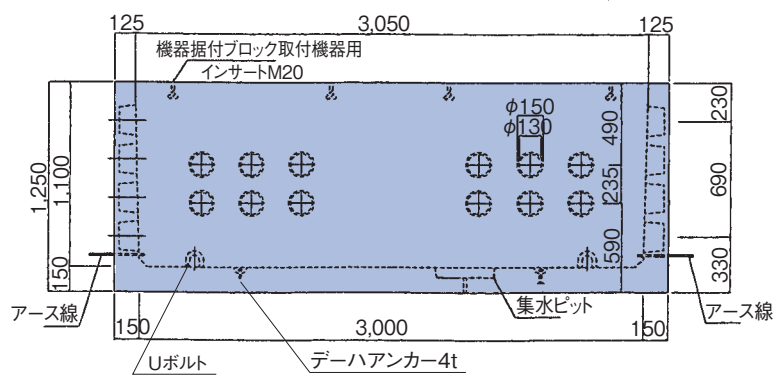
平面図



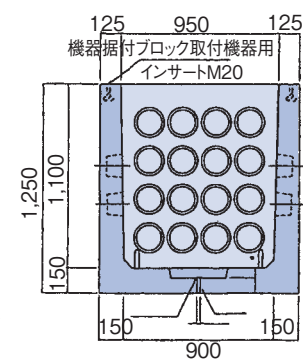
断面図②-②



正面図①-①



断面図③-③



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1基当り)	4.58	—

### 適応

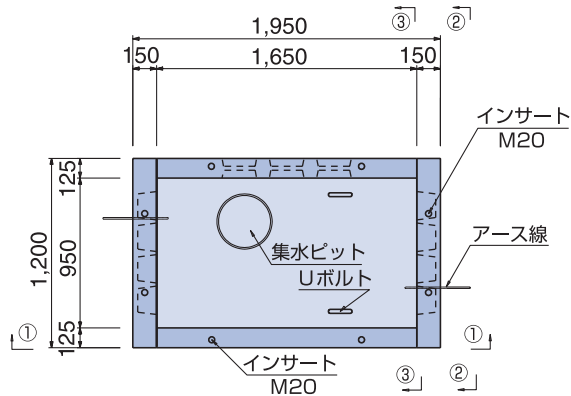
- 機器据付ブロック I-100
- 高さ調整ブロック I-145  
(H=150・200・300)
- 金蓋取付ブロック I型 (φ880穴)
- 蓋版ブロック I型

# ● プレキャストハンドホール(プレハブ基礎I型シリーズ)

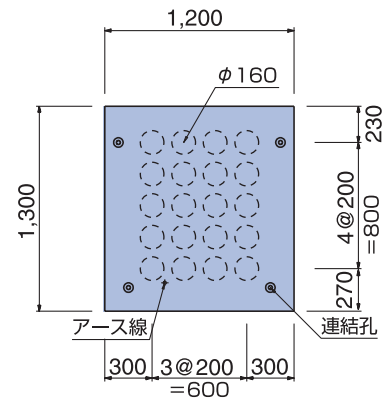
## 4 プレハブ基礎I型 Uタイプ 1連 H=1100

製品コード	仕様	ノックアウト孔	摘要
3420146	一般	20孔	歩車共用

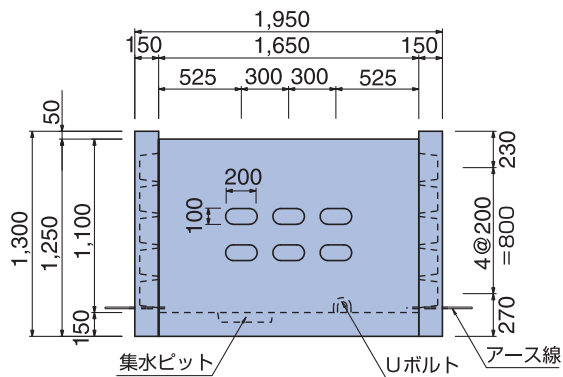
平面図



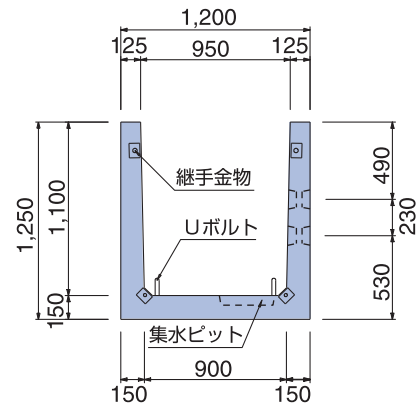
断面図 ②-②



正面図 ①-①



断面図 ③-③



※H=550、700、800も製造可能

### ■ 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
閉塞版(1枚当り)	0.435	M16 150mm×8本
本体(1ヶ当り)	1.96	
合計(1基当り)	2.83	

### ■ 適 応

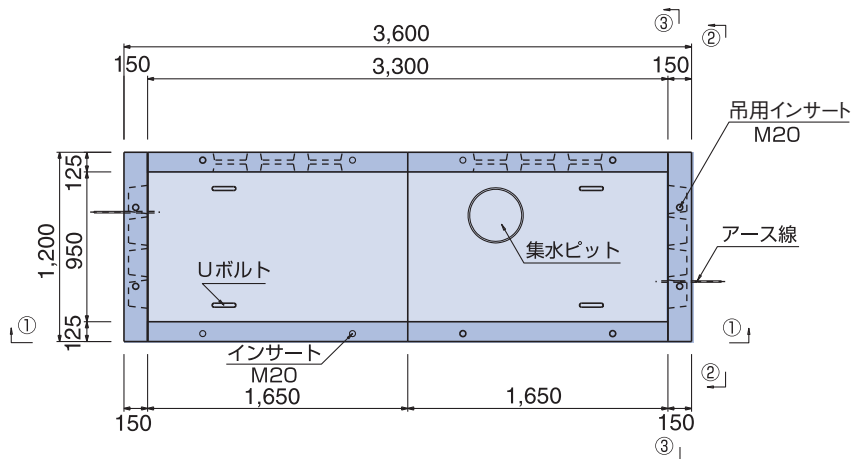
- 機器据付ブロック I-100
- 高さ調整ブロック I-145  
(H=150・200・300)
- 金蓋取付ブロック I型 (φ880穴)
- 蓋版ブロック I型

# プレキャストハンドホール(プレハブ基礎I型シリーズ)

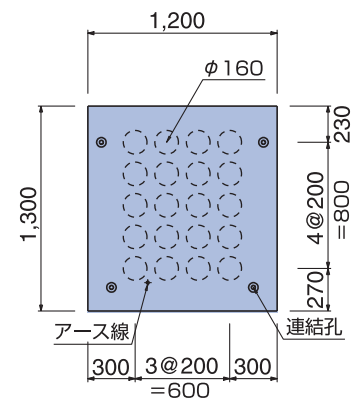
## 5 プレハブ基礎I型 Uタイプ 2連 H=1100

製品コード	仕様	ロックアウト孔	摘要
3420147	一般	20孔	歩車共用

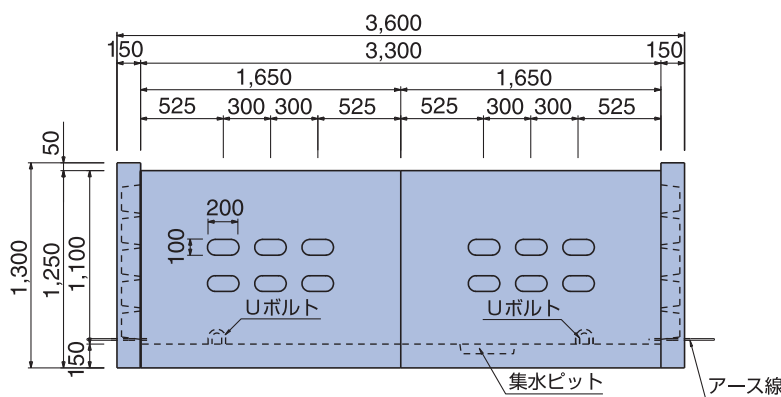
平面図



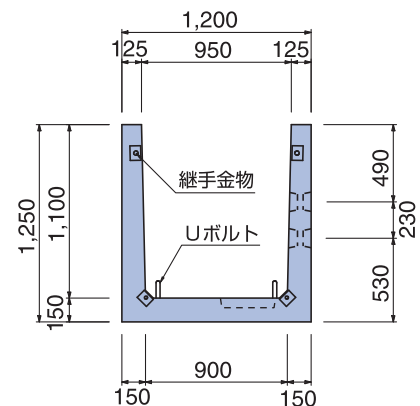
断面図 ②-②



正面図 ①-①



断面図 ③-③



### 重量・付属品

種 別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
閉塞版(1枚当り)	0.435	M16 150mm×8本
本 体(1ヶ当り)	1.96	M16 50mm×4本
合 計(1基当り)	4.79	—

### 適 応

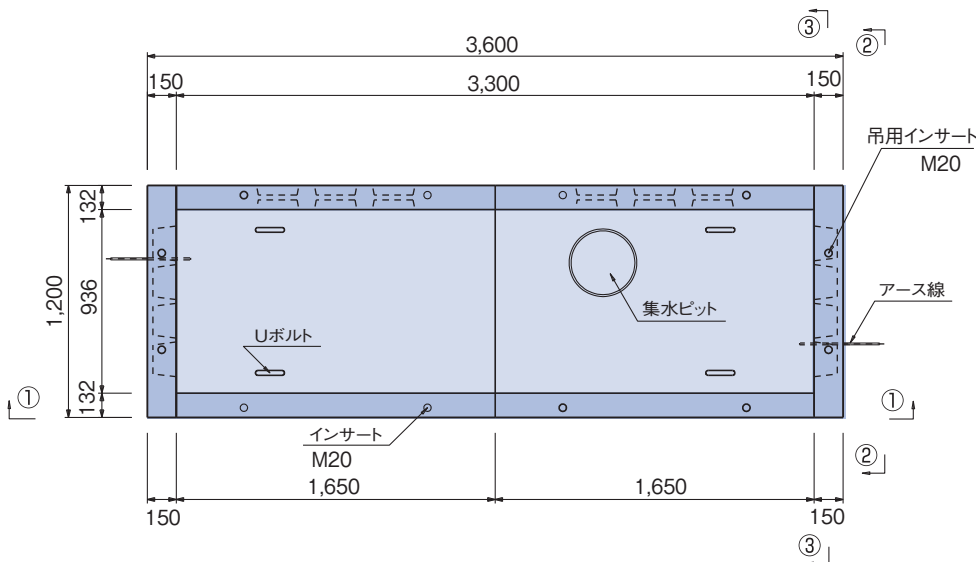
- 機器据付ブロック I-100
  - 高さ調整ブロック I-145  
(H=150・200・300)
  - 金蓋取付ブロック I型 (φ880穴)
  - 蓋版ブロック I型
- ※ 本体を増やすことにより(3連、4連)も可能

# ● プレキャストハンドホール(プレハブ基礎I型シリーズ)

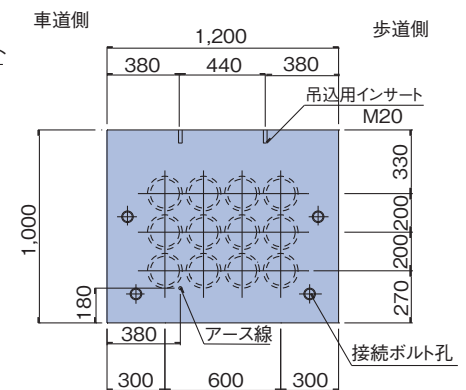
## 6 プレハブ基礎I型 Uタイプ 2連 H=800

製品コード	仕様	ロックアウト孔	摘要
3420152	一般	12孔	歩道用

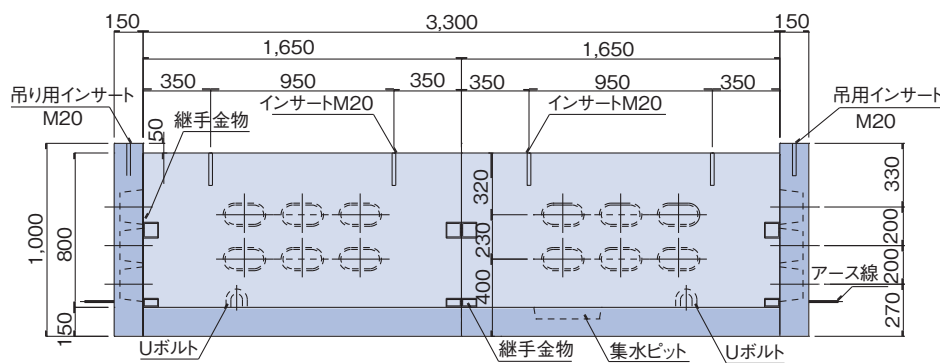
平面図



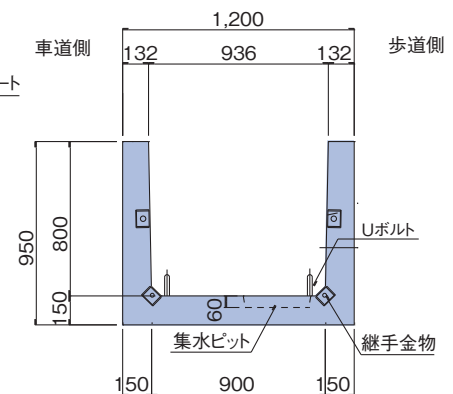
断面図 ②-②



正面図 ①-①



断面図 ③-③



### ■ 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
閉塞版(1枚当り)	0.34	M16 150mm×8本
本体(1ヶ当り)	1.64	M16 50mm×4本
合計(1基当り)	3.96	—

### ■ 適 応

- 機器据付ブロック I-100
- 高さ調整ブロック I-145 (H=150・200・300)
- 金蓋取付ブロック I型 (φ880穴)
- 蓋版ブロック I型

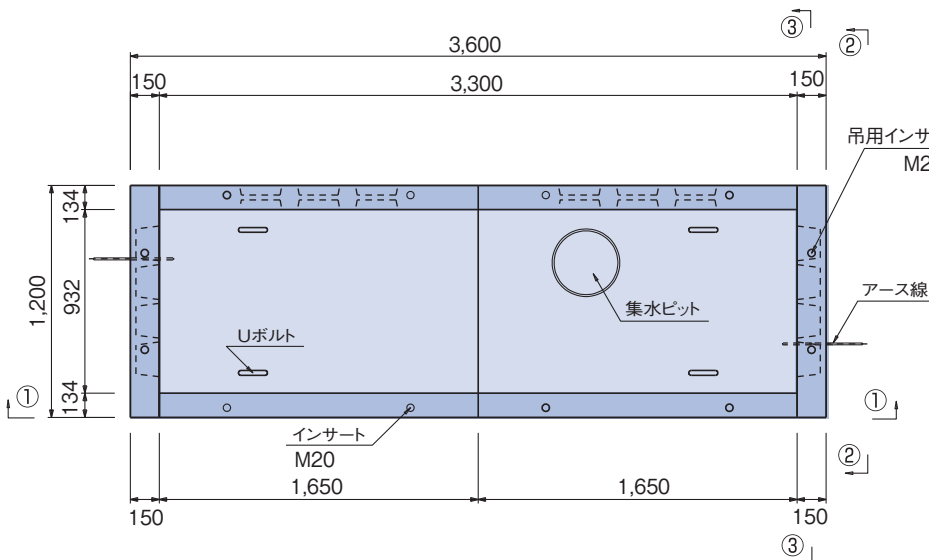
※ 本体を増減することにより  
(1連、3連、4連)も可能

# プレキャストハンドホール(プレハブ基礎I型シリーズ)

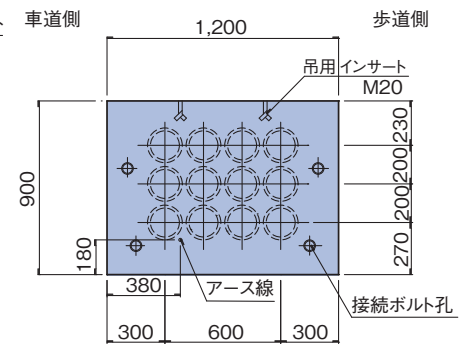
## 7 プレハブ基礎I型 Uタイプ 2連 H=700

製品コード	仕様	ロックアウト孔	摘要
3420162	一般	12孔	歩道用

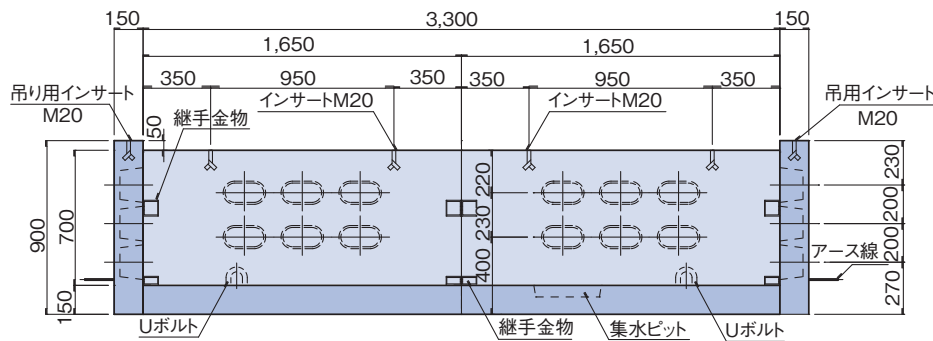
平面図



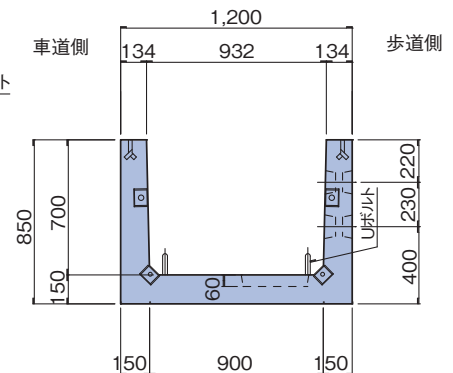
断面図 ②-②



正面図 ①-①



断面図 ③-③



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
閉塞版(1枚当り)	0.315	M16 150mm×8本
本体(1ヶ当り)	1.53	M16 50mm×4本
合計(1基当り)	3.69	—

### 適応

- 機器据付ブロック I-100
- 高さ調整ブロック I-145 (H=150・200・300)
- 金蓋取付ブロック I型 (φ880穴)
- 蓋版ブロック I型

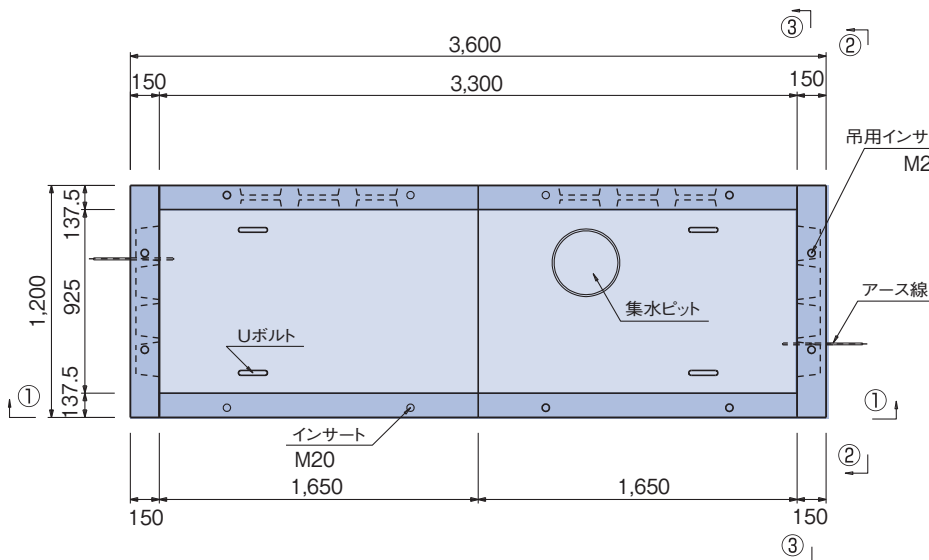
※ 本体を増減することにより  
(1連、3連、4連)も可能

# プレキャストハンドホール(プレハブ基礎I型シリーズ)

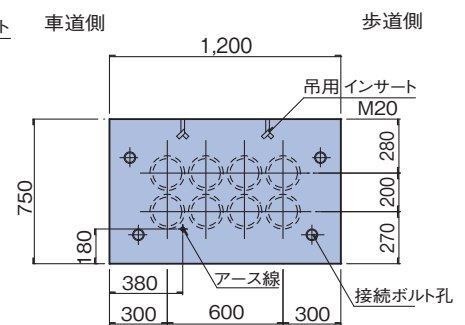
## 8 プレハブ基礎I型 Uタイプ 2連 H=550

製品コード	仕様	ノックアウト孔	摘要
3420172	一般	8孔	歩道用

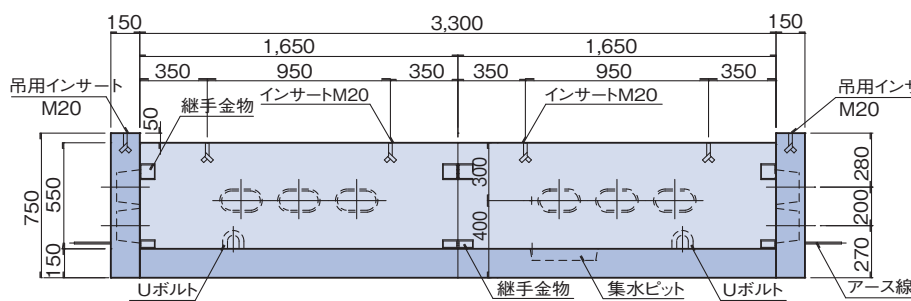
平面図



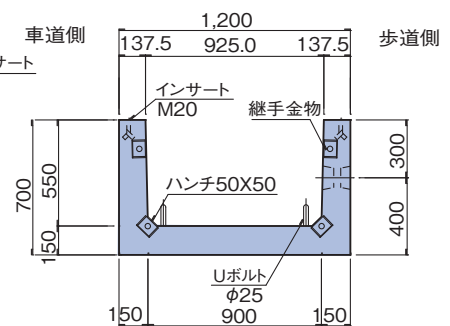
断面図 ②-②



正面図 ①-①



断面図 ③-③



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
閉塞版(1枚当り)	0.275	M16 150mm×8本
本体(1ヶ当り)	1.37	M16 50mm×4本
合計(1基当り)	3.29	—

### 適応

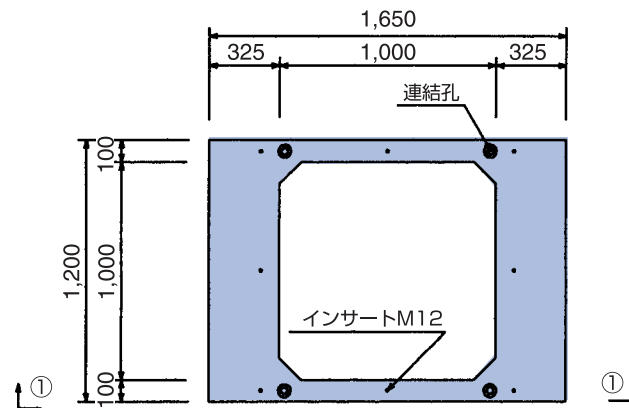
- 機器据付ブロックI-100
  - 高さ調整ブロックI-145 (H=150・200・300)
  - 金蓋取付ブロックI型(φ880穴)
  - 蓋版ブロックI型
- ※本体を増減することにより  
(1連、3連、4連)も可能

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎I型シリーズ)

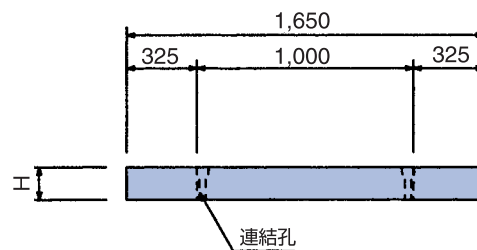
## 9 機器据付ブロックI-100

製品コード	仕様	厚み
3410120	関電・一般	H=150
3410122	一般	H=200

平面図



正面図① - ①



※但し、H=150、200

### ■ 重量・付属品

種別	製品重量 (t)	接続ボルト(本体)
H=150 (1枚当り)	0.36	M20 120mm×4本
H=200 (1枚当り)	0.48	M20 170mm×4本

### ■ 適 応

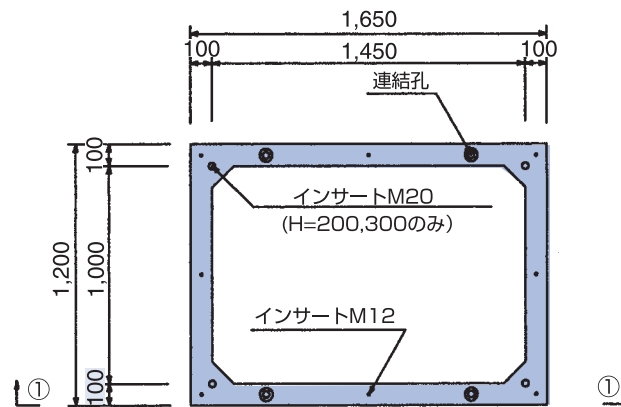
- プレハブ基礎 I 型
- プレハブ基礎 I 型 神戸2連
- プレハブ基礎 I 型 2連一体型
- プレハブ基礎 I 型 Uタイプ

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎I型シリーズ)

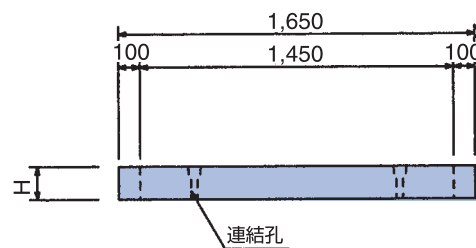
## ⑩ 高さ調整ブロックI-145

製品コード	仕様	厚み
3410130	関電・一般	H=150
3418901	一般	H=200
3410128	一般	H=300

平面図



正面図① - ①



※但し、H=150, 200, 300

### ■ 重量・付属品

種別	製品重量 (t)	接続ボルト(本体)
H=150 (1枚当り)	0.195	M20 120mm×4本
H=200 (1枚当り)	0.26	M20 170mm×4本
H=300 (1枚当り)	0.39	M20 270mm×4本

### ■ 適 応

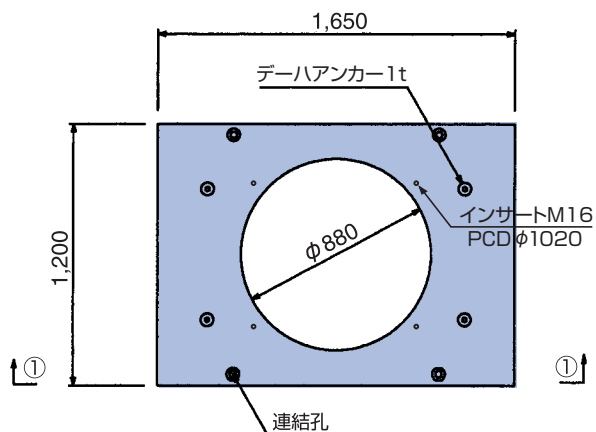
- プレハブ基礎I型
  - プレハブ基礎I型 神戸2連
  - プレハブ基礎I型 2連一体型
  - プレハブ基礎I型 Uタイプ
- ※高さ調整ブロックとして使用

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎I型シリーズ)

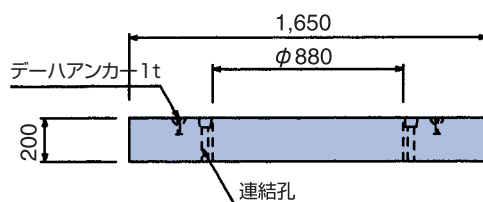
## II 金蓋取付ブロックI型 φ880穴

製品コード	仕様	厚み
3410541	一般	H=200

平面図



正面図① - ①



### ■ 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
型 H=200(1ヶ当り)	0.675	M20 190mm×4本

### ■ 適 応

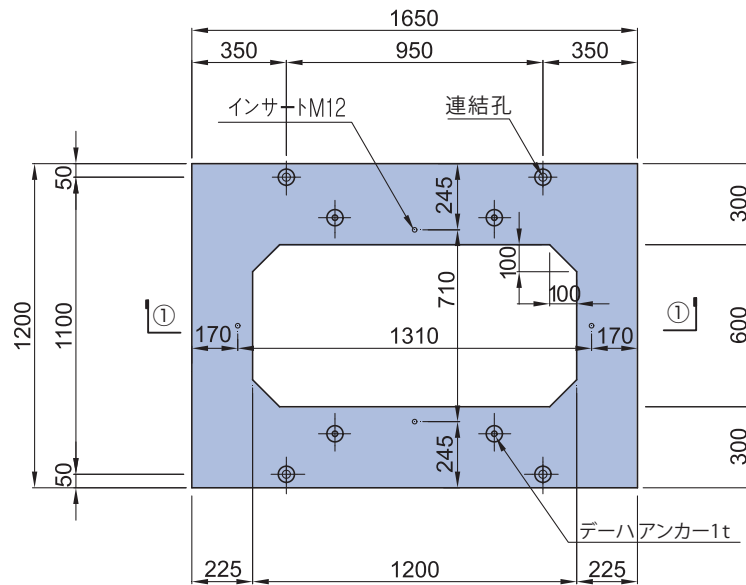
- プレハブ基礎 I 型
- プレハブ基礎 I 型 神戸2連
- プレハブ基礎 I 型 2連一体型
- プレハブ基礎 I 型 Uタイプ

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎I型シリーズ)

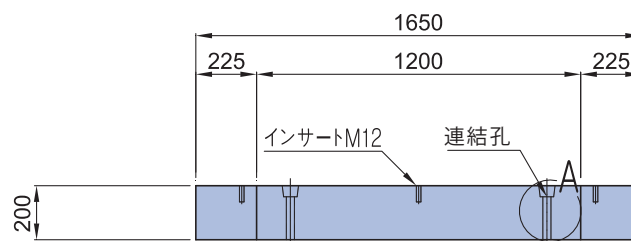
## 12 金蓋取付ブロックI型 600×1200

製品コード	仕様	厚み
3410544	一般	H=200

平面図



断面図 ① - ①



### ■ 重量・付属品

種別	製品重量 (t)	接続ボルト(本体)
合計 (1枚当り)	0.65	M20 190mm×4本

### ■ 適 応

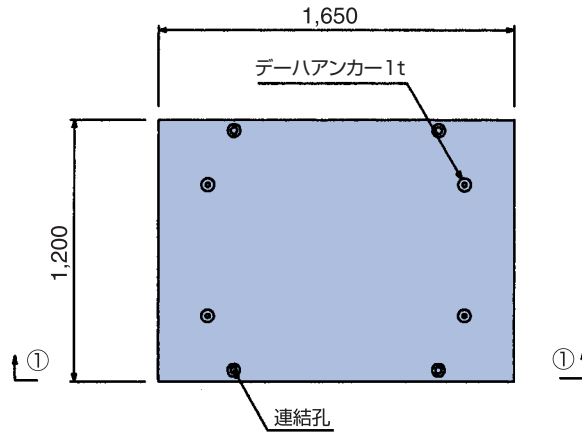
- プレハブ基礎 I 型
- プレハブ基礎 I 型 神戸2連
- プレハブ基礎 I 型 2連一体型
- プレハブ基礎 I 型 Uタイプ

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎I型シリーズ)

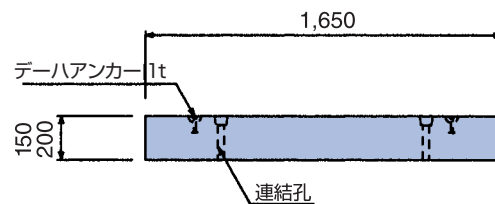
## 13 蓋版ブロックI型

製品コード	仕様	厚み
3410134	一般	H=200
3410190	一般	H=150

平面図



正面図 ① - ①



### ■ 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1枚当り)	1	M20 190mm×4本

### ■ 適 応

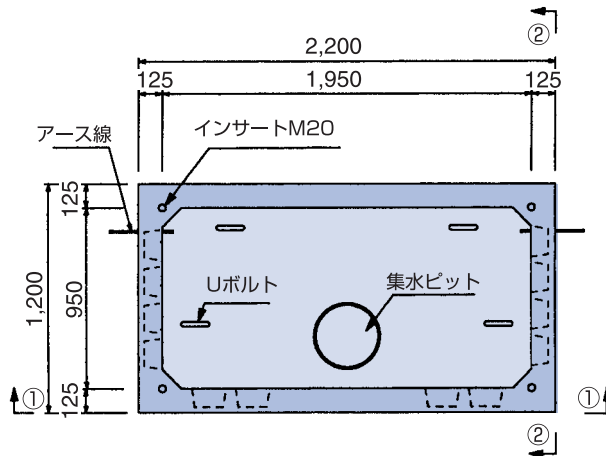
- プレハブ基礎 I 型
- プレハブ基礎 I 型 神戸2連
- プレハブ基礎 I 型 2連一体型
- プレハブ基礎 I 型 Uタイプ

# プレキャストハンドホール (プレハブ基礎Ⅱ型シリーズ)

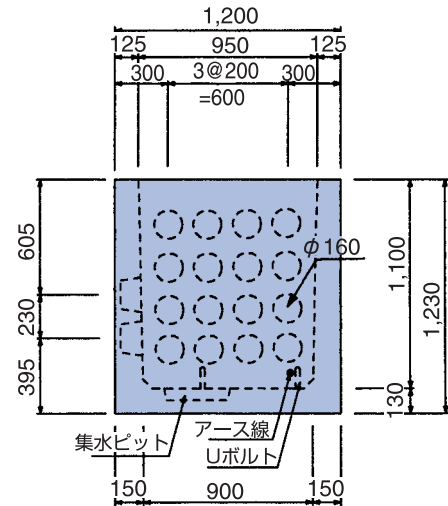
## 1 プレハブ基礎Ⅱ型 タイプ6

製品コード	仕様	ロックアウト孔	摘要
3410200	関電	9孔	歩道専用
3420212	一般	16孔	歩車共用

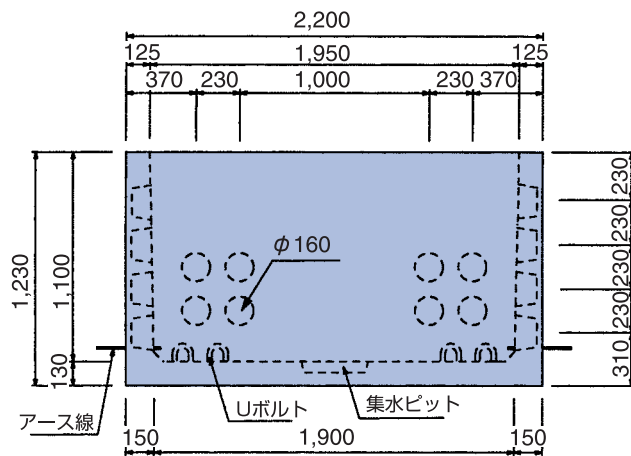
平面図



断面図② - ②



正面図① - ①



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1枚当り)	3.025	—

### 適 応

- 機器据付ブロックⅡ-100
- 金蓋取付ブロックⅡ型  
(φ880、600×1,200)
- 高さ調整ブロックⅡ-195 (H=400)
- 高さ調整ブロックⅡ-195 (H=500)

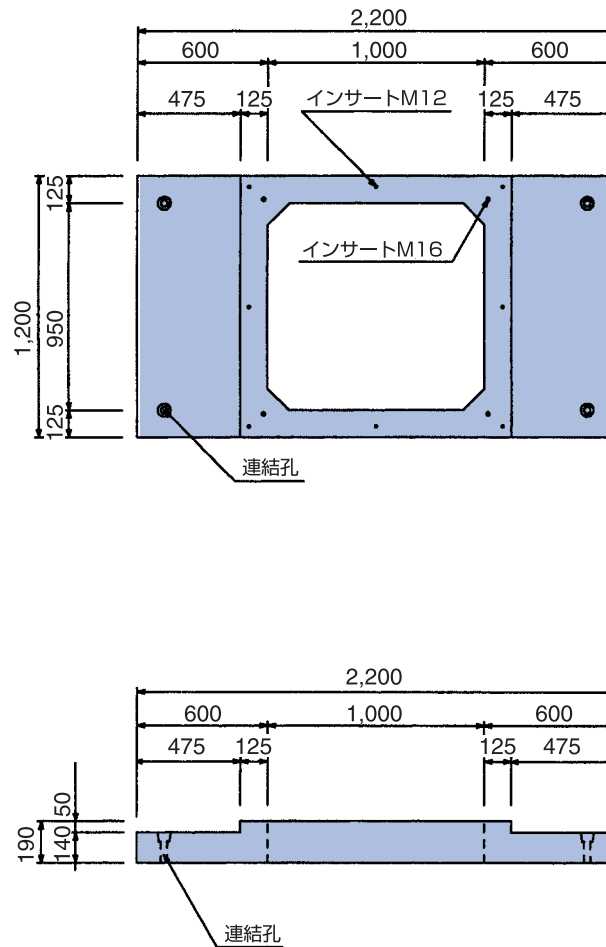
※ロックアウト9個タイプもあります

# プレキャストハンドホール (プレハブ基礎Ⅱ型シリーズ)

## 2 機器据付ブロックⅡ-100

製品コード	仕様	厚み
3410220	関電・一般	H=190

### 平面図



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1枚当り)	0.66	M20 140mm×4本

### 適応

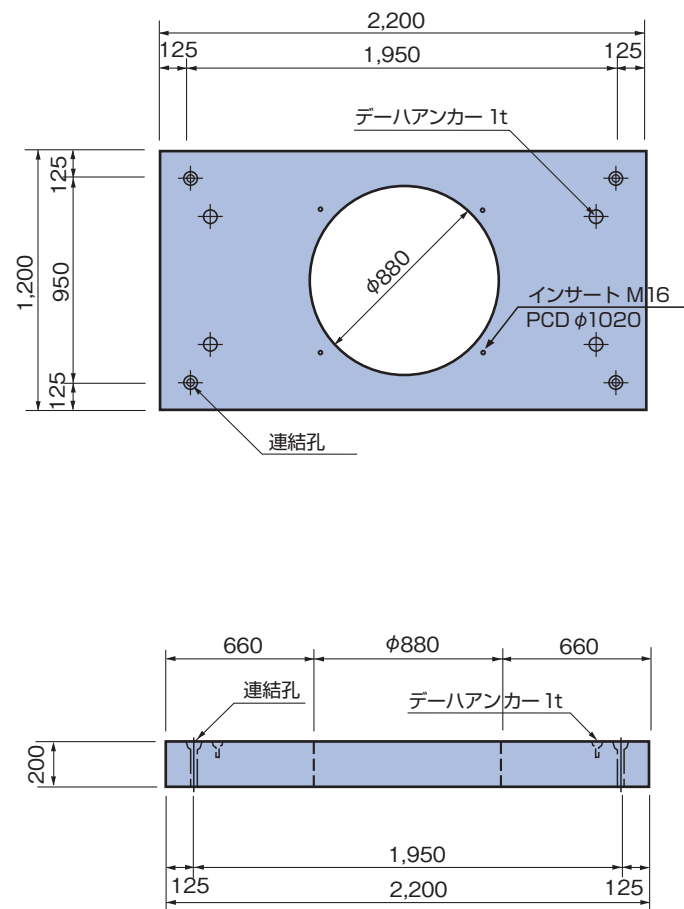
- プレハブ基礎Ⅱ型
- 高さ調整ブロックⅡ-100 (H=150・200)
- 金蓋取付ブロックⅢ型 (φ880穴)
- 蓋版ブロックⅢ型

# プレキャストハンドホール (プレハブ基礎Ⅱ型シリーズ)

## 3 金蓋取付ブロックⅡ型 $\phi 880$ 穴

製品コード	仕様	厚み
3410545	一般	H=200

### 平面図



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1枚当り)	1.015	M20 190mm×4本

### 適応

- プレハブ基礎Ⅱ型

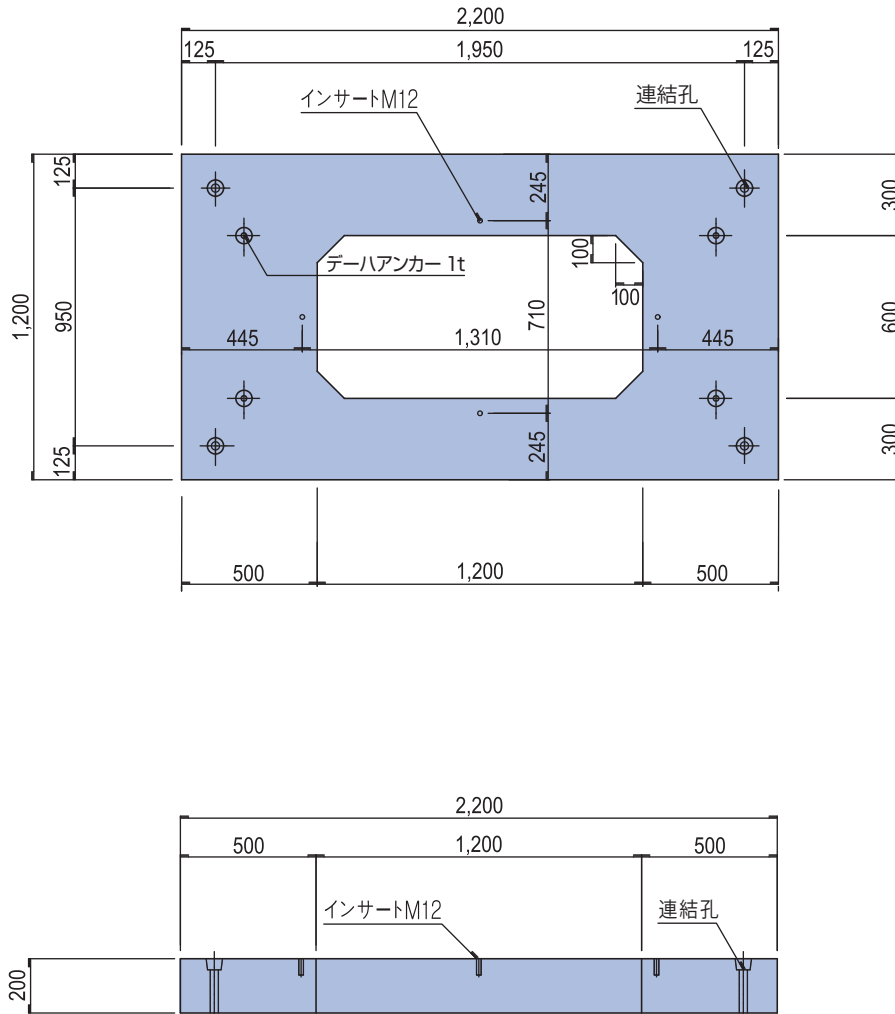


# プレキャストハンドホール (プレハブ基礎Ⅱ型シリーズ)

## 4 金蓋取付ブロックⅡ型 600×1200

製品コード	仕様	厚み
3410548	一般	H=200

平面図



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1枚当り)	0.975	M20 190mm×4本

### 適 応

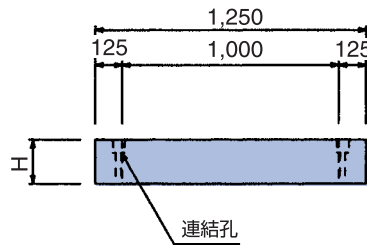
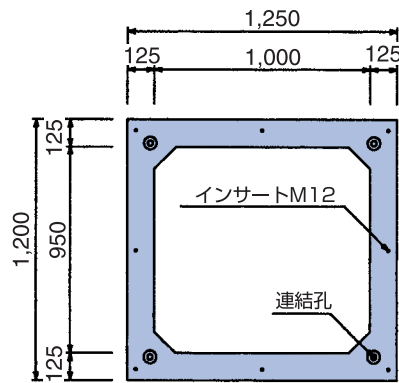
- プレハブ基礎Ⅱ型

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎Ⅱ型シリーズ)

## 5 高さ調整ブロックⅡ-100 H=150・200

製品コード	仕様	厚み
3410240	一般	H=150
3410242	一般	H=200

### 平面図



### ■ 重量・付属品

種別	製品重量 (t)	接続ボルト(本体)
H=150 (1ヶ当り)	0.21	M16 120mm×4本
H=200 (1ヶ当り)	0.28	M16 170mm×4本

### ■ 適 応

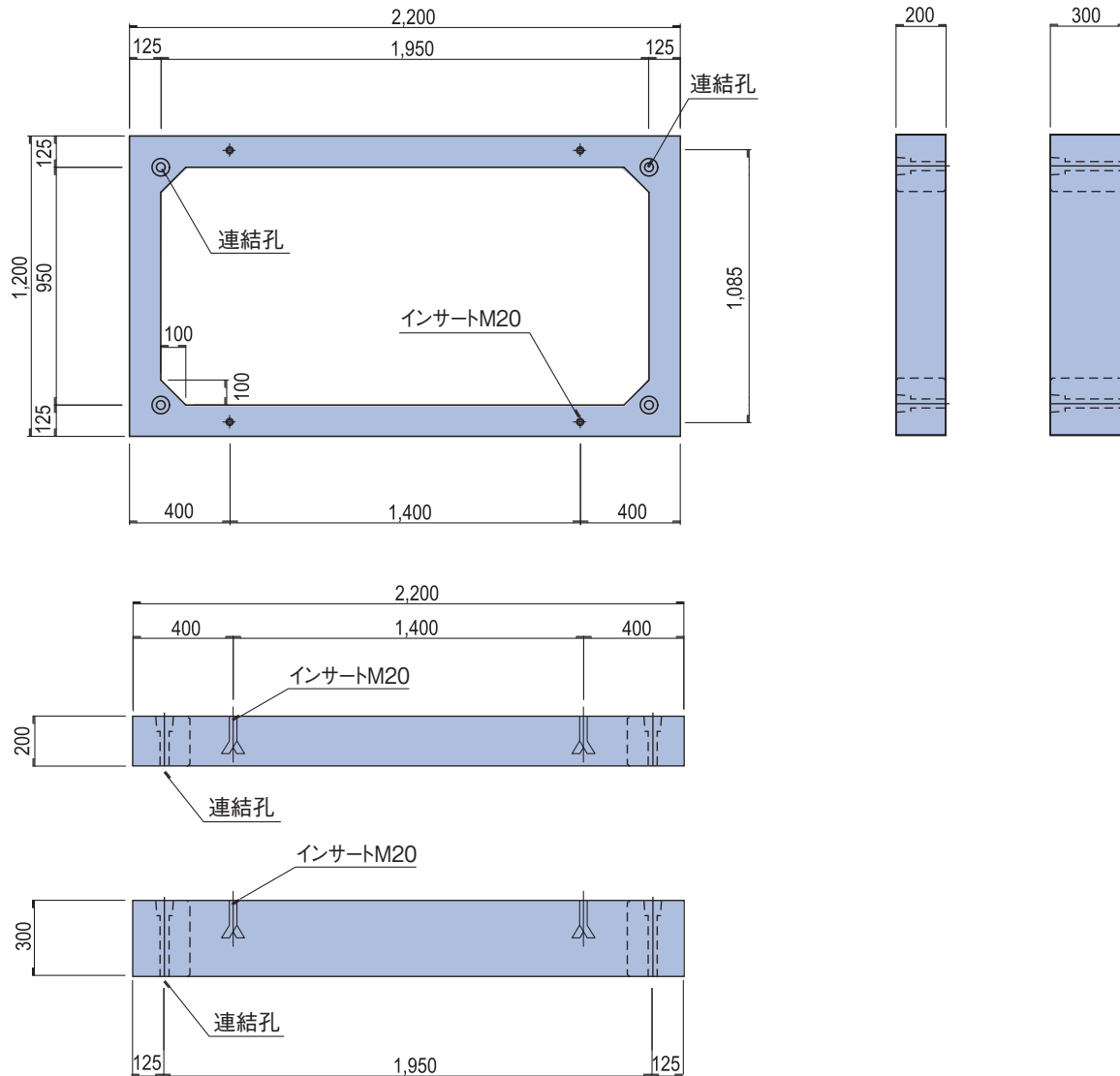
- 機器据付ブロックⅡ-100
- プレハブ基礎Ⅲ型
- 金蓋取付ブロックⅢ型
- 蓋版ブロックⅢ型

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎Ⅱ型シリーズ)

## 6 高さ調整ブロックⅡ-195 H=200・300

製品コード	仕様	厚み
3412627	一般	H=200
3412625	一般	H=300

平面図



### ■ 重量・付属品

種別	製品重量 (t)	接続ボルト(本体)
H=200 (1ヶ当り)	0.41	M20 170mm×4本
H=300 (1ヶ当り)	0.65	M20 270mm×4本

※H=200、H=300にはロックアウトはありません

### ■ 適 応

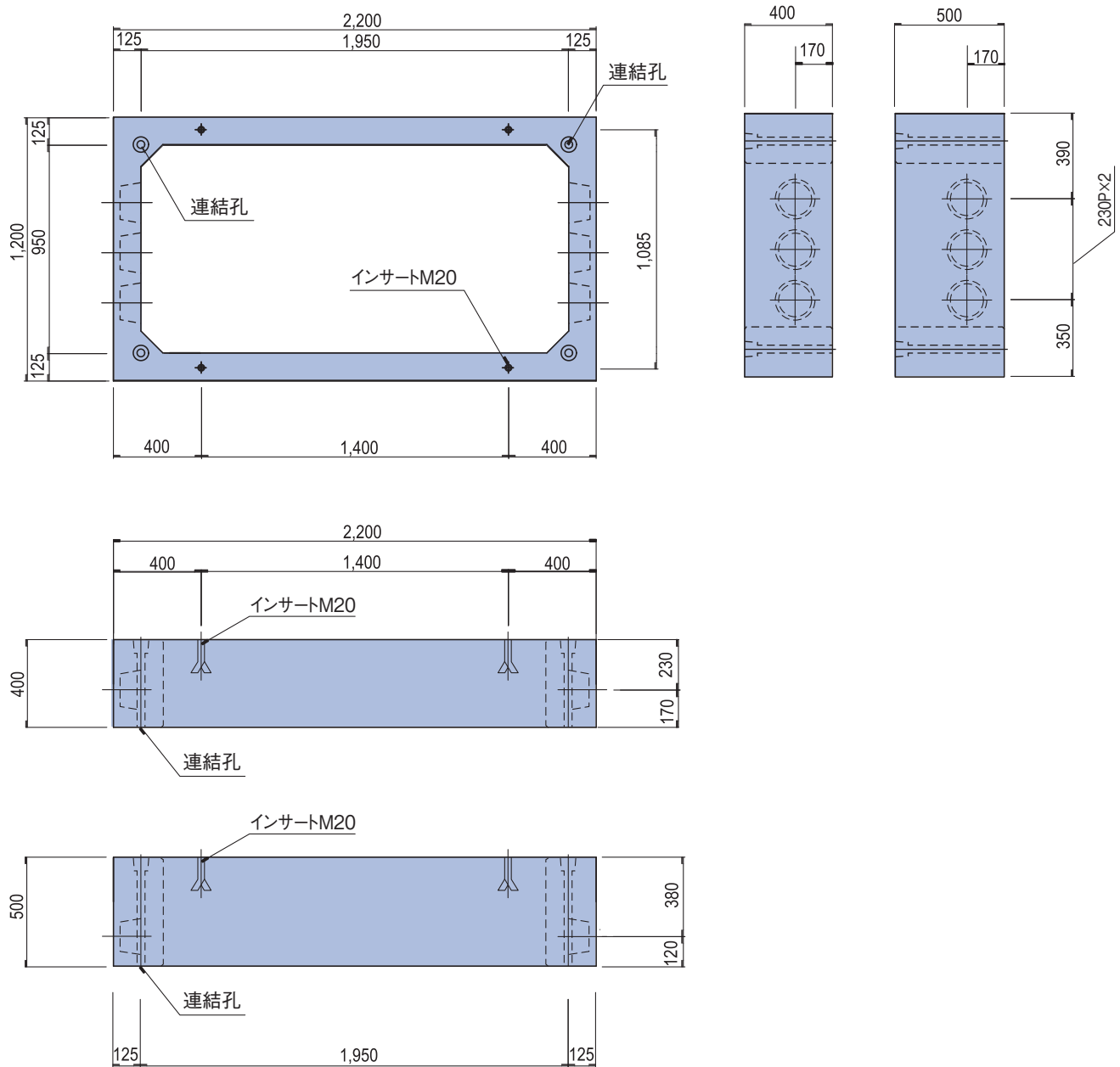
●プレハブ基礎Ⅱ型

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎Ⅱ型シリーズ)

## 7 高さ調整ブロックⅡ-195 H=400・500

製品コード	仕様	厚み	摘要
3412626	一般	H=400	ノックアウト3孔
3410265	一般・関電	H=500	ノックアウト3孔

### 平面図



#### ■ 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
H=400 (1ヶ当り)	0.75	M20 370mm×4本
H=500 (1ヶ当り)	0.94	M20 470mm×4本

#### ■ 適 応

● プレハブ基礎Ⅱ型
------------

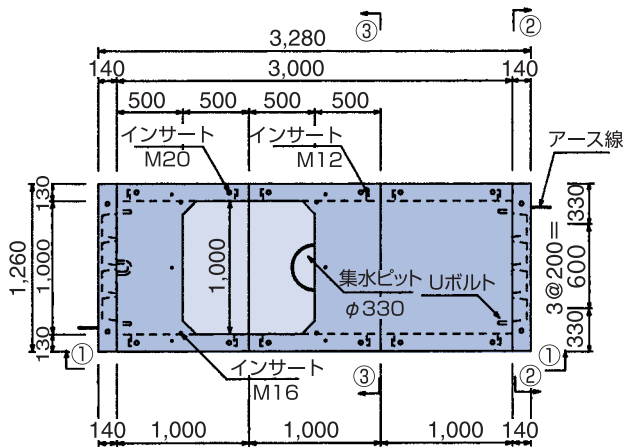


# プレキャストハンドホール (プレハブ基礎Ⅲ型シリーズ)

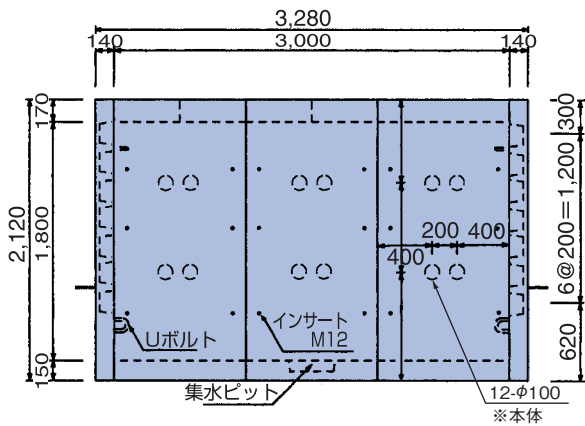
## 1 プレハブ基礎Ⅲ型 3連 タイプ1

製品コード	仕様	※ノックアウト数		摘要
		本体	閉塞版	
3410300	関電	9×2	0	歩道・乗入
3420311	一般	28×2	12×2	歩車共用

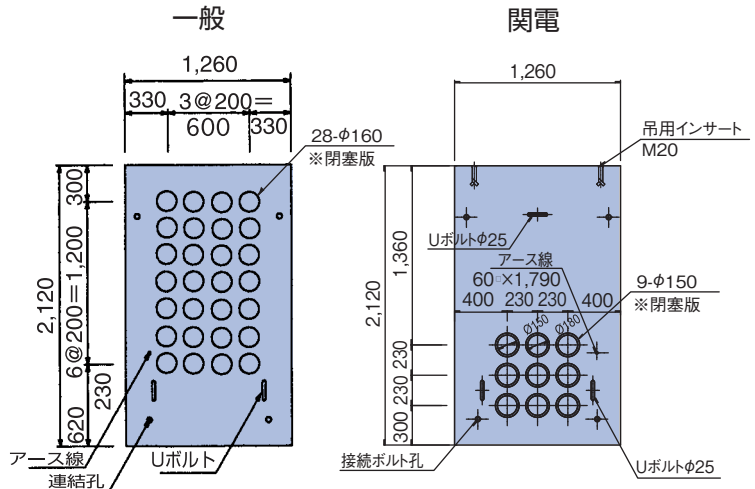
平面図



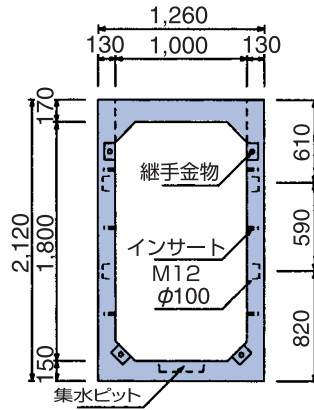
正面図① - ①



断面図② - ②



断面図③ - ③



### 重量・付属品

種別	製品重量 (t)	接続ボルト(本体)
閉塞版 (1枚当り)	0.88	M22 170mm×8本
本体【開口有、集水ビット無】(1ヶ当り)	2.06	
本体【開口有、集水ビット有】(1ヶ当り)	2.04	M22 90mm×8本
本体【開口無】(1ヶ当り)	2.29	
合計 (1基当り)	8.15	—

※閉塞版ノックアウト9孔もあります

### 適応

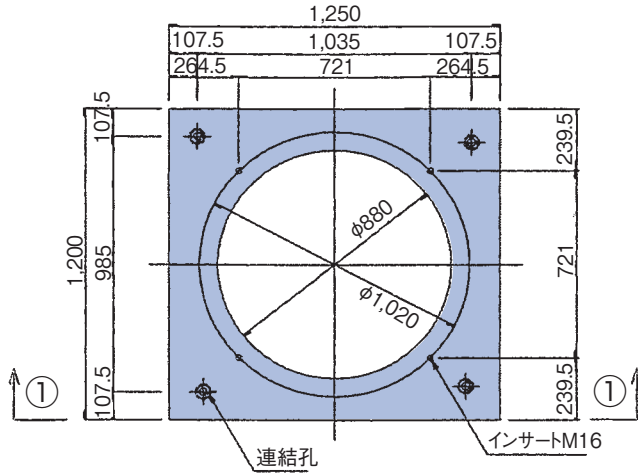
- 高さ調整ブロックⅡ-100 (H=150・200)
  - 金蓋取付ブロックⅢ型 (φ880穴)
  - 蓋版ブロックⅢ型
- ※本体を増やすことにより (4連、5連)も可能

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎Ⅲ型シリーズ)

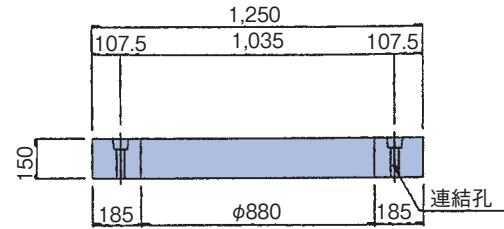
## 2 金蓋取付ブロックⅢ型 φ880穴

製品コード	仕様	厚み	摘要
3410371	一般	H=150	金蓋取付ブロックⅢ型 φ880穴

平面図



正面図①-①



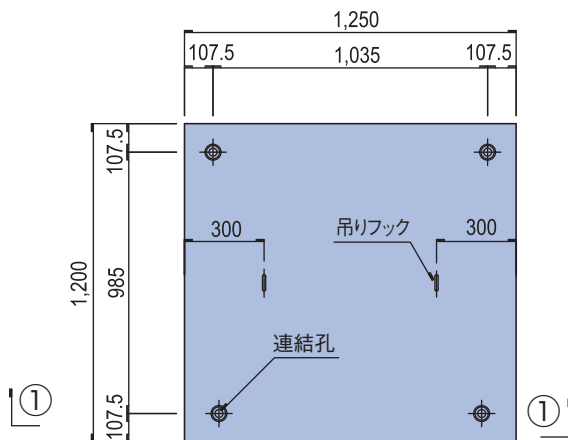
### ■ 適 応

- プレハブ基礎Ⅲ型
  - 機器据付ブロックⅡ-100
- 吊具：アイビー-M16×4本

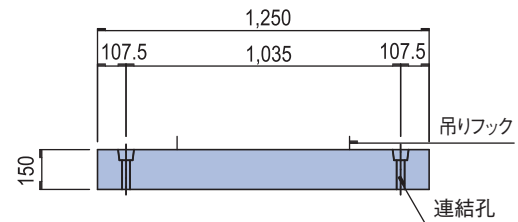
## 3 蓋版ブロックⅢ型

製品コード	仕様	厚み	摘要
3410375	一般	H=150	蓋版ブロックⅢ型

平面図



正面図①-①



### ■ 重量・付属品

種 別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
金蓋取付ブロックⅢ型	0.335	M16 140mm×4本
蓋版ブロックⅢ型	0.575	M16 140mm×4本

### ■ 適 応

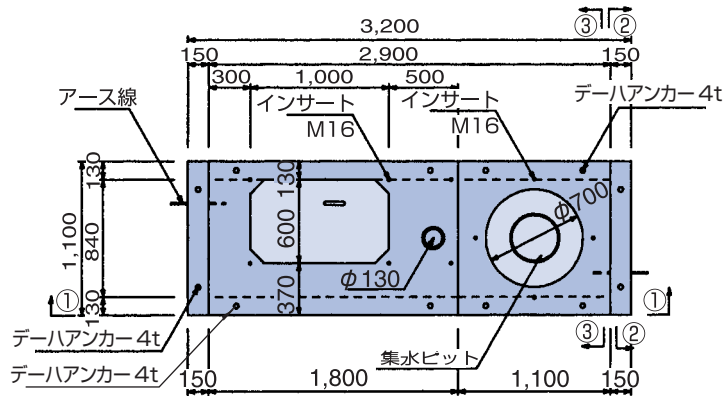
- プレハブ基礎Ⅲ型
- 機器据付ブロックⅡ-100

# プレキャストハンドホール (プレハブ基礎S型シリーズ)

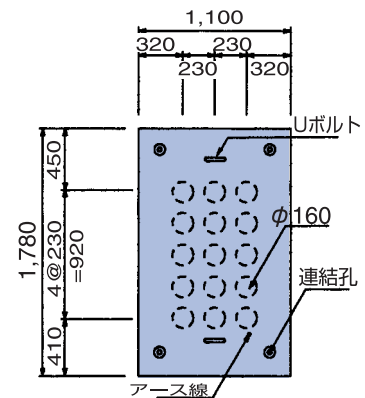
## 1 プレハブ基礎S1型 タイプ1

製品コード	仕様	ロックアウト孔	摘要
3420411	一般	15孔	歩道・乗入

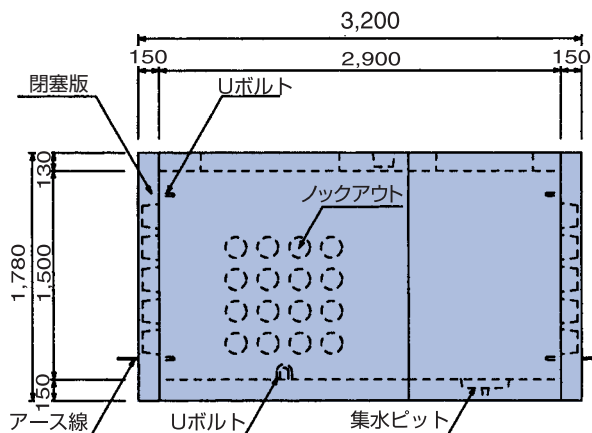
平面図



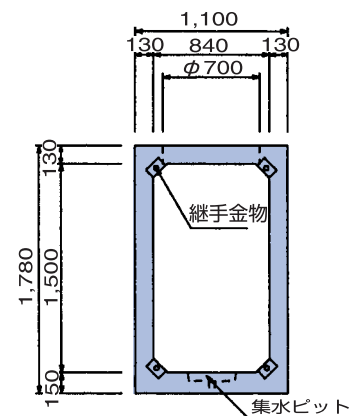
断面図②-②



正面図①-①



断面図③-③



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
閉塞版 (1枚当り)	0.675	M22 170mm×8本
本体【開口角型、L=1.80m】(1ヶ当り)	2.91	M22 90mm×4本
本体【開口丸型、L=1.10m】(1ヶ当り)	1.81	
合計 (1基当り)	6.07	—

### 適応

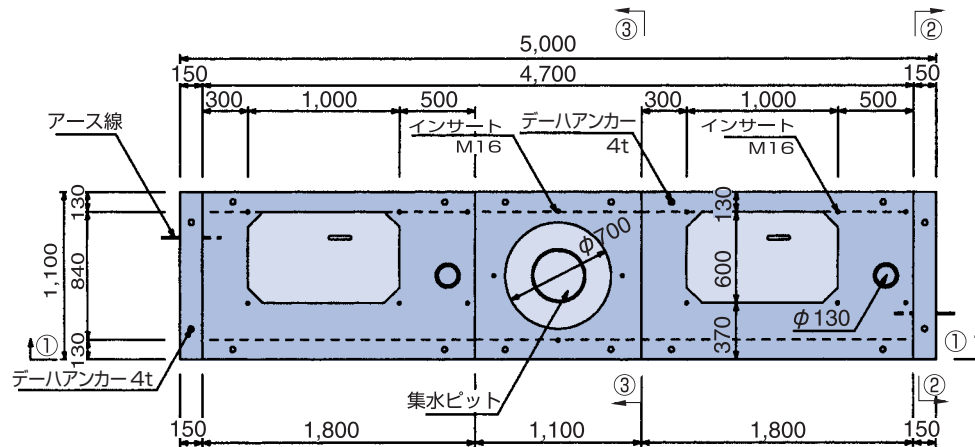
- 機器据付ブロックS-100 (H=200)
- 蓋版ブロック (S型用) (H=150)
- 首座ブロック (S型用) (H=200)

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎S型シリーズ)

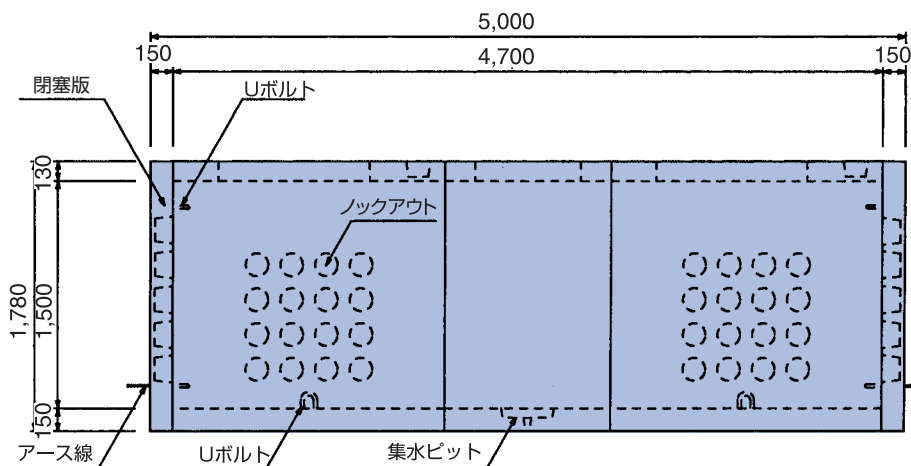
## 2 プレハブ基礎S2型 タイプ1

製品コード	仕様	ノックアウト孔	摘要
3420412	一般	15孔	歩道・乗入

平面図



正面図① - ①



### 重量表

種別	製品重量 (t)	接続ボルト(本体)
閉塞版 (1枚当り)	0.675	M22 170mm×8本
本体【開口角型、L=1.80m】(1ヶ当り)	2.91	M22 90mm×8本
本体【開口丸型、L=1.10m】(1ヶ当り)	1.81	
合計 (1基当り)	8.98	—

### 適 応

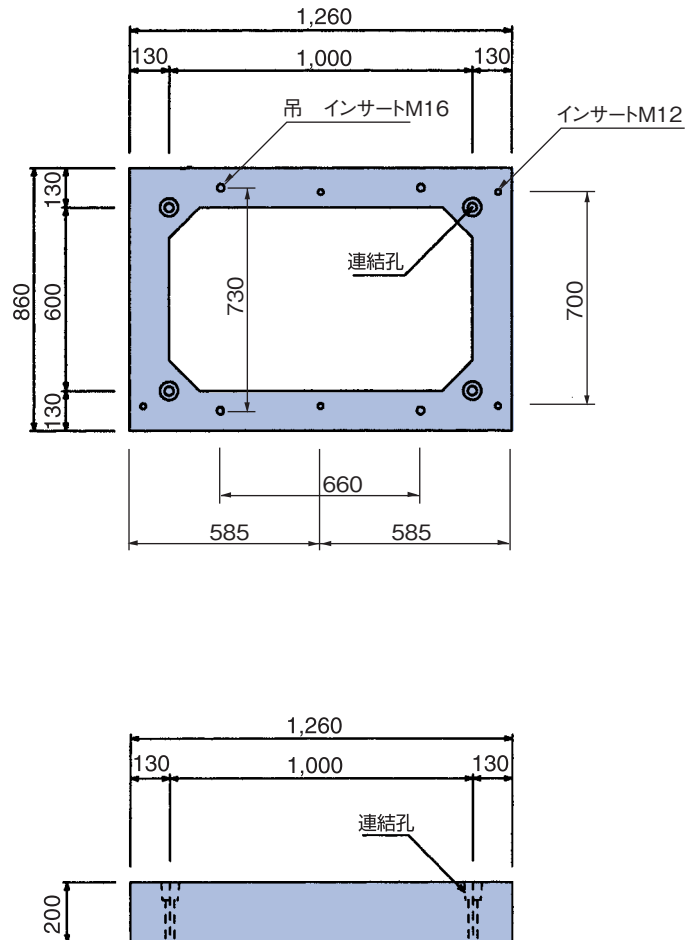
- 機器据付ブロックS-100 (H=200)
- 蓋版ブロック (S型用) (H=150)
- 首座ブロック (S型用) (H=200)

# プレキャストハンドホール (プレハブ基礎S型シリーズ)

## 3 機器据付ブロックS-100

製品コード	仕様	厚み	摘要
3411332	一般	H=200	歩道・乗入

平面図



### 重量・付属品

種別	製品重量 (t)	接続ボルト(本体)
H=200 (1ヶ当り)	0.25	M16 170mm×4本

### 適 応

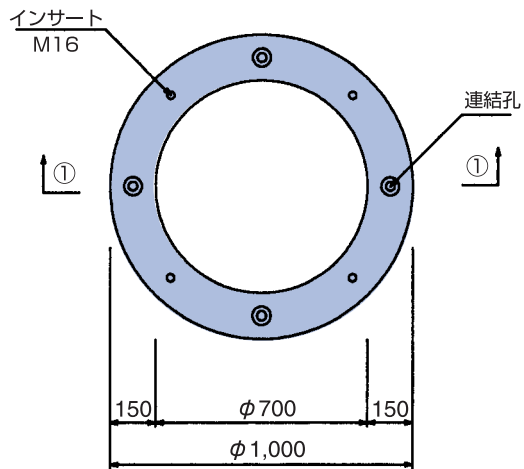
- プレハブ基礎S1、S2型
- 蓋版ブロックS型

# ● プレキャストハンドホール (プレハブ基礎S型シリーズ)

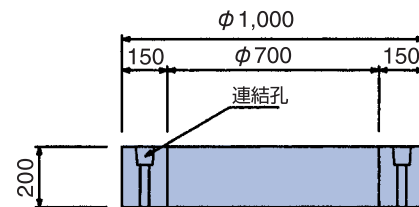
## 4 首座ブロックS型 H=200

製品コード	仕様	厚み
3411342	一般	H=200

平面図



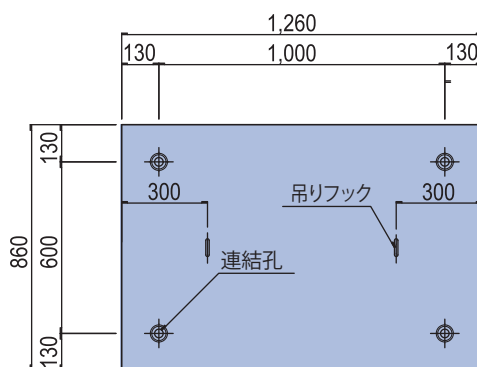
正面図①-①



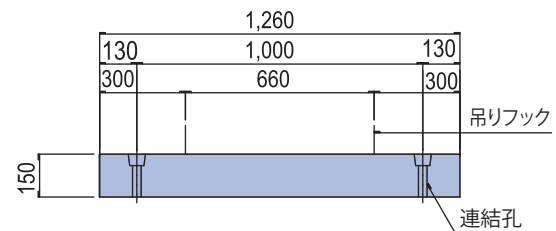
## 5 蓋版ブロックS型 H=150

製品コード	仕様	厚み
3411362	一般	H=150

平面図



平面図



### ■ 重量・付属品

種別	製品重量 (t)	接続ボルト(本体)
H=200 (1ヶ当り)	0.2	M16 170mm×4本
蓋版ブロックS型	0.4	M16 140mm×4本

### ■ 適 応

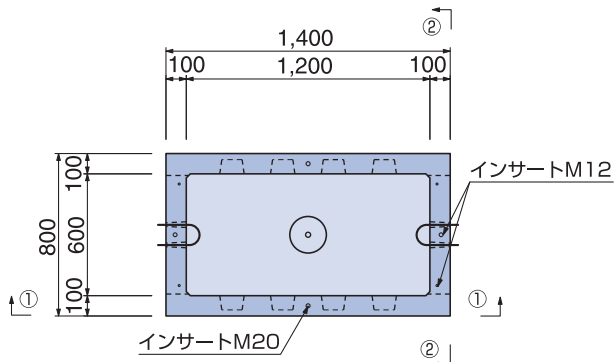
- プレハブ基礎S1、S2型
- 機器据付ブロックS-100

# ● プレキャストハンドホール (ハンドホールシリーズ)

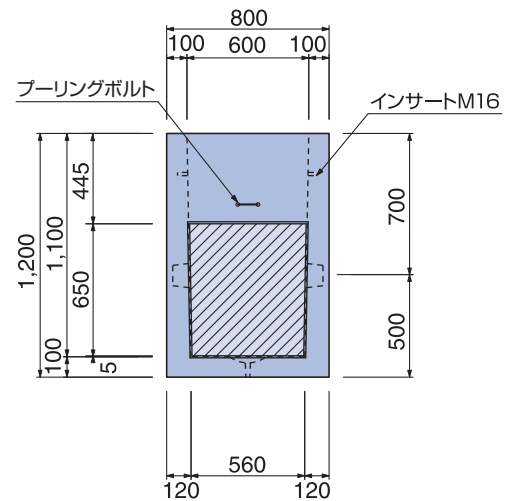
## 3 通信用600×1,100×1,200タイプ4(歩道用)

製品コード	仕様	底板厚	摘要
3452015	一般	H=100	歩道用

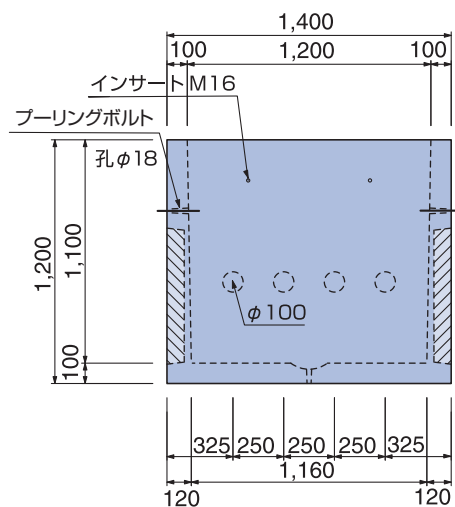
平面図



断面図 ②-②



正面図 ①-①



### ■ 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1ヶ当り)	1.37	—

※ブーリングボルトは製品に取付済

### ■ 適 応

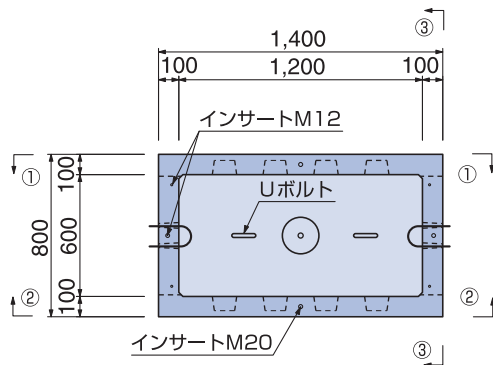
- 高さ調整ブロック (H=70・200・300)

# ● プレキャストハンドホール (ハンドホールシリーズ)

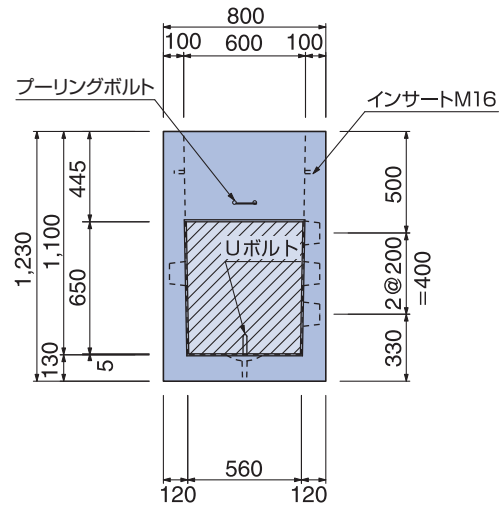
## 4 通信用600×1,100×1,200タイプ14(乗り入れ部用)

製品コード	仕様	底板厚	摘要
3451991	一般	H=130	歩道・乗入

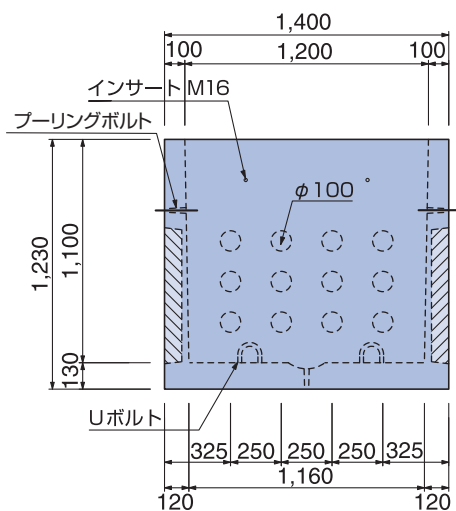
平面図



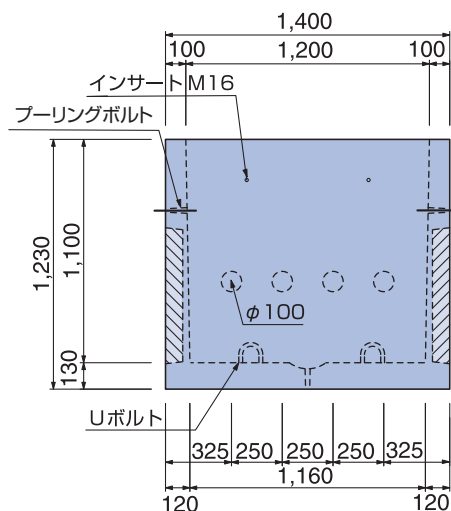
断面図 ③-③



正面図 ①-①



正面図 ②-②



### ■ 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1ヶ当り)	1.44	—

※プーリングボルトは製品に取付済

### ■ 適 応

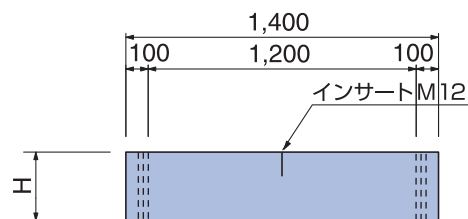
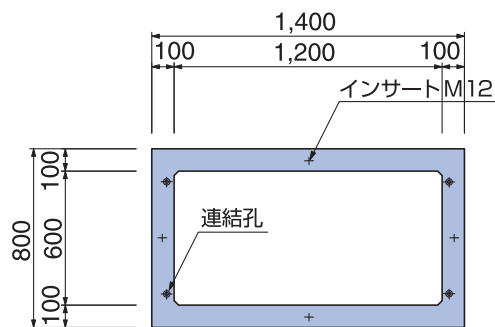
- 高さ調整ブロック (H=70・200・300)

# ● プレキャストハンドホール

## 5 通信用高さ調整ブロック

製品コード	仕様	厚み
3451995	一般	H=70
3451993	一般	H=200
3451992	一般	H=300

### 平面図



### ■ 重量・付属品

種 別	製品重量 (t)	接続ボルト(本体)
H=70 (1ヶ当り)	0.07	M12 175mm×4本※
H=200 (1ヶ当り)	0.2	M12 170mm×4本
H=300 (1ヶ当り)	0.3	M12 270mm×4本

※大阪市仕様は2枚重ねが標準

### ■ 適 応

- 600×1,100×1,200 (タイプ4)
- 600×1,100×1,200 (タイプ14)





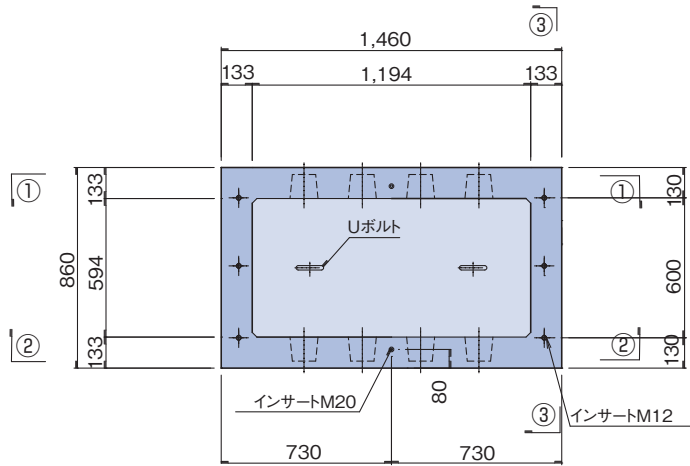
# プレキャストハンドホール

## (低圧用柵シリーズ)

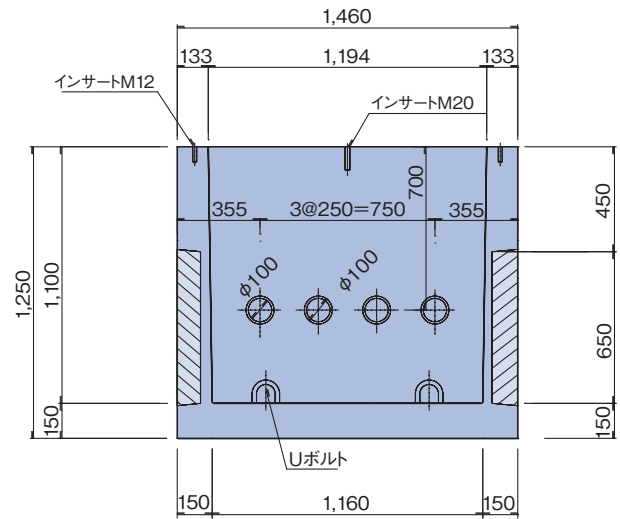
### 4 低圧分岐柵R-I型 H=1100

製品コード	仕様	底板厚	摘要
3411041	一般	H=150	歩車共用

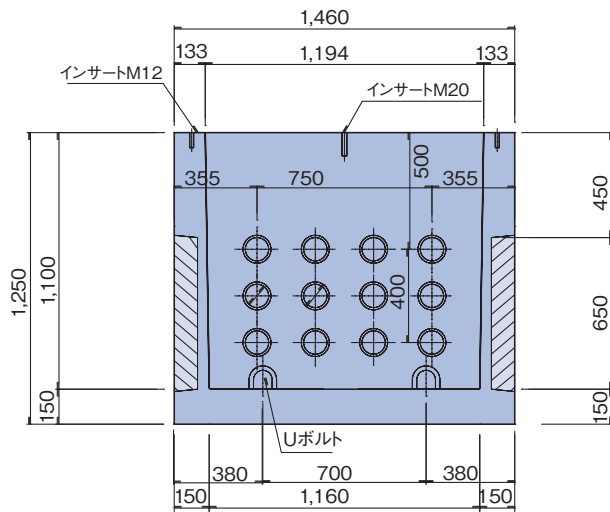
### 平面図



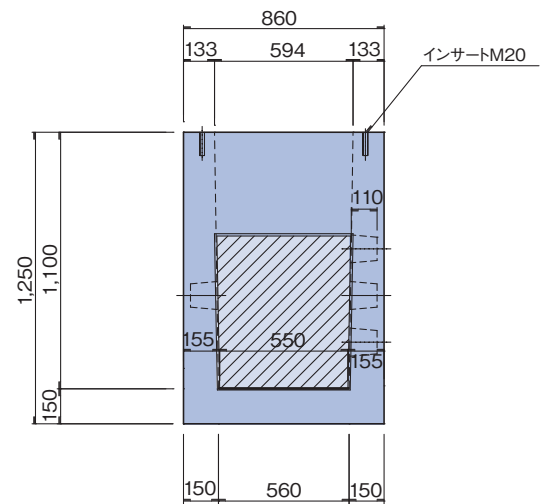
### 断面図② - ②



### 正面図① - ①



### 断面図③ - ③



#### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1ヶ当り)	1.63	—

#### 適 応

- 金蓋取付ブロックR-1型 (φ600穴)



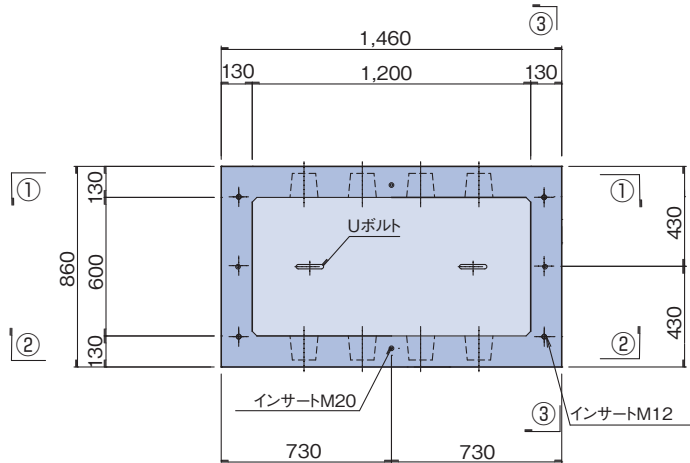
# プレキャストハンドホール

## (低圧用柵シリーズ)

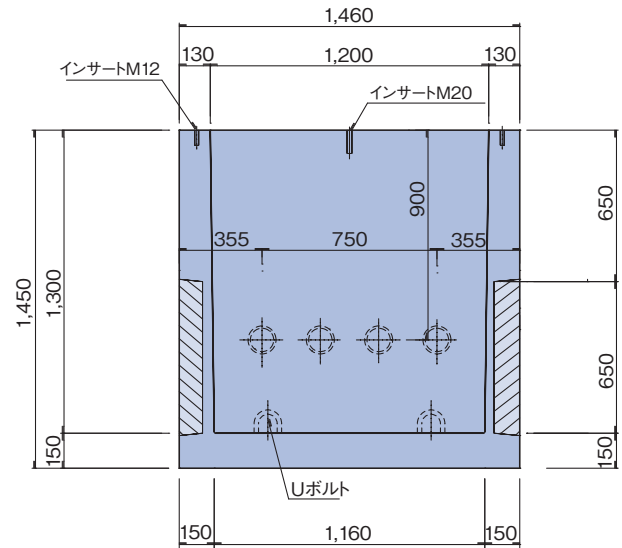
### 5 低圧分岐柵R-I型 H=1300

製品コード	仕様	底板厚	摘要
3411040	一般	H=150	歩車共用

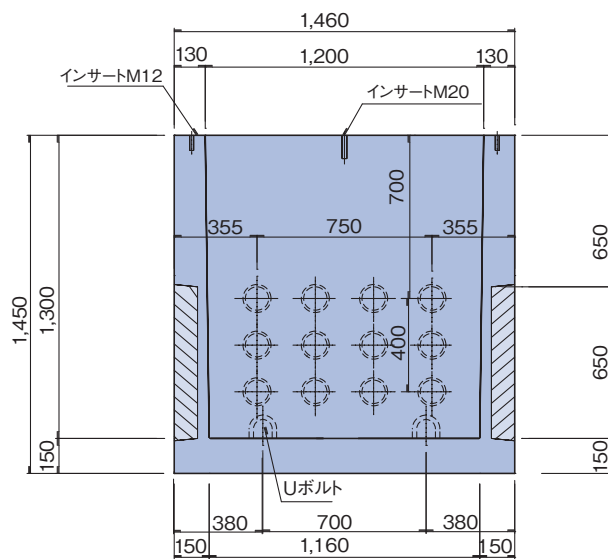
### 平面図



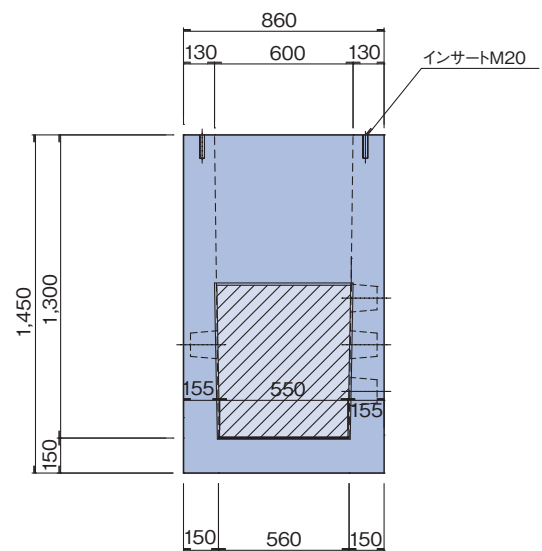
### 断面図②-②



### 正面図①-①



### 断面図③-③



#### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1基当り)	2.09	—

#### 適応

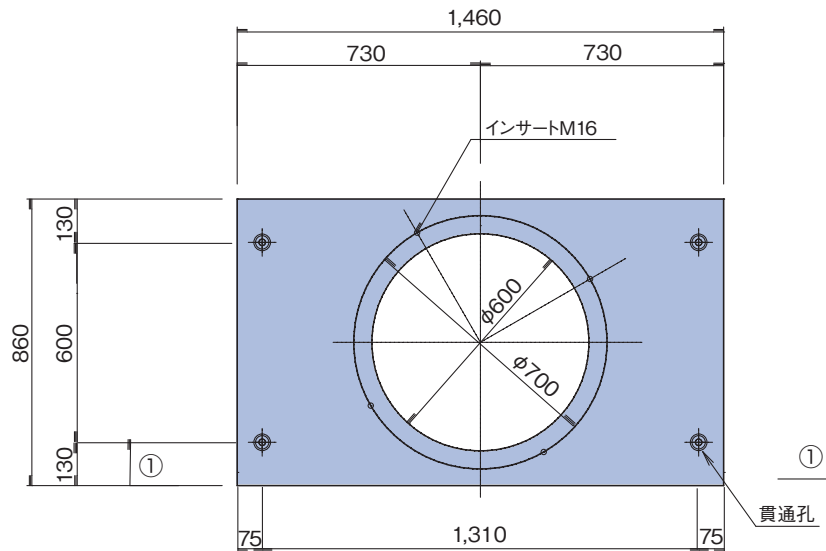
- 金蓋取付ブロックR-1型 (φ600穴)

# プレキャストハンドホール (低圧用柵シリーズ)

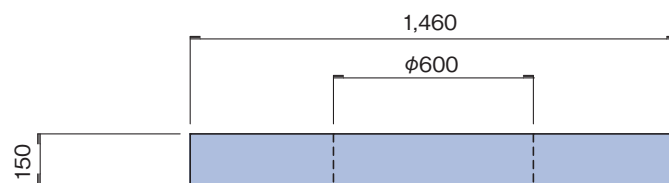
## 6 金蓋取付ブロックR-I型 $\phi 600$ 穴

製品コード	仕様	厚み	摘要
3411042	一般	H=150	歩車共用

平面図



正面図① - ①



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1基当り)	0.375	M12 150mm×4本

### 適応

- 低圧分岐柵R-1型



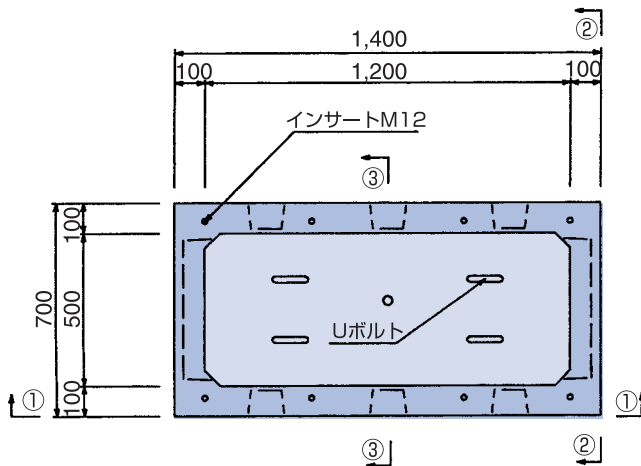
# プレキャストハンドホール

## (低圧用柵シリーズ)

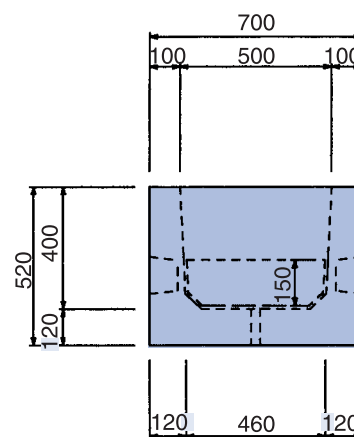
### 1 引込用分岐柵 関電仕様

製品コード	仕様	底板厚	摘要
3411058	関電	H=120	歩道用

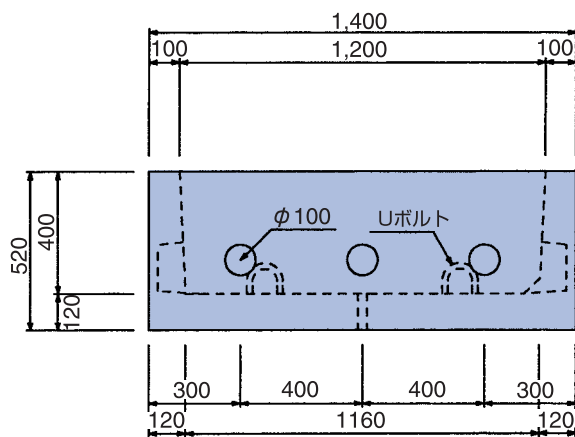
### 平面図



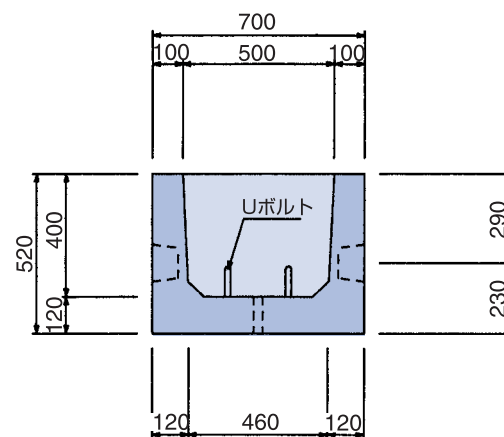
### 断面図② - ②



### 正面図① - ①



### 断面図③ - ③



### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1ヶ当り)	0.71	—

### 適応

- 引込分岐柵用嵩上げブロック(タイプ1)



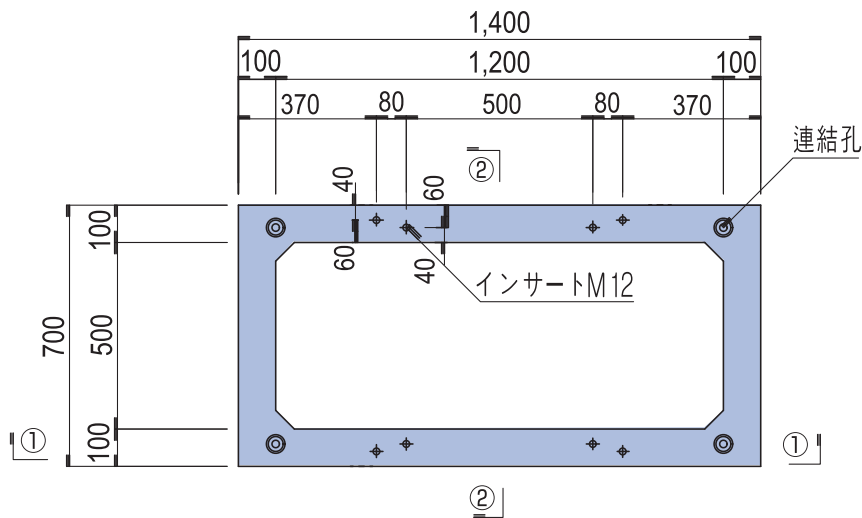
# プレキャストハンドホール

## (低圧用柵シリーズ)

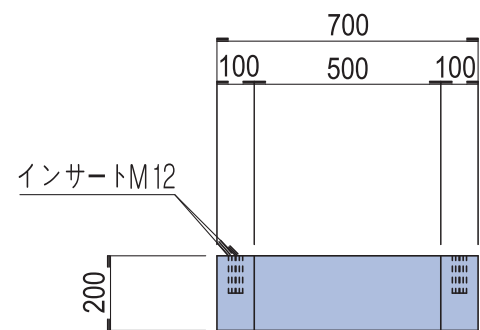
### 1 引込用分岐柵用嵩上げブロック タイプ1

製品コード	仕様	底板厚
3411063	関電	H=200

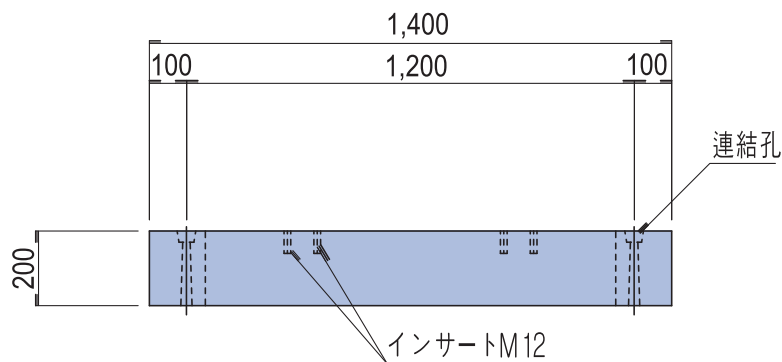
平面図



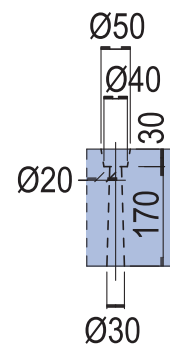
断面図②-②



断面図①-①



連結孔拡大図



#### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
H=200 (1ヶ当り)	0.19	M12 170mm×4本

#### 適応

- 引込用分岐柵(タイプ3)



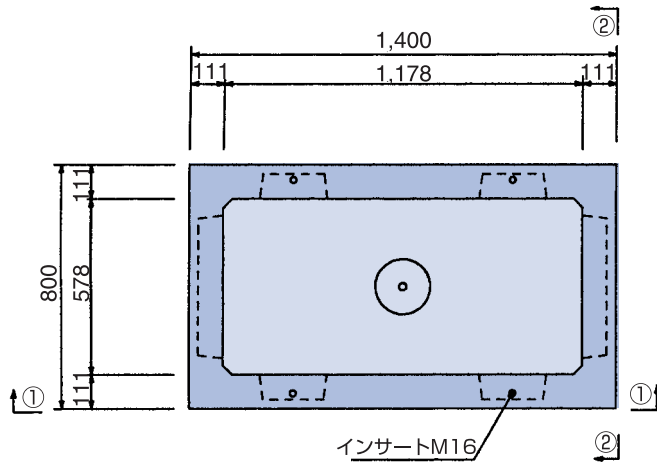
# プレキャストハンドホール

## (低圧用柵シリーズ)

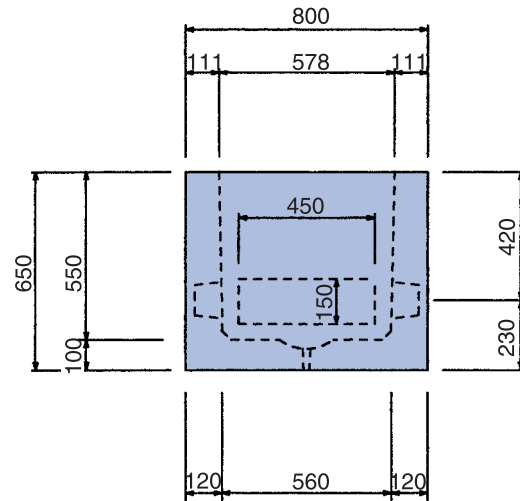
### 2 低圧分岐柵 タイプ3 (歩道用)

製品コード	仕様	底板厚	摘要
3411057	一般	H=100	歩道用

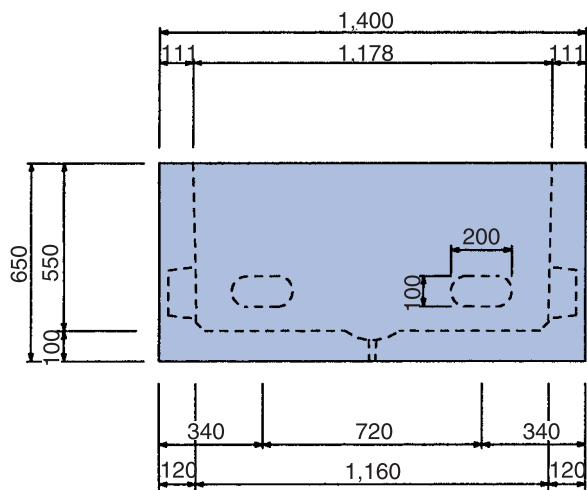
平面図



断面図②-②



正面図①-①



#### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1ヶ当り)	0.865	—



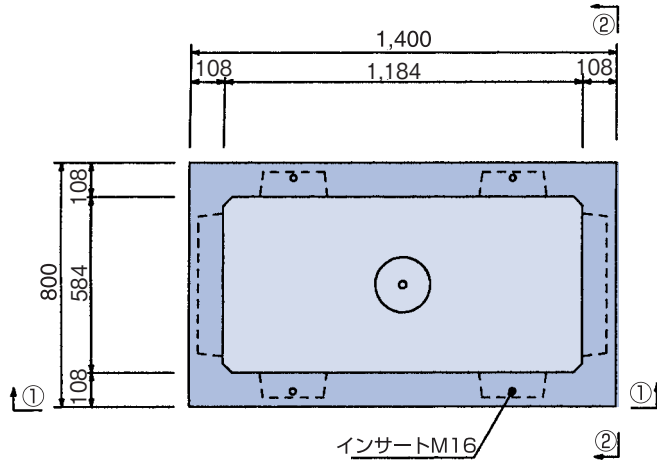
# プレキャストハンドホール

## (低圧用柵シリーズ)

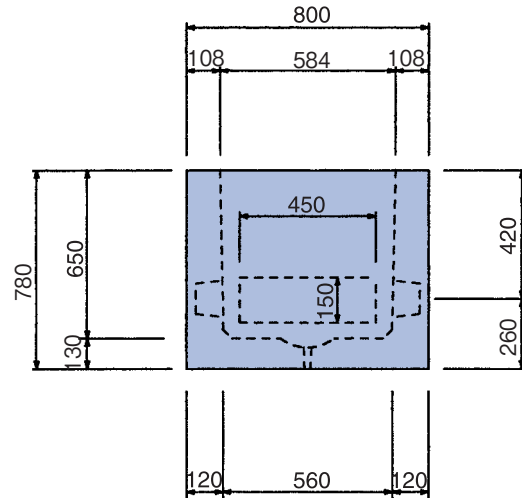
### 3 低圧分岐柵 タイプ4 (乗り入れ部用)

製品コード	仕様	底板厚	摘要
3411061	一般	H=130	歩道・乗入

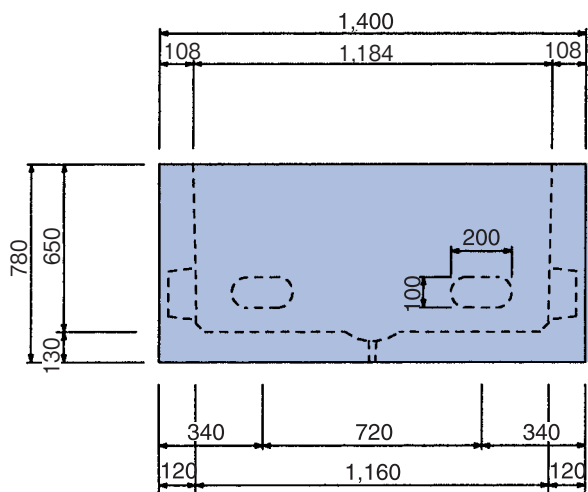
平面図



断面図②-②



正面図①-①



#### 重量・付属品

種別	製品重量(t)	接続ボルト(本体)
合計(1ヶ当り)	1.06	—



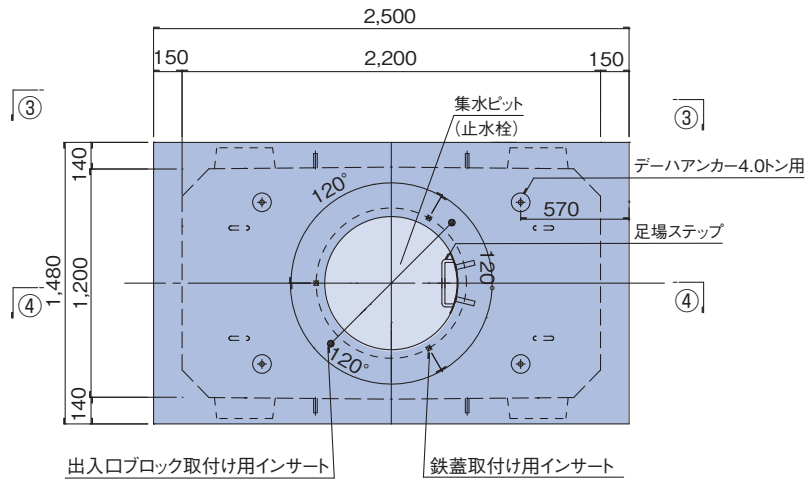
# プレキャストハンドホール

## (RT柵シリーズ)

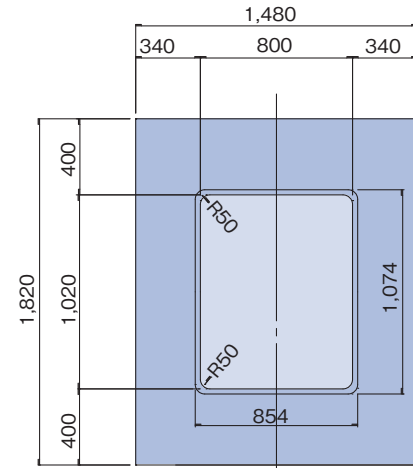
### 1 プレハブ基礎RT型1222

製品コード	出入口径	摘要
3453010	φ700	歩車共用
3453020	φ750	

断面図①-①

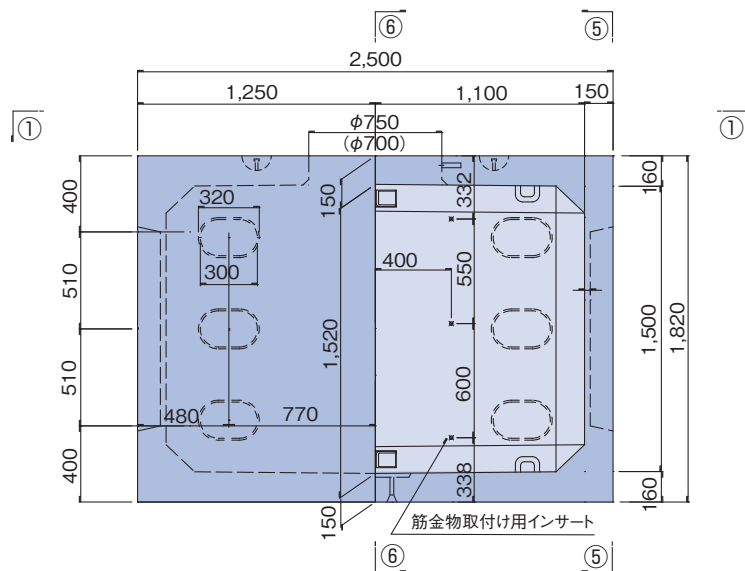


断面図⑤-⑤

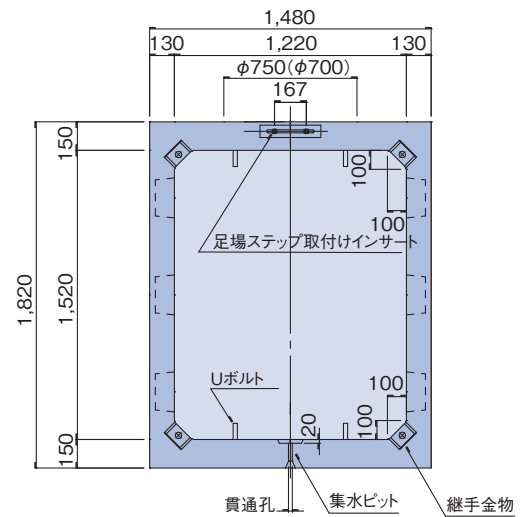


断面図③-③

断面図④-④



断面図⑥-⑥



### 重量・付属品

種別	出入口径	製品重量(t)	合計	接続ボルト(本体)
本体(1ヶ当り)	φ700	3,060	6,120	M22 90mm×4本
本体(1ヶ当り)	φ750	3,050	6,100	

※筋金物付もごさいます。





# プレキャストハンドホール

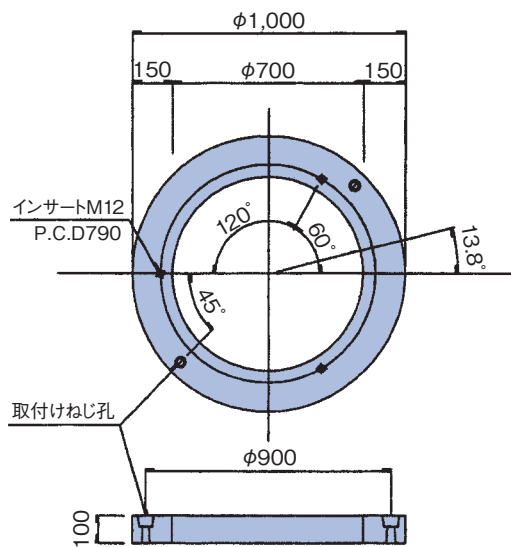
## (RT柵シリーズ)

### 3 RT柵用出入口ブロック

製品コード	出入口径	厚み	摘要
3453032	φ700	H=100	歩車共用
3453031	φ700	H=150	
3453042	φ750	H=100	
3453041	φ750	H=150	

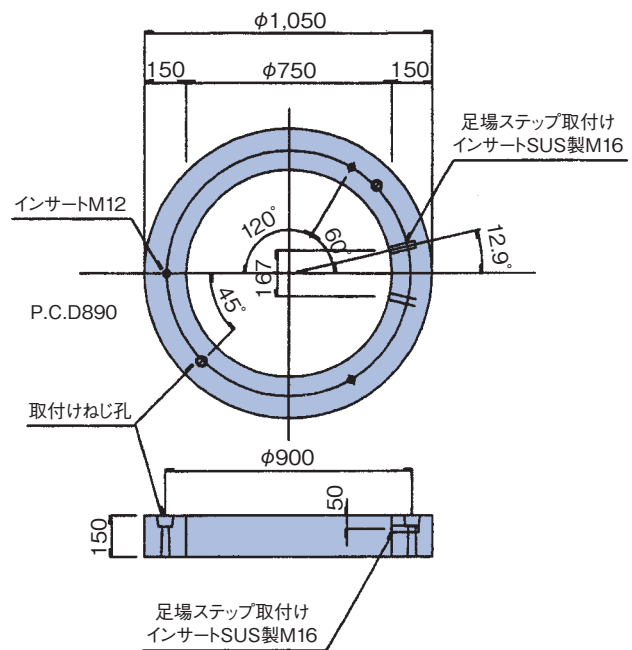
φ700

S=1/15



φ750

S=1/15



### 重量表

種別	高さ	製品重量(t)	足場ステップ取付インサート
φ700	100	0.10	なし
	150	0.15	あり
φ750	100	0.11	なし
	150	0.16	あり

取付ねじ (M16) の組み合わせと長さ

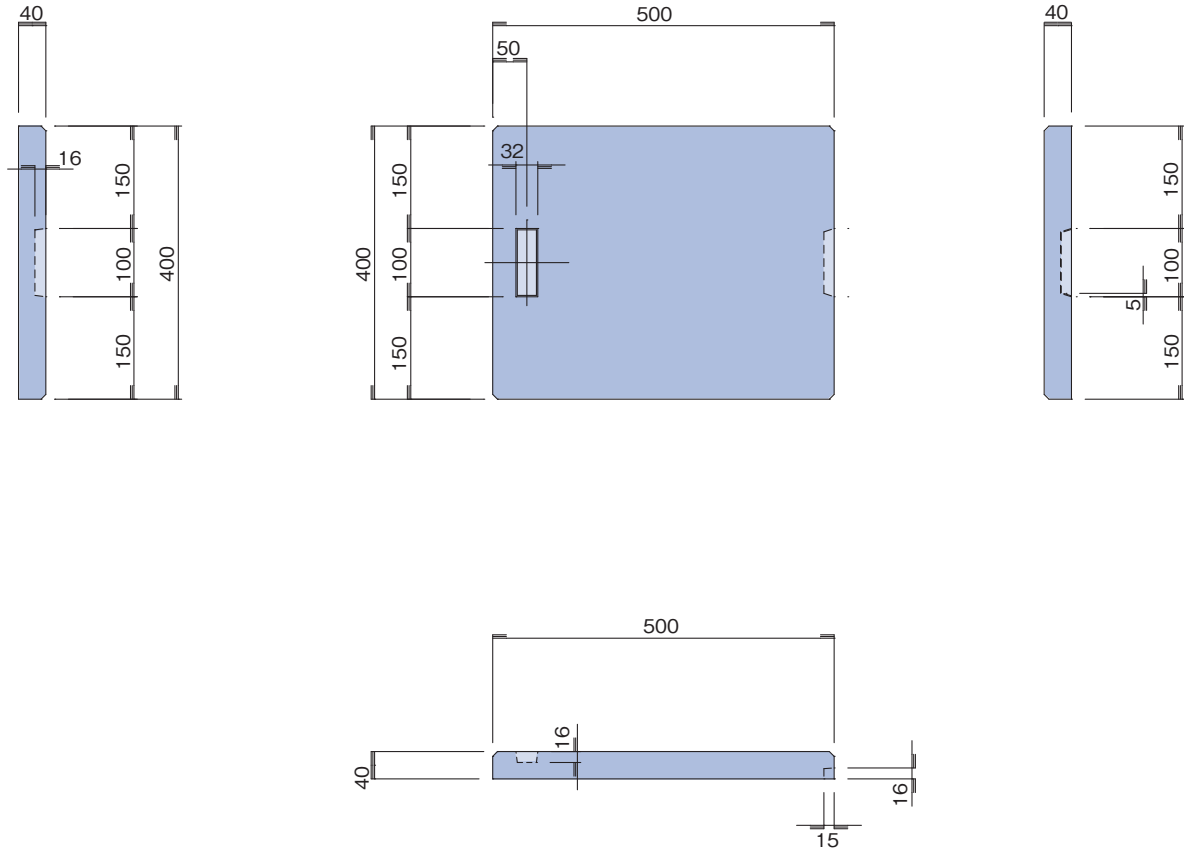
出入口ブロック使用数	組み合わせ高さ	取付ねじ長
	(H)	(L)
1個	100	110
	150	160
2個	100+100	210
	100+150	260
	150+150	310

注) 出入口ブロックφ700、φ750兼用

# ● その他製品

## 1 防護板

製品コード	仕様	厚み
3884103	関電マーク有	H=40
3884102	関電マーク無	H=40



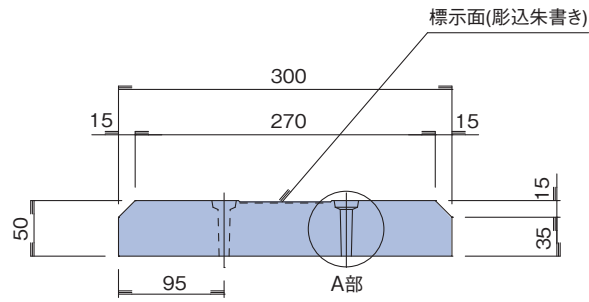
### ■ 重量表

種 別	製品重量(t)
合 計 (1枚当り)	0.02

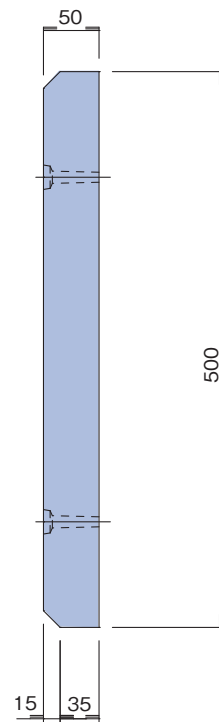
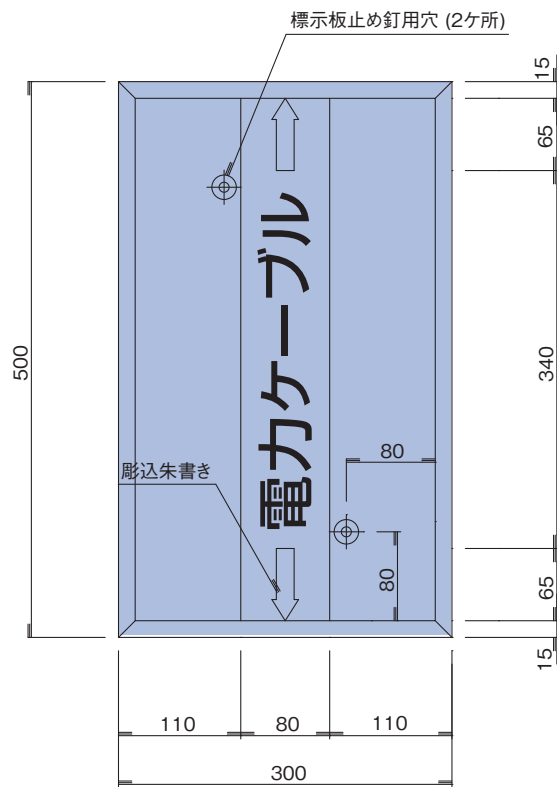
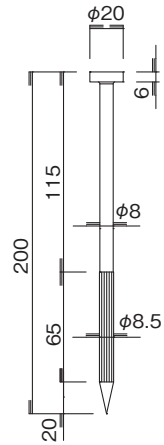
# ● その他製品

## 2 埋設標示板 (3881110)

### 構造図



標示板止め釘



### 重量表

種 別	製品重量 (t)
合 計 (1枚当り)	0.019

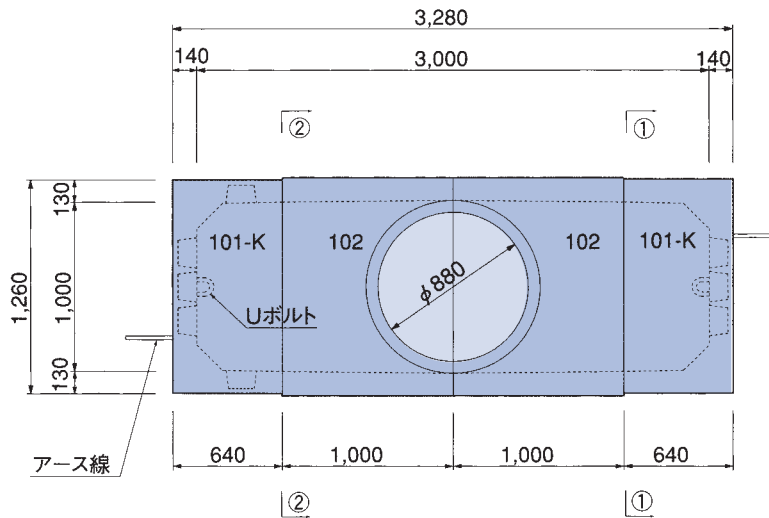
# プレハブマンホール

(A型シリーズ)

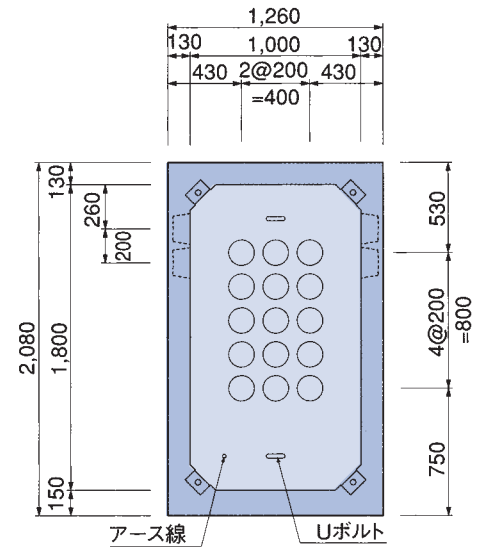
## 1 A5型 【1.0×1.8×3.0m】

製品コード	仕様
3121660	関電(基礎板有り)
3123220	一般(基礎板無し)

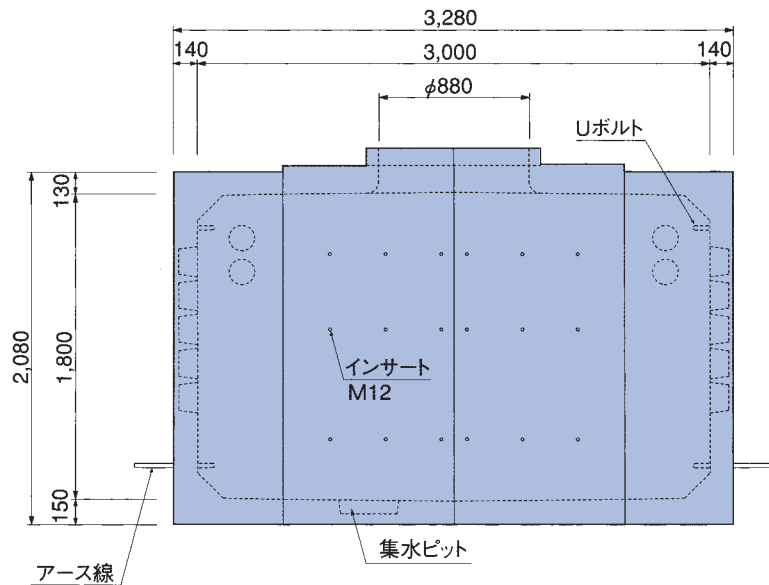
平面図



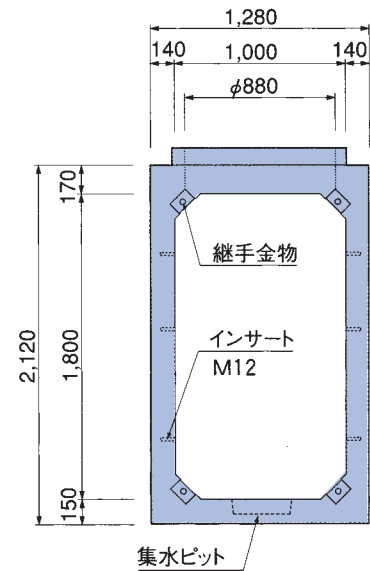
断面図 ①-①



正面図



断面図 ②-②



### 重量表

ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
101-K	管路口	2.04 t	2
102	出入口	2.19 t	2
合 計		8.46 t	

### 適 応

- 首座ブロック
- 基礎ブロック

※接続ボルト(本体) M22×12本

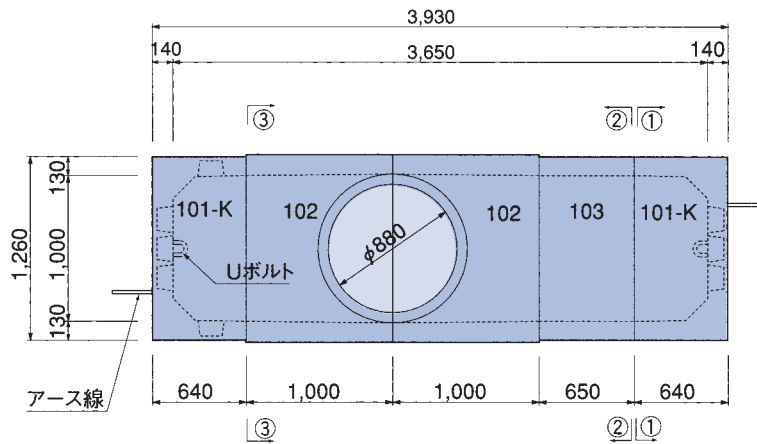
# プレハブマンホール

(A型シリーズ)

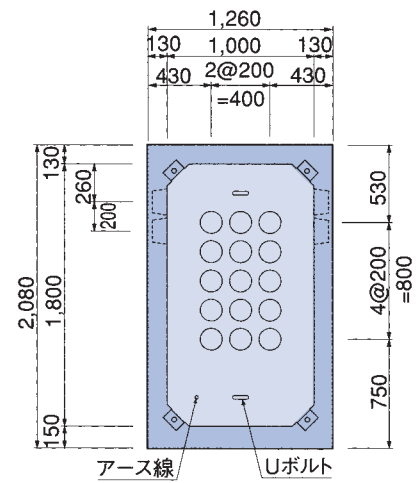
## 2 A51型 【1.0×1.8×3.65m】

製品コード	仕様
3121670	関電(基礎板有り)
3123230	一般(基礎板無し)

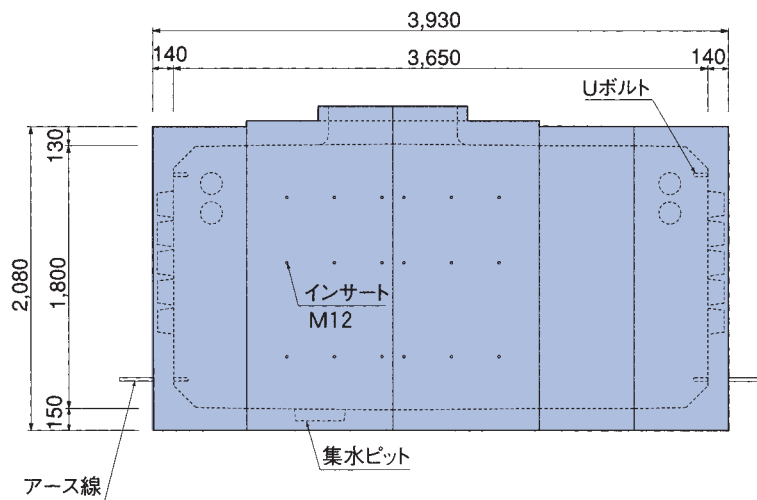
平面図



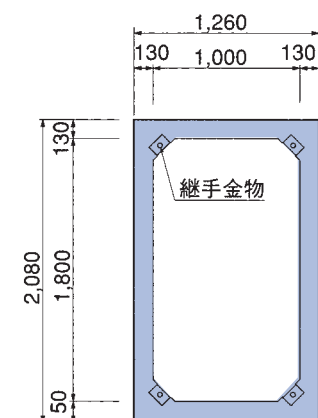
断面図 ①-①



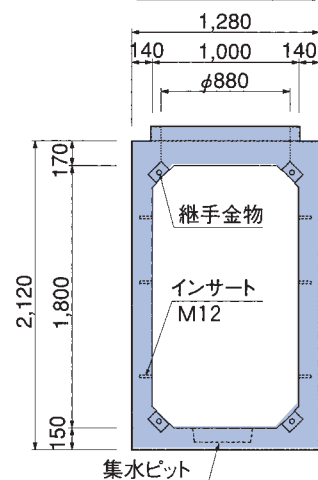
正面図



断面図 ②-②



断面図 ③-③



重量表	ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
	101-K	管路口	2.04 t	2
	102	出入口	2.19 t	2
	103	中間	1.38 t	1
	合計		9.84 t	

- 首座ブロック  
● 基礎ブロック

※接続ボルト(本体) M22×16本

※ブロック番号102、103の増減により長さを変えることができます。

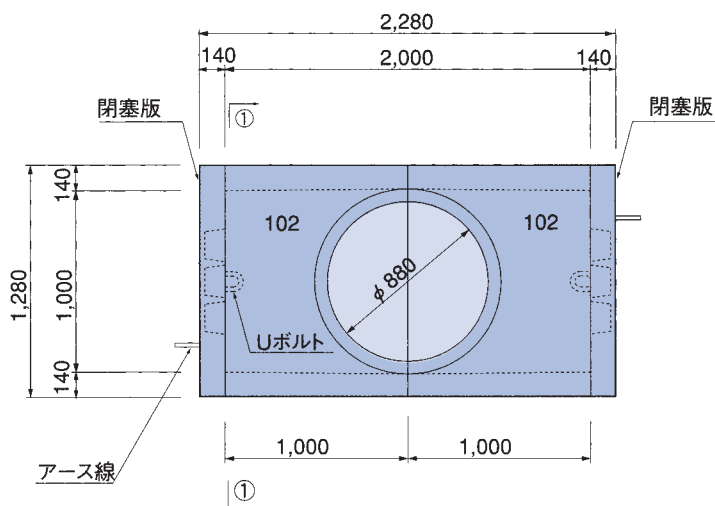
# プレハブマンホール

(A型シリーズ)

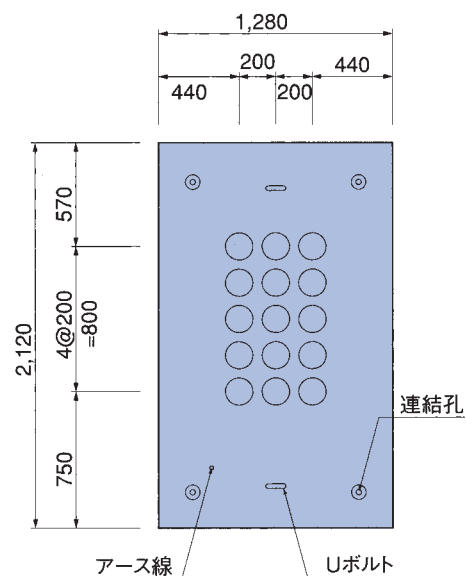
## 3 A5G型 【1.0×1.8×2.0m】

製品コード	仕様
3125012	閉電(基礎板有り)
3123210	一般(基礎板無し)

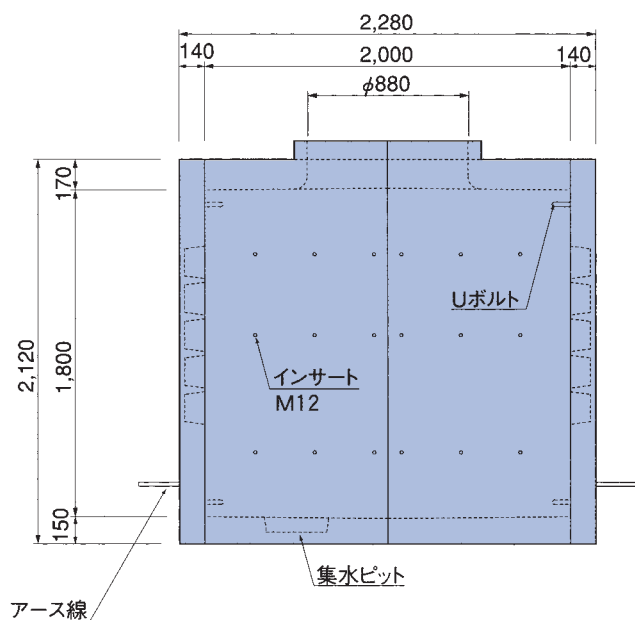
平面図



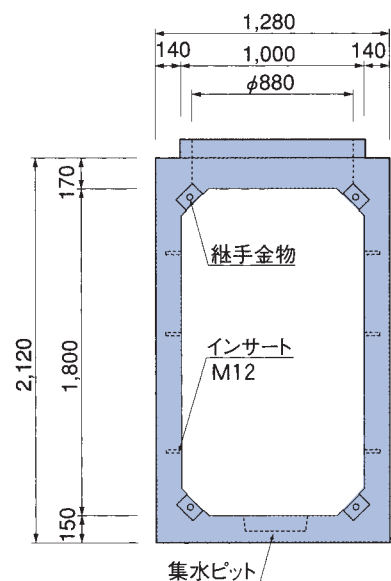
側面図



正面図



断面図 ①-①



### ■ 重量表

ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
102	出入口	2.19 t	2
—	閉塞版	0.86 t	2
合計		6.10 t	

### ■ 適 応

- 首座ブロック
- 基礎ブロック

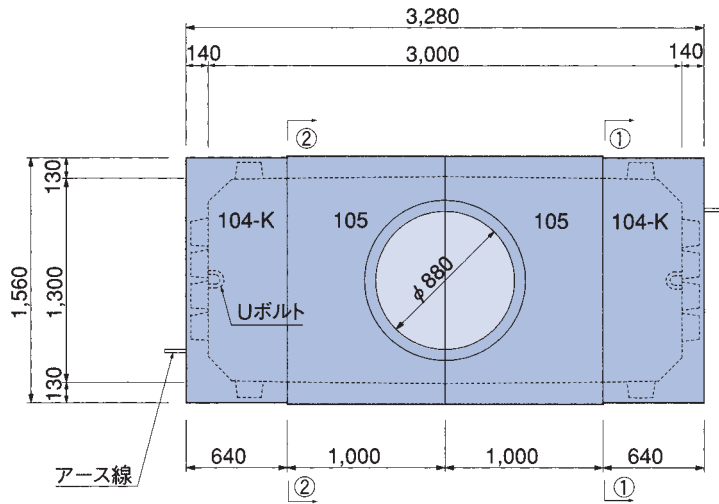
※接続ボルト(本体) M22×12本  
(閉塞版用は長いボルト)

# プレハブマンホール

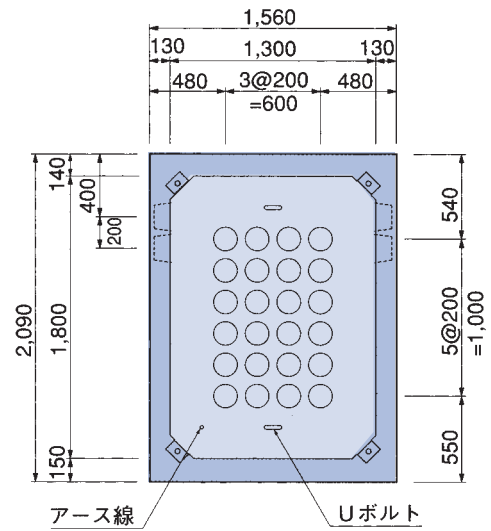
## 4 A3型 [1.3×1.8×3.0m]

製品コード	仕様
3121630	関電(基礎板有り)
3123240	一般(基礎板無し)

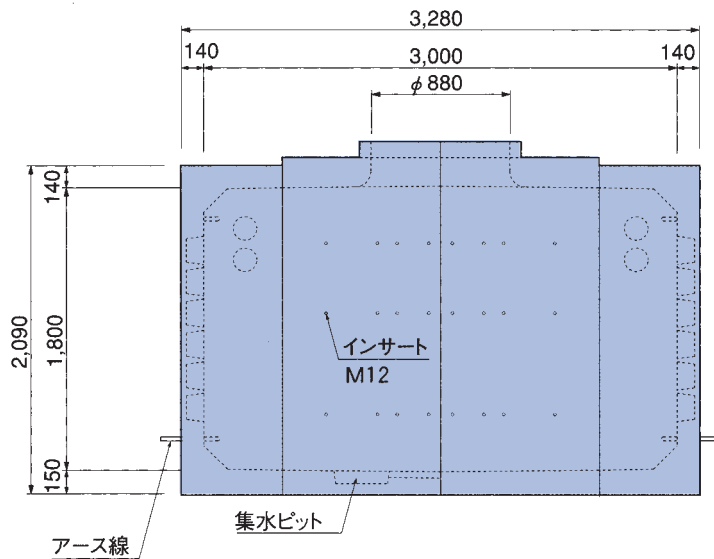
平面図



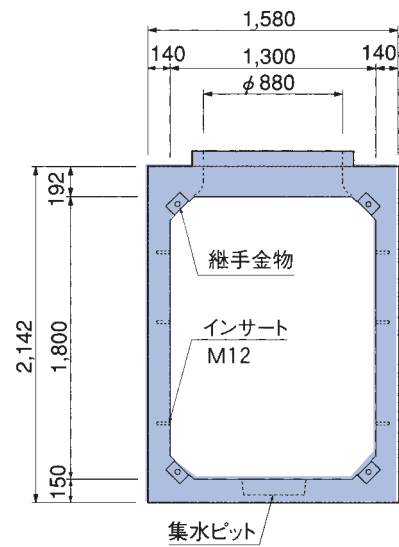
断面図①-①



正面図



断面図②-②



### 重量表

ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
104-K	管路口	2.36 t	2
105	出入口	2.51 t	2
合計		9.74 t	

### 適応

- 首座ブロック
- 基礎ブロック

※接続ボルト(本体) M22×12本

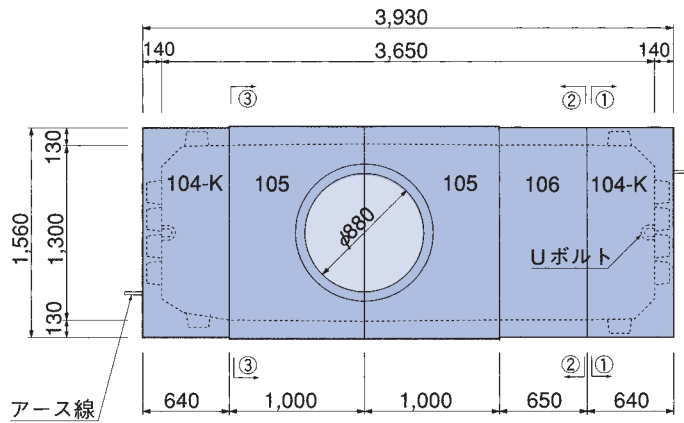
# プレハブマンホール

(A型シリーズ)

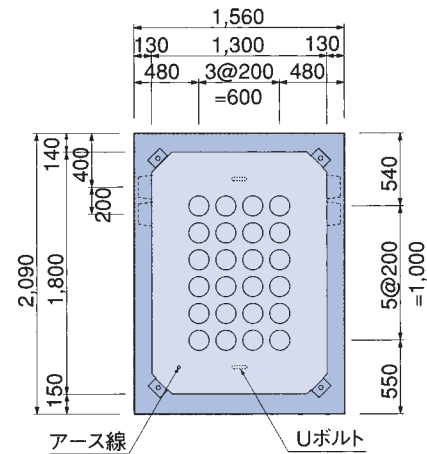
## 5 A31型 【1.3×1.8×3.65m】

製品コード	仕様
3121640	関電(基礎板有り)
3123250	一般(基礎板無し)

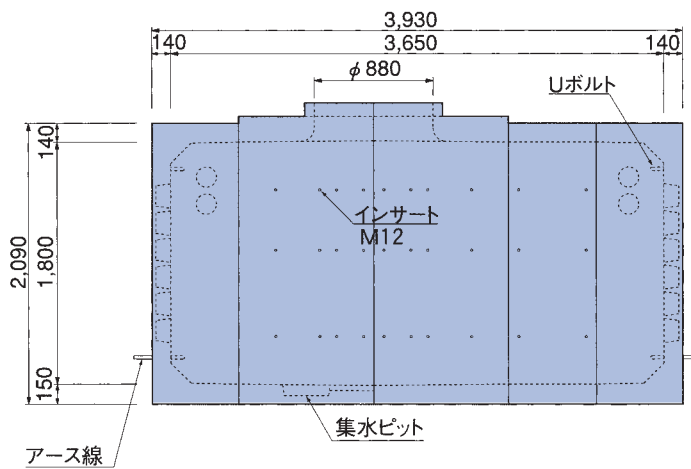
平面図



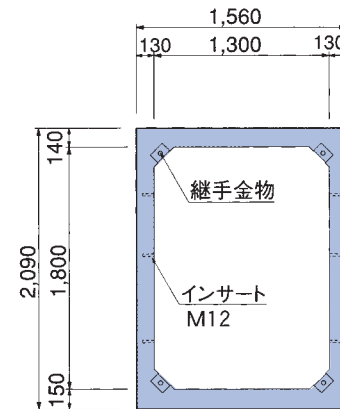
断面図 ①-①



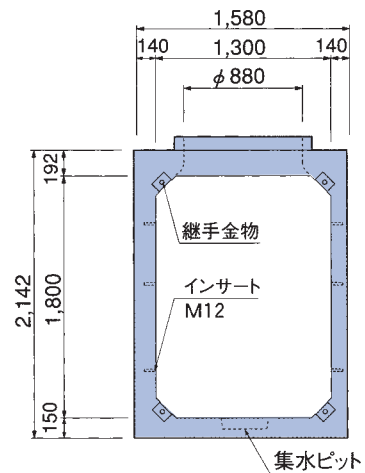
正面図



断面図 ②-②



断面図 ③-③



### 重量表

ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
104-K	管路口	2.36 t	2
105	出入口	2.51 t	2
106	中間	1.54 t	1
合計		11.28 t	

### 適応

- 首座ブロック
- 基礎ブロック

※接続ボルト(本体) M22×16本

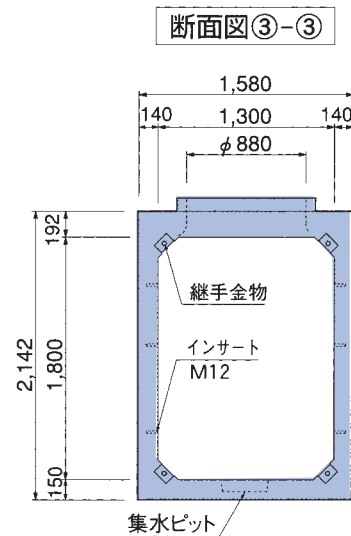
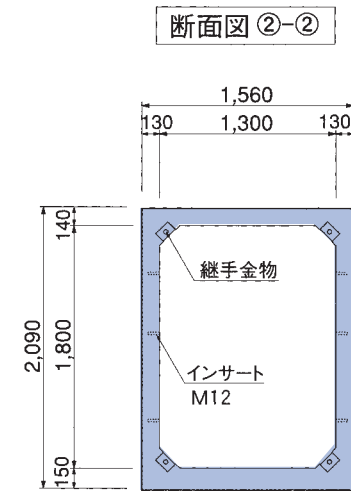
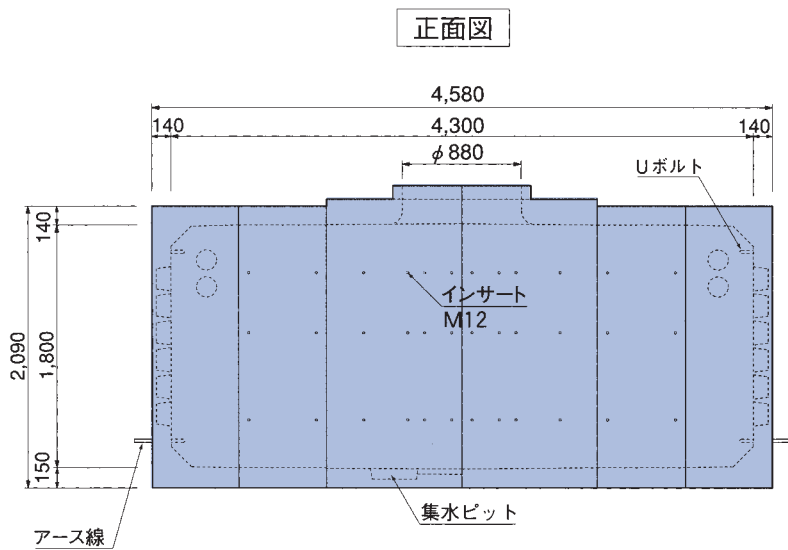
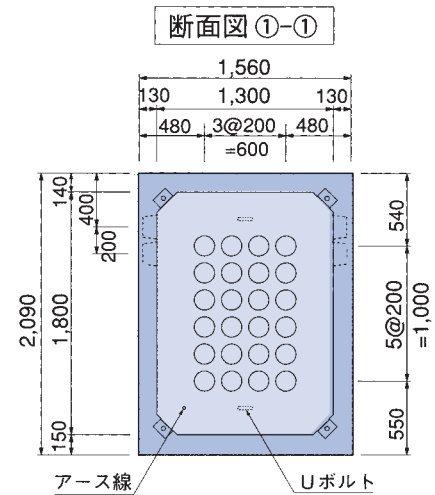
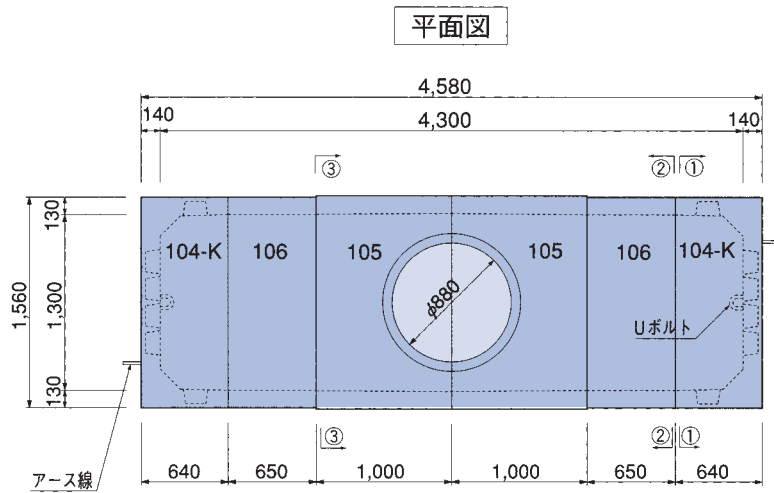
※ブロック番号105、106の増減により長さを変えることができます。

# プレハブマンホール

(A型シリーズ)

## 6 A32型 【1.3×1.8×4.3m】

製品コード	仕様
3121650	関電(基礎板有り)
3123252	一般(基礎板無し)



### 重量表

ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
104-K	管路口	2.36 t	2
105	出入口	2.51 t	2
106	中間	1.54 t	2
合計		12.82 t	

### 適応

- 首座ブロック
- 基礎ブロック

※接続ボルト(本体) M22×20本

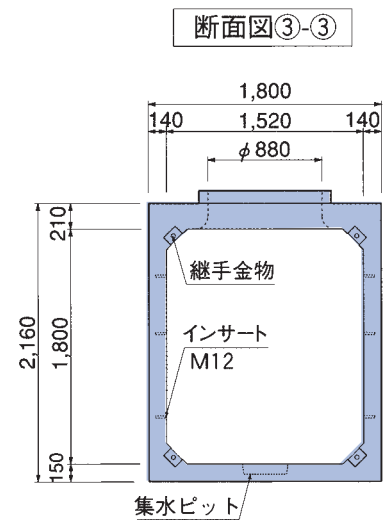
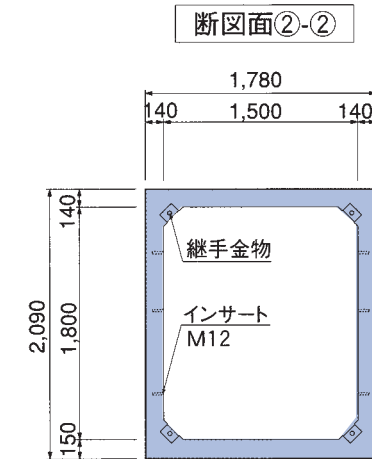
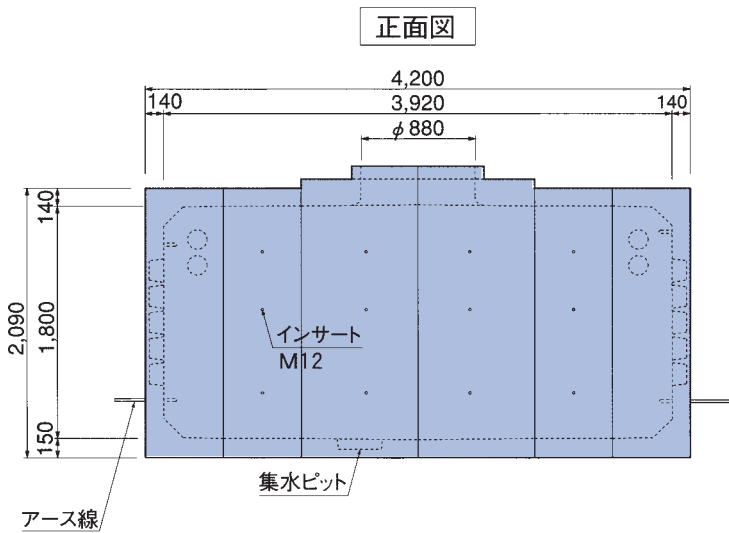
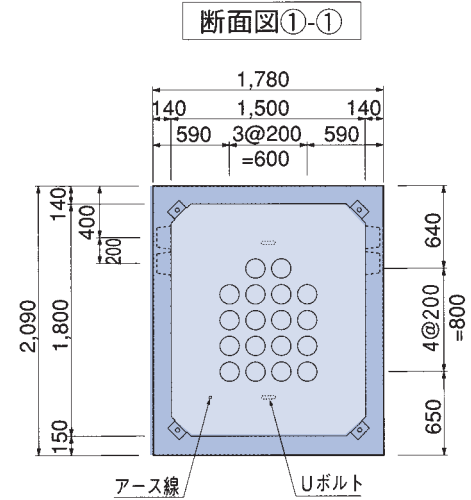
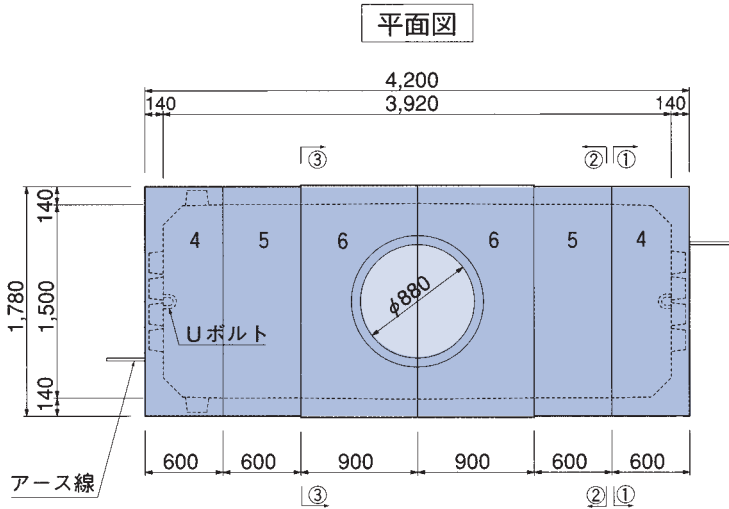
※ブロック番号105、106の増減により長さを変えることができます。

# プレハブマンホール

(A型シリーズ)

## 7 A2型 【1.5×1.8×3.92m】

製品コード	仕様
3121520	関電(基礎板有り)
3123260	一般(基礎板無し)



■ 重量表

ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
NO.4	管路口	2.47 t	2
NO.5	中間	1.50 t	2
NO.6	出入口	2.44 t	2
合計		12.82 t	

- 適応
- 首座ブロック
  - 基礎ブロック

※接続ボルト(本体) M22×20本  
 ※ブロック番号5、6の増減により長さを変えることができます。



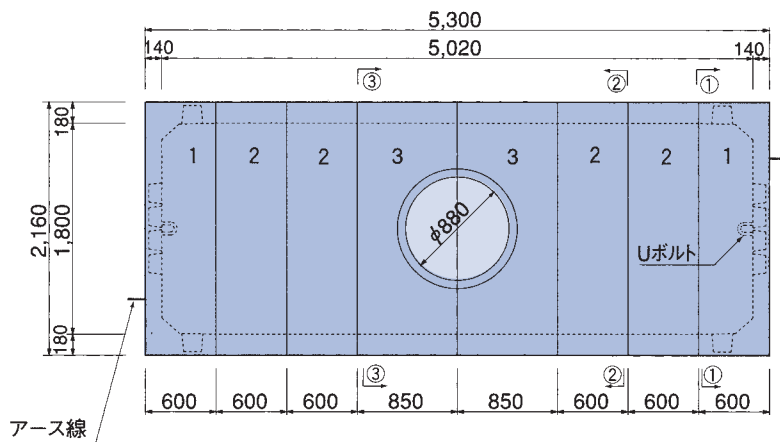
# プレハブマンホール

## (A型シリーズ)

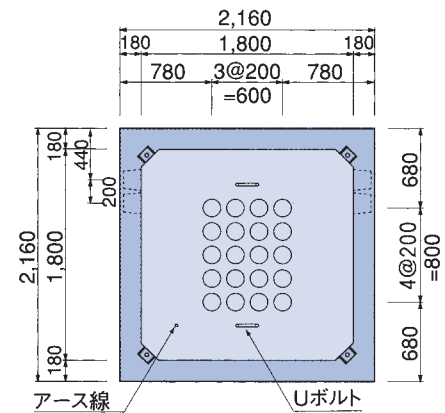
### 8A1型 【1.8×1.8×5.02m】

製品コード	仕様
3121510	関電(基礎板有り)
3123270	一般(基礎板無し)

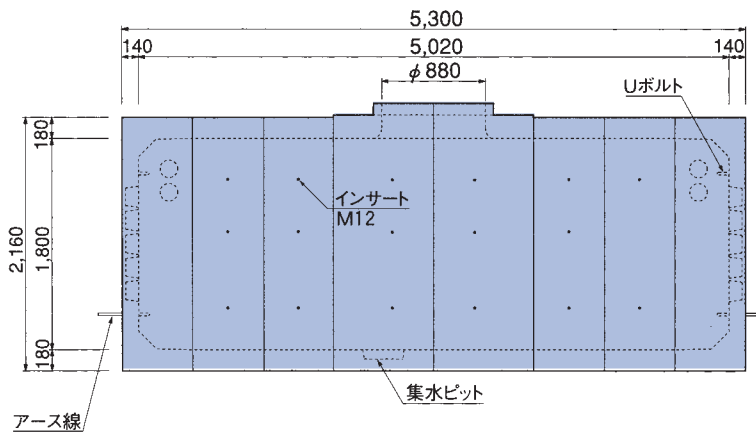
平面図



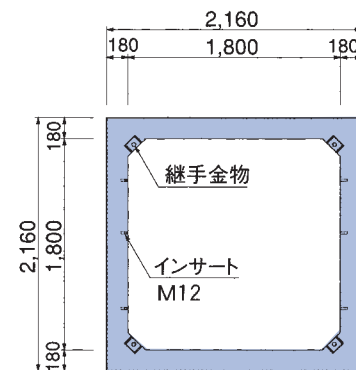
側面図 ①-①



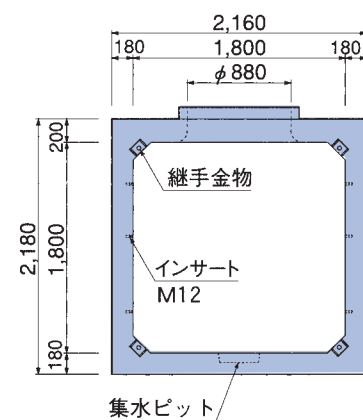
正面図



断面図 ②-②



断面図 ③-③



#### 重量表

ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
NO.1	管路口	3.38 t	2
NO.2	中間	2.18 t	4
NO.3	出入口	3.08 t	2
合計		21.64 t	

#### 適応

- 首座ブロック
- 基礎ブロック

※接続ボルト(本体) M22×28本

※ブロック番号2、3の増減により長さを変えることができます。

# プレハブマンホール

## (B型シリーズ)

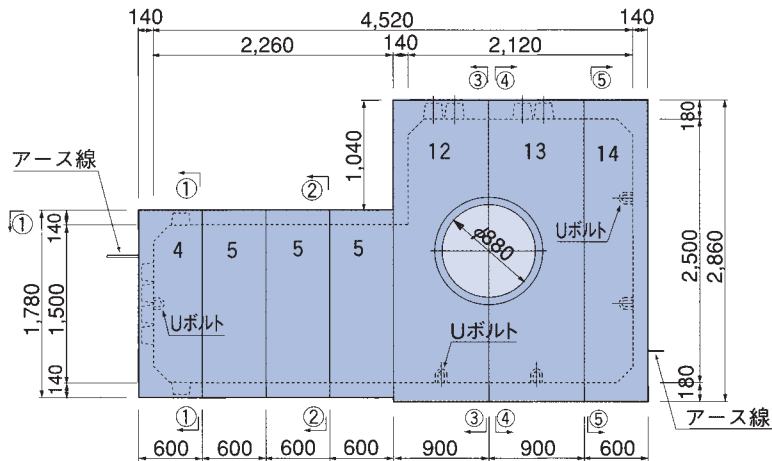
### 1 B2L型、B2R型【1.5(2.5)×1.8×4.52m】

B2L型	製品コード	仕様
	3122220	関電(基礎板有り)
	3123280	一般(基礎板無し)

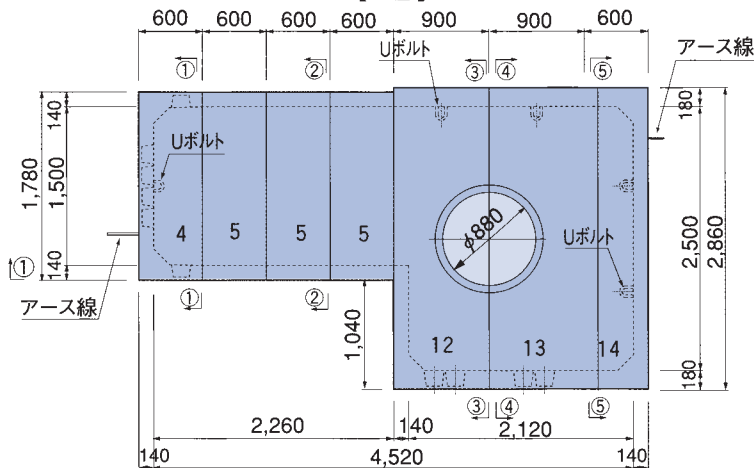
B2R型	製品コード	仕様
	3122210	関電(基礎板有り)
	3123290	一般(基礎板無し)

平面図

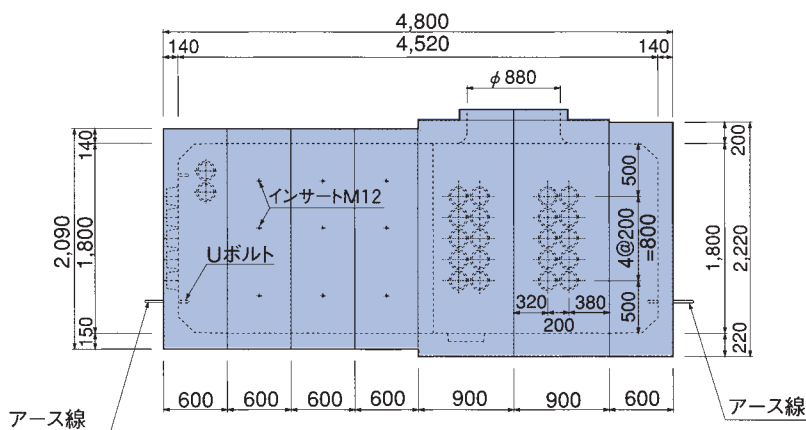
【L型】



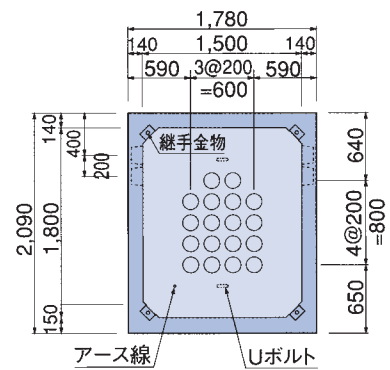
【R型】



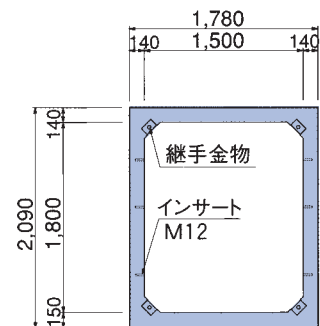
正面図



断面図 ①-①



断面図 ②-②

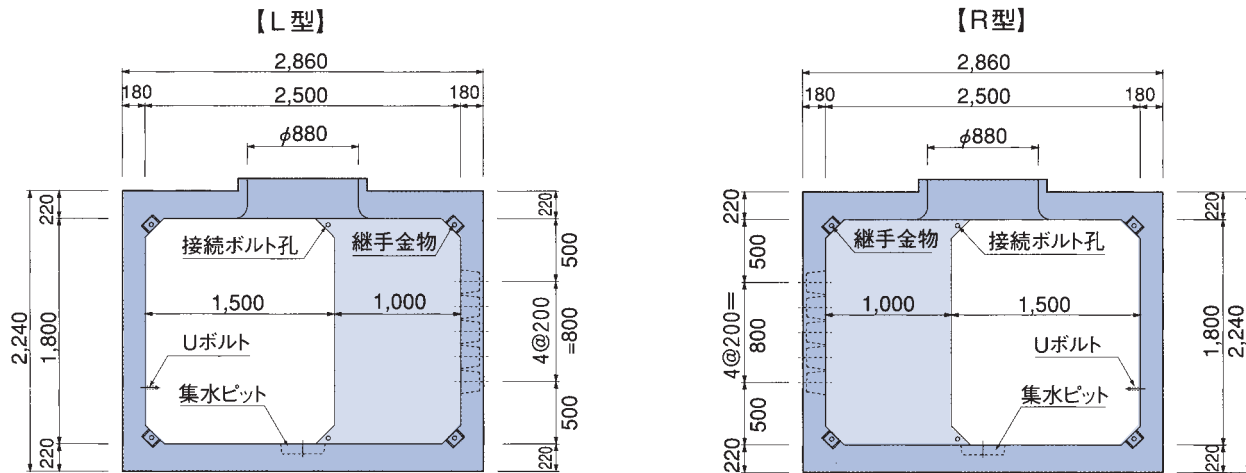


# プレハブマンホール

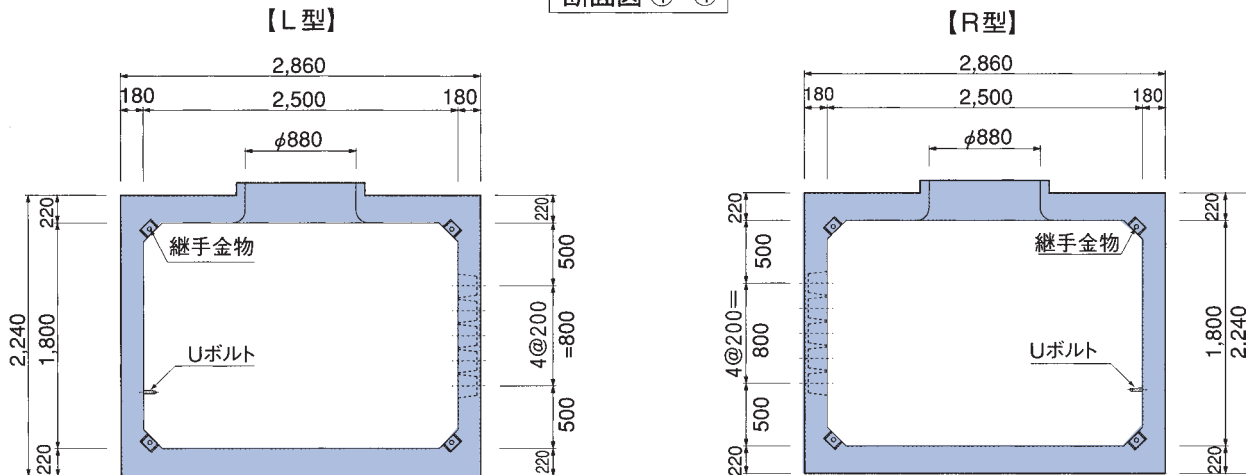
(B型シリーズ)

## 1 B2L型、B2R型【1.5(2.5)×1.8×4.52m】

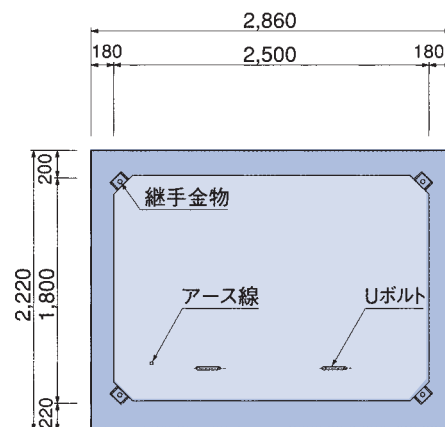
断面図 ③-③



断面図 ④-④



断面図 ⑤-⑤



### 重量表

ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
NO. 4	管路口	2.47 t	1
NO. 5	中間	1.50 t	3
NO.12	異形出入口	4.79 t	1
NO.13	出入口	4.16 t	1
NO.14	管路口	4.58 t	1
合計		20.50 t	

### 適応

- 首座ブロック
- 基礎ブロック

※接続ボルト(本体) M22×24本

※ブロック番号5の増減により長さを変えることができます。

# プレハブマンホール

## (B型シリーズ)

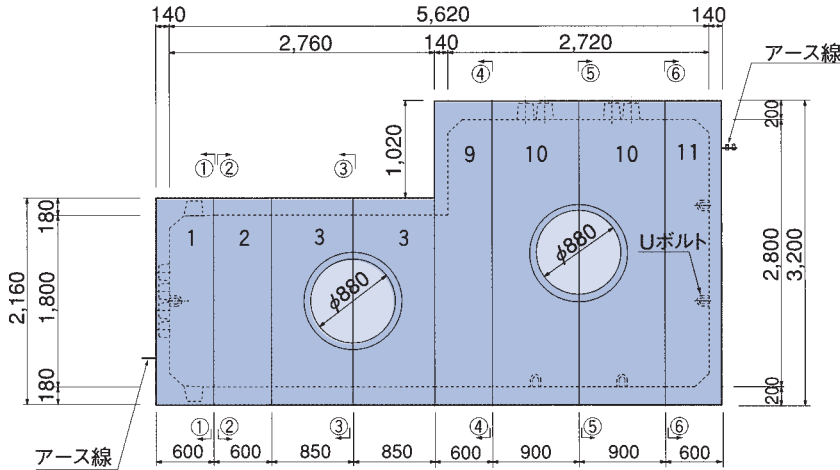
### 2 B1L型、B1R型【1.8(2.8)×1.8×5.62m】

B1L型	製品コード	仕様
	3122120	関電(基礎板有り)
	3123300	一般(基礎板無し)

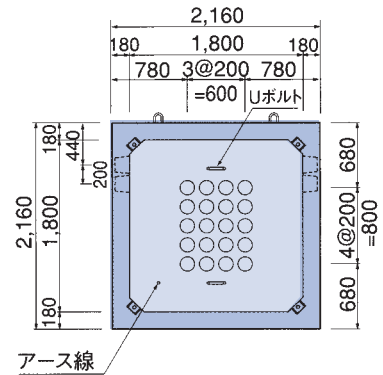
B1R型	製品コード	仕様
	3122110	関電(基礎板有り)
	3123310	一般(基礎板無し)

平面図

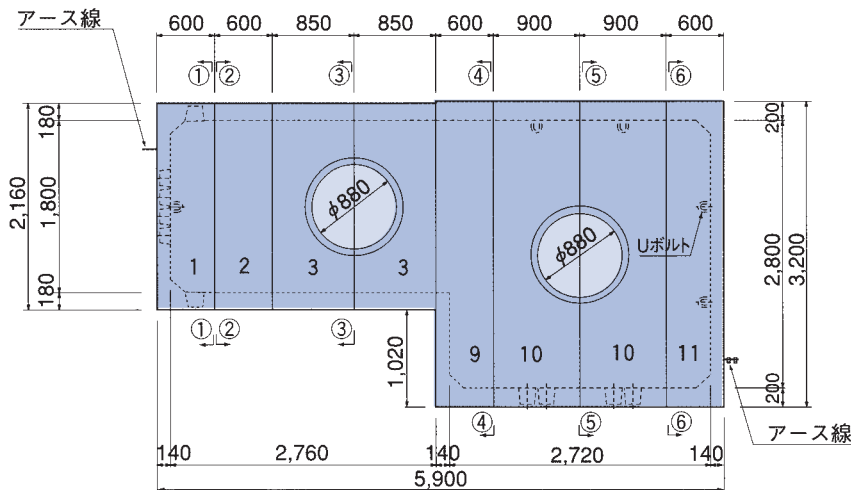
【L型】



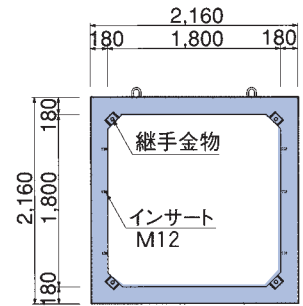
断面図①-①



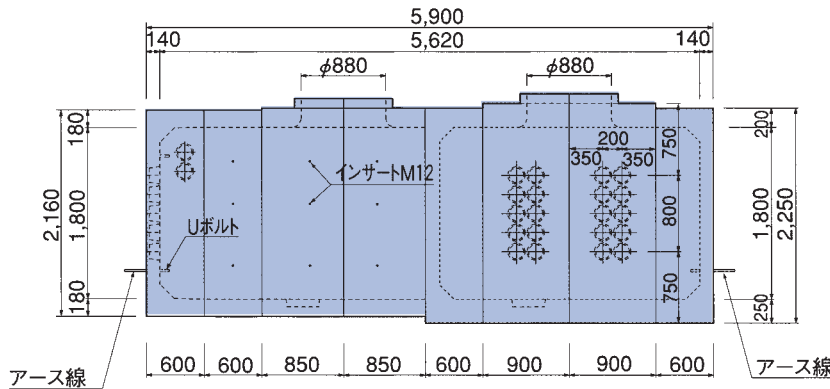
【R型】



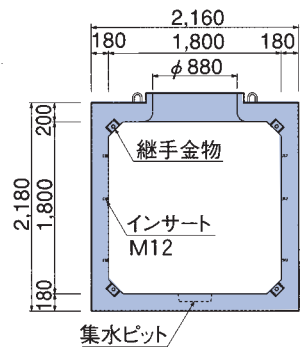
断面図②-②



正面図



断面図③-③

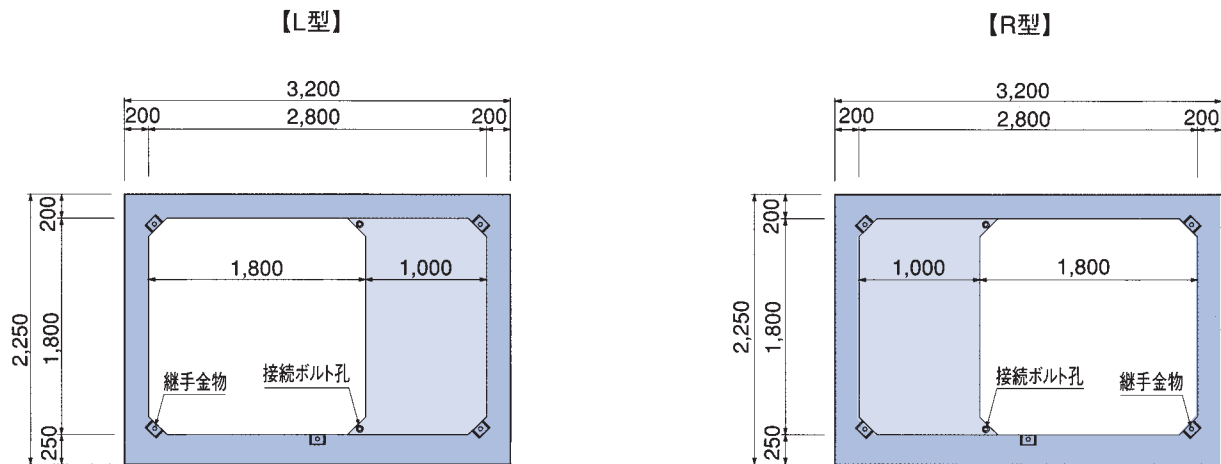


# プレハブマンホール

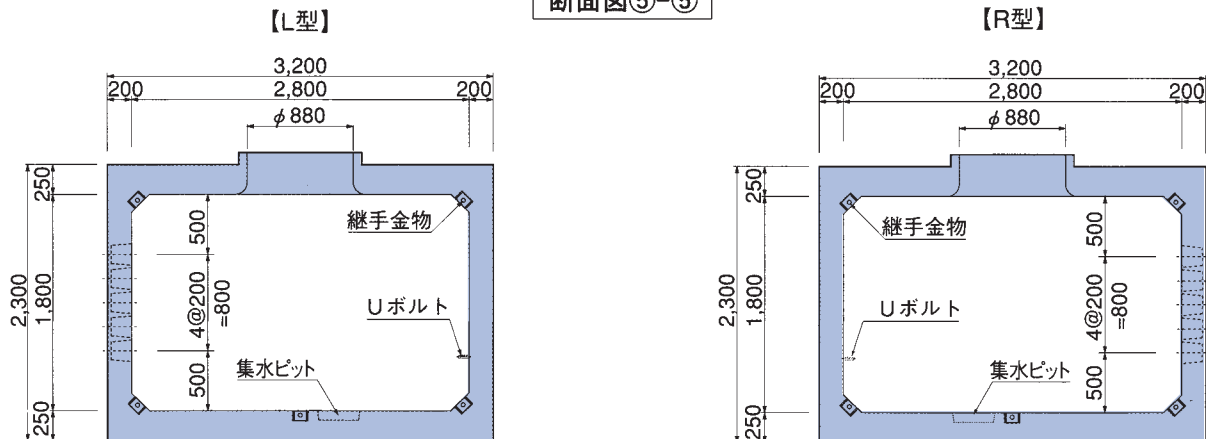
(B型シリーズ)

## 2 B1L型、B1R型【1.8(2.8)×1.8×5.62m】

断面図④-④



断面図⑤-⑤



### 重量表

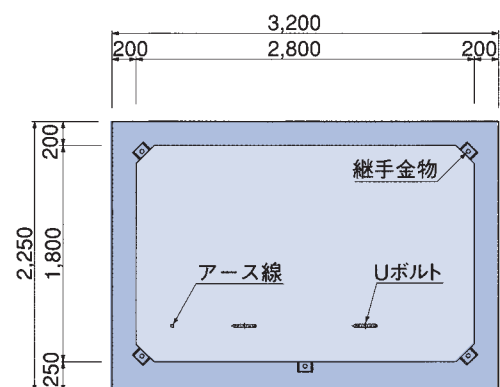
ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
NO. 1	管路口	3.38 t	1
NO. 2	中間	2.18 t	1
NO. 3	出入口	3.08 t	2
NO. 9	異形中間	3.92 t	1
NO.10	出入口	5.05 t	2
NO.11	管路口	5.12 t	1
合計		30.86 t	

### 適応

- 首座ブロック
- 基礎ブロック

※接続ボルト(本体) M22×28本  
 ※ブロック番号2、3の増減により長さを変えることができます。

断面図⑥-⑥





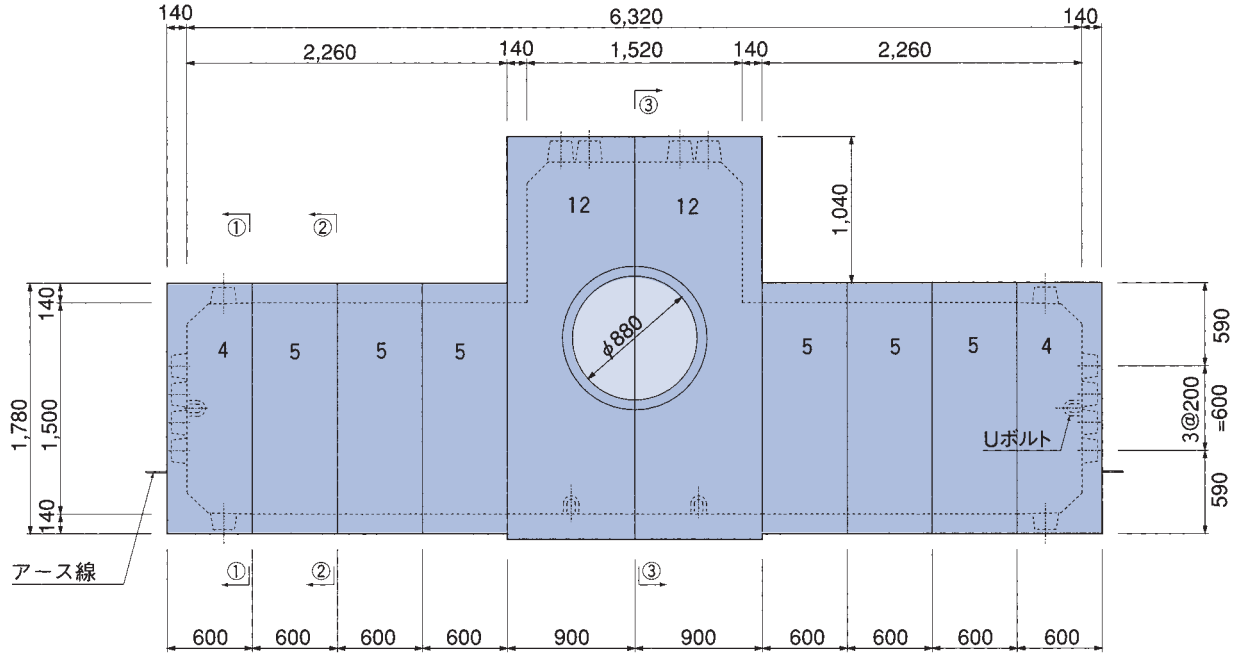
# プレハブマンホール

## ( $\pi$ 型シリーズ)

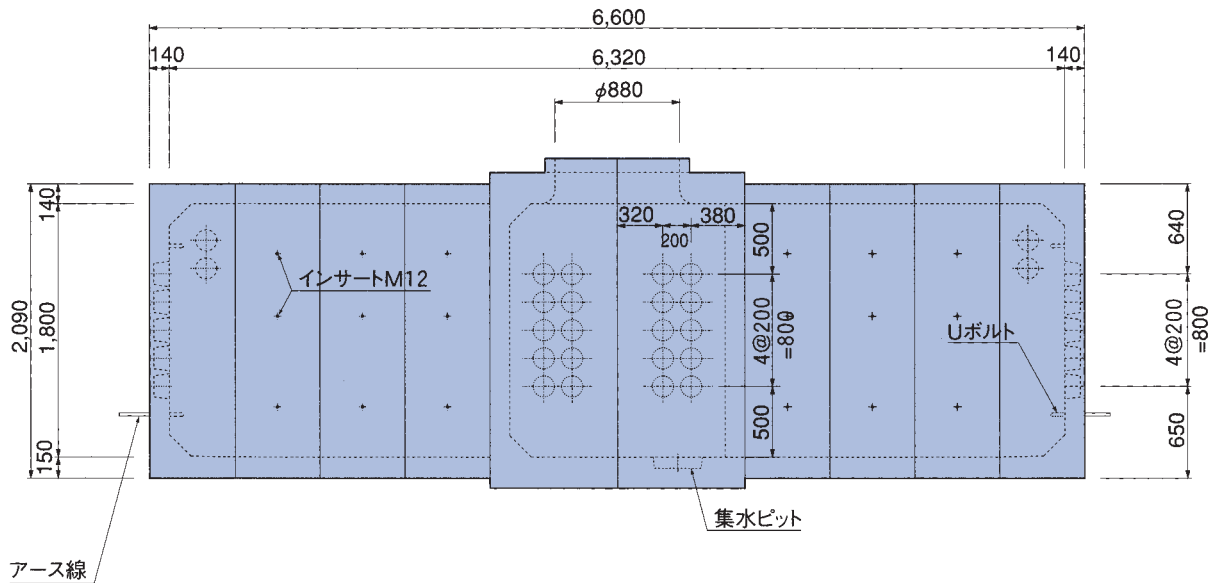
### 1 $\pi$ 2型 【1.5(2.5)×1.8×6.32m】

製品コード	仕様
3123200	関電(基礎板有り)
3123320	一般(基礎板無し)

平面図



正面図







# プレハブマンホール

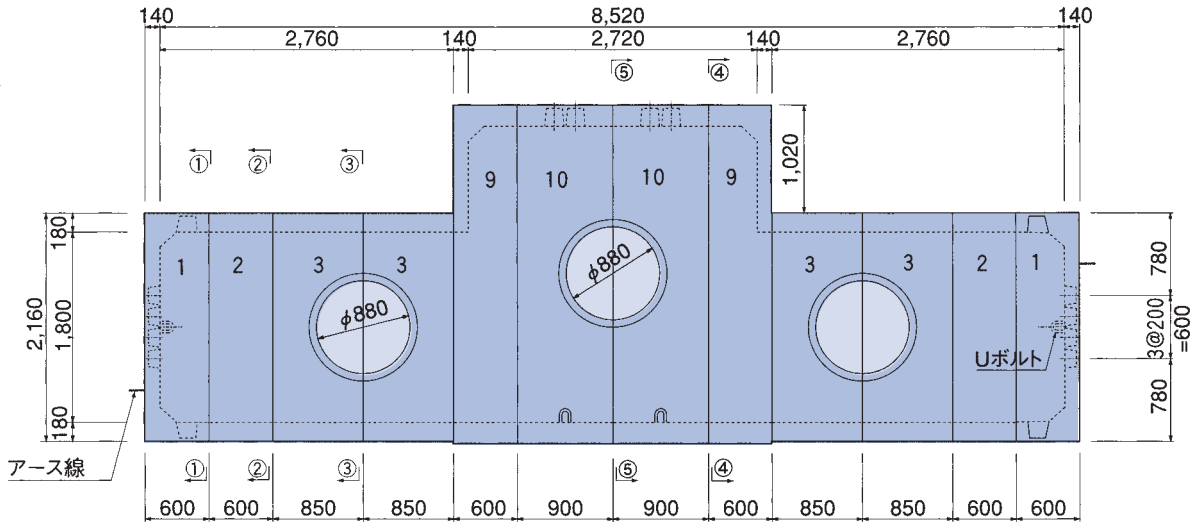
## ( $\pi$ 型シリーズ)

### 2 $\pi$ 1型

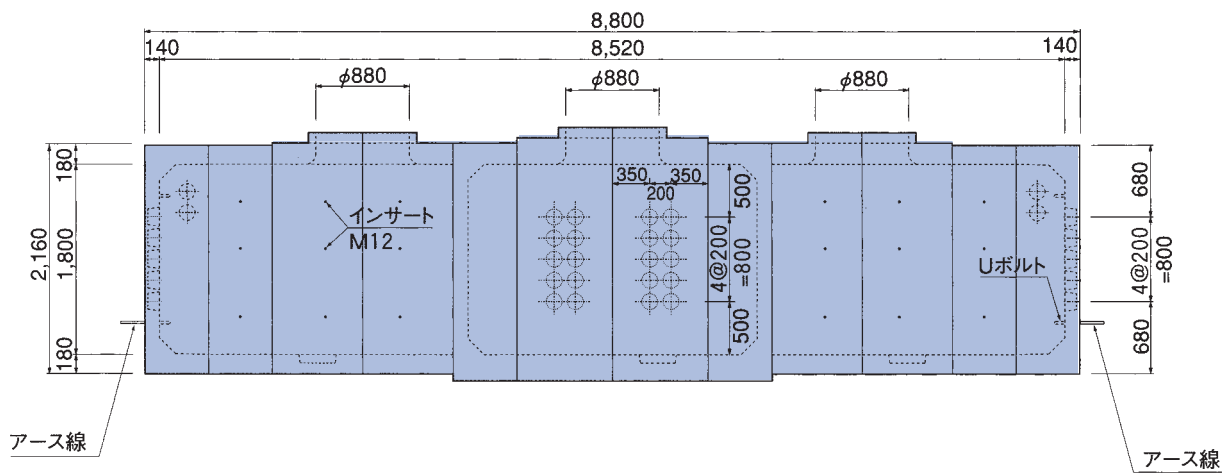
【1.8(2.8)×1.8×8.52m】

製品コード	仕様
3123100	関電(基礎板有り)
3123330	一般(基礎板無し)

平面図



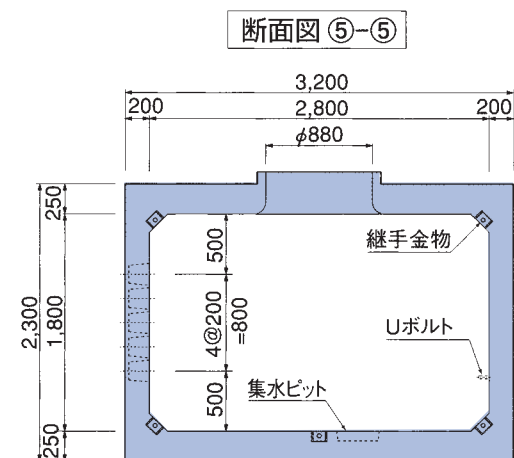
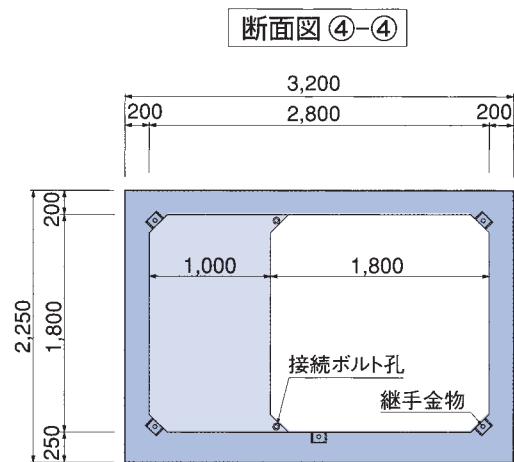
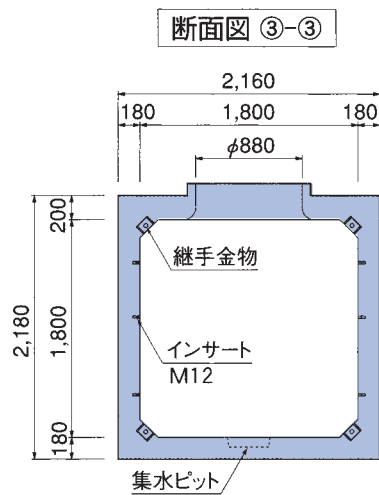
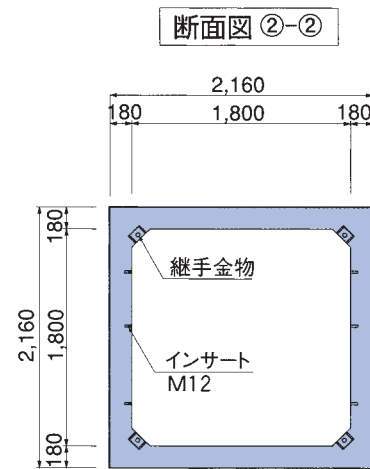
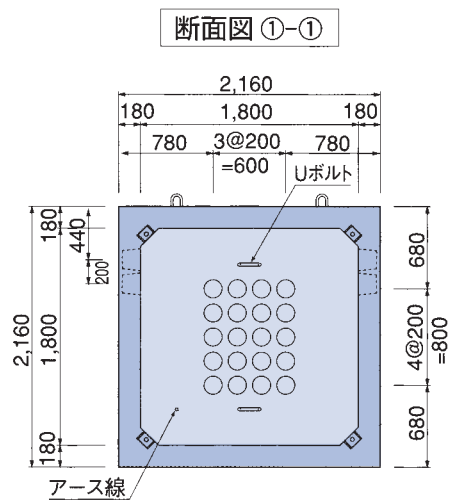
正面図



# プレハブマンホール

( $\pi$ 型シリーズ)

## 2 $\pi$ 1型 【1.8(2.8)×1.8×8.52m】



### ■ 重量表

ブロック番号	ブロック名	重量(1ピース当り)	数量
NO. 1	管路口	3.38 t	2
NO. 2	中間	2.18 t	2
NO. 3	出入口	3.08 t	4
NO. 9	異形中間	3.92 t	2
NO.10	出入口	5.05 t	2
合計		41.38 t	

### ■ 適 応

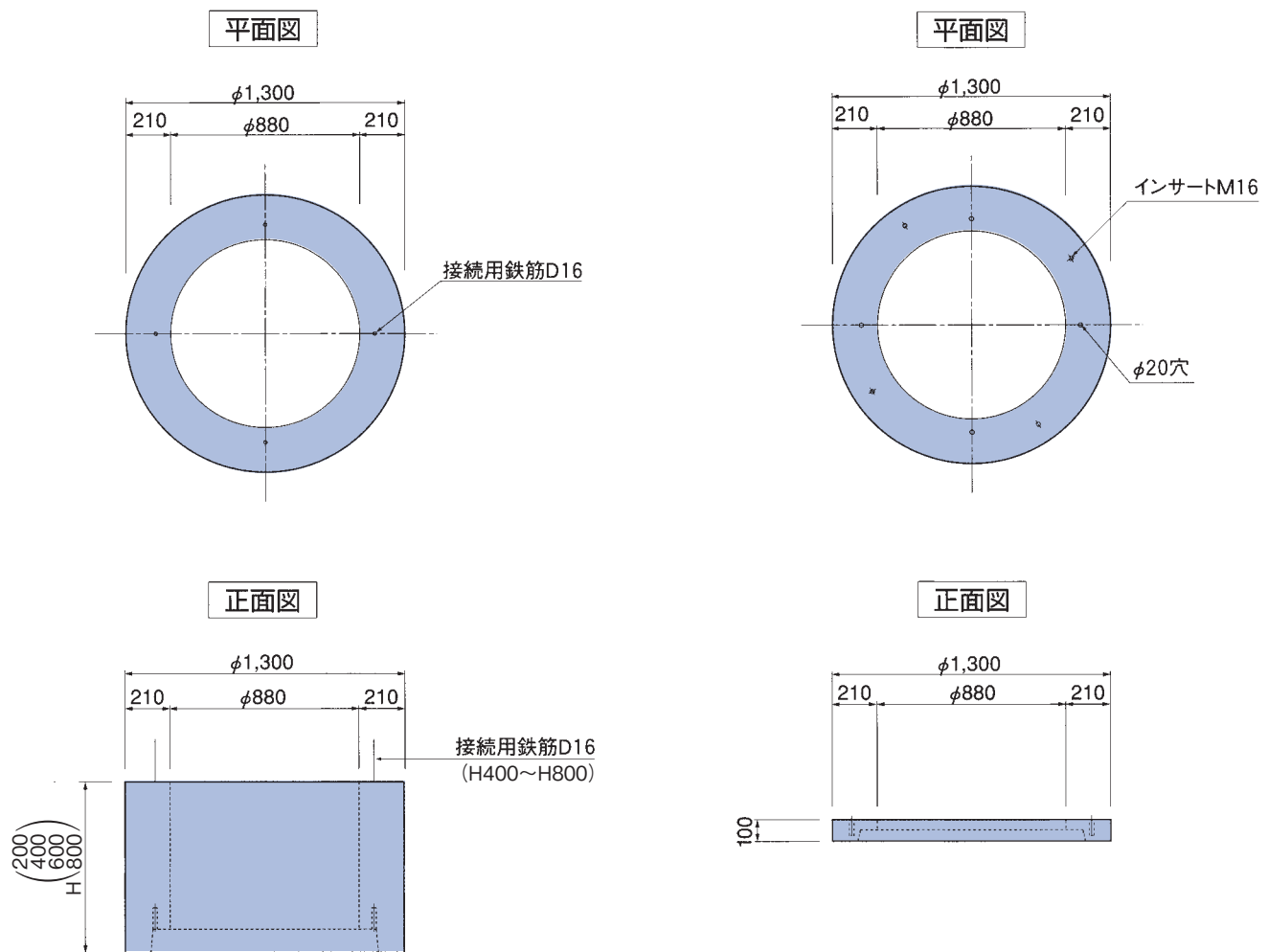
- 首座ブロック
- 基礎ブロック

※接続ボルト(本体) M22×44本

※ブロック番号2、3の増減により長さを変えることができます。

# プレハブマンホール

## 1 首座ブロック

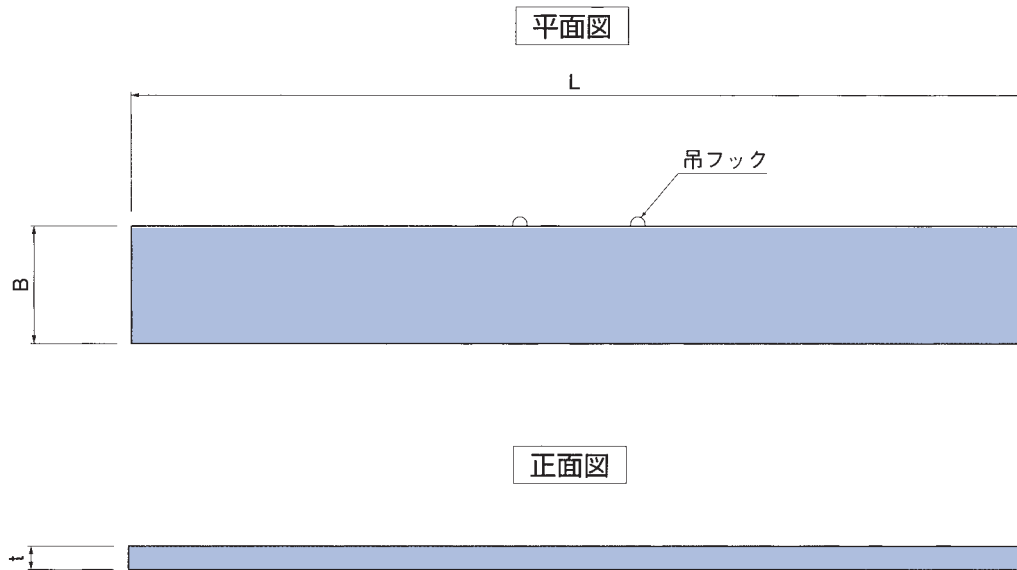


## 重量表

仕様	種別	重量(1ピース当り)	製品コード	型	備考
関電・一般	H=200	0.275t	(3132000)	—	型の呼称は関電仕様
	H=400	0.630 t	(3134000)	I	
	H=600	0.940 t	(3136000)	II	
	H=800	1.260 t	(3138000)	III	
北陸	H=200	0.275 t	(3132200)		ステップ用インサート付の仕様
	H=400	0.630 t	(3134200)		
	H=600	0.940 t	(3136200)		
	H=800	1.260 t	(3138200)		
	H=100(調整用)	0.175 t	(3131000)		単独使用はできません

# ● プレハブマンホール

## 2 基礎ブロック



### ■ 型別の仕様・重量表

型	仕 様			枚数	重 量 (1ピース当り)	製品コード
	L	B	t			
A5	3,500	500	100	2	0.44 t	(3150350)
A51	4,100	500	100	2	0.51 t	(3150410)
A5G	2,400	500	100	2	0.29 t	(3150240)
A3	3,500	500	100	2	0.44 t	(3150350)
A31	4,100	500	100	2	0.51 t	(3150410)
A32	4,800	500	100	2	0.60 t	(3150480)
A2	4,200	500	100	2	0.51 t	(3150420)
A1	5,300	500	100	2	0.64 t	(3150530)
B2L・R	2,400	500	100	2	0.29 t	(3150240)
	2,900	500	100	1	0.35 t	(3150290)
	2,400	500	170	2	0.50 t	(3157240)
B1L・R	3,000	500	100	2	0.36 t	(3150300)
	3,300	500	100	1	0.40 t	(3150330)
	2,900	500	170	2	0.61 t	(3157290)
π2	1,800	500	100	2	0.22 t	(3150180)
	2,900	500	100	2	0.35 t	(3150290)
	2,400	500	170	4	0.50 t	(3157240)
π1	3,000	500	100	2	0.36 t	(3150300)
	3,300	500	100	2	0.40 t	(3150330)
	2,900	500	170	4	0.61 t	(3157290)

※ t=70 仕様の製品もあります。

### 1 掘削の標準寸法

基礎工300mmの場合

項目	A5	A51	A5G	A3	A31	A32	A2	A1
掘削幅	2.2	2.2	2.2	2.5	2.5	2.5	2.6	3.0
掘削長さ	4.2	4.9	3.3	4.2	4.9	5.6	5.2	6.3
掘削深さ	2.4+H	2.4+H	2.4+H	2.4+H	2.4+H	2.4+H	2.5+H	2.5+H

算定式 掘削幅 =  $\sqrt{(\text{ブロック幅})^2 + (\text{ブロック長})^2} + 600\text{mm}$

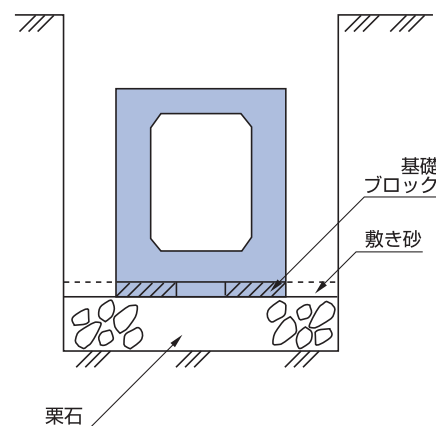
掘削長さ = マンホールの長さ + 1,000mm

掘削深さ = 基礎の深さ + マンホールの高さ + 土かぶり (H)

※ダクトスリーブ付きの場合は、掘削長さに配慮が必要です。

### 2 基礎工

掘削底部を十分に締め固めた後栗石を敷き、締め固め機で十分締め固めたのち、目潰し砂を施し、再度締め固めます。この場合の栗石の厚さは200mm以上を標準としています。この栗石基礎の上に基礎ブロックを水平になるよう敷設し、周囲は基礎ブロック高さまで敷き砂を施しこれを十分締め固めます。ただし、地盤が堅固で沈下のおそれがない場合は栗石を省略することもあります。なお、現場で基礎コンクリートを打設する場合は基礎ブロックを使用する必要はありません。



### 3 据付工

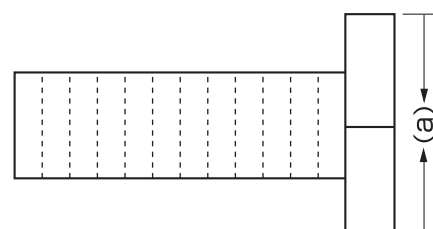
#### 3-1. 本体ブロックの据付

- (1) ブロックの吊込みはトラッククレーンまたはラフタークレーンを使用する。
- (2) 中央部のブロックを最初に吊込み、これを規定の位置に据付ける。
- (3) 隣接するブロックを吊込み、M22のボルトで締め付ける。ボルトの締め付けはM22用のスパナ等を用い、4箇所の継手部を同時または対角線上の2箇所を同時に締め付ける。  
なお、ブロックとブロックの目地間隔が5mmになるまで締め付ける。
- (4) 反対側に隣接するブロックを吊込み、ボルトで締める。以上隣接するブロックを交互に締め付ける。

※ 工具寸法

単位：(mm)

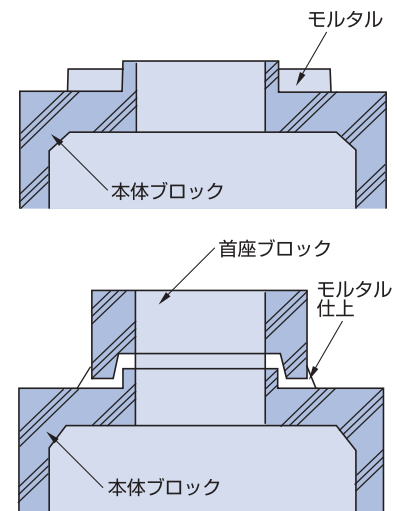
呼び径	ボックス、スパナa
M12	19
M16	24
M20	30
M22	32



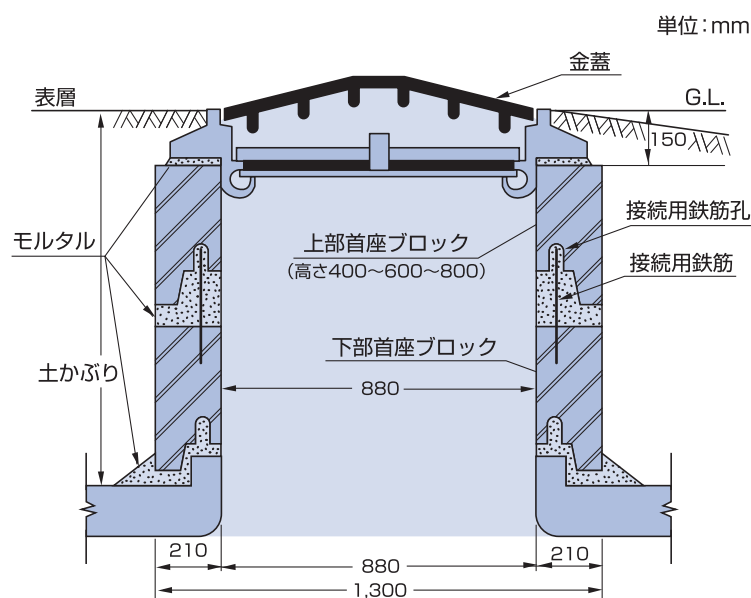
### 3 据付工

#### 3-2. 首座ブロックの据付

- (1) 本体の首座ブロック据付け位置にモルタルを約30mmの厚さで敷き、首座ブロックを水平に敷設します。
- (2) 首座ブロックを土かぶりに合せて段積みする場合は首座ブロック上面の接続鉄筋に段積みする首座ブロックを差し込み、切込部にモルタルをつめ込みます。なお、最上部の接続鉄筋は切断します。
- (3) 金蓋の取り付けは、首座ブロックの上部にモルタルを路面勾配に合うように敷き取り付けます。



首座ブロックと金蓋の組合わせ図



#### 3-3. 内装仕上

- (1) 本体ブロックおよび首座ブロックの接合面およびボルトボックス部のゴミやレイタンス等を取り除き、きれいに清掃します。
- (2) 接合面およびボルトボックス部のコンクリートには十分水を吸収させ湿潤状態にします。
- (3) ボルトボックス部は高性能無収縮モルタルで充填し内面と平滑となるように仕上げます。  
又、本体ブロック接合面は高性能無収縮モルタルで内部までゆきわたるように仕上げます。

注1) マンホール等を植栽部などに設置する場合には、外側上面および側面の接合面にも高性能無収縮モルタル等で仕上げしてください。

注2) 上部のボルトボックスの充填、上面コーキングを行う場合、高性能無収縮モルタルはできるだけ固練りで仕上げます。

※ 高性能無収縮モルタルは水を加えるだけでモルタルとして使用できます。

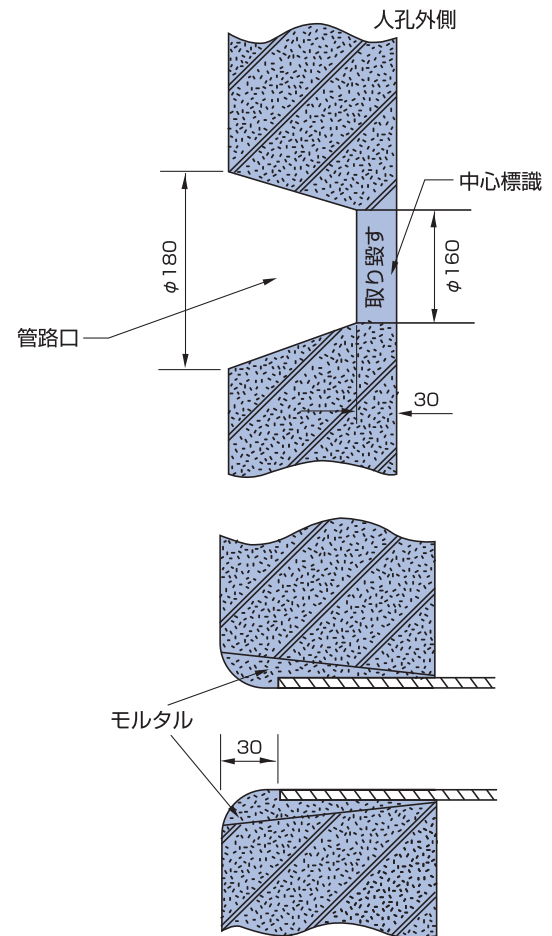
### 4 管路の取付け

#### 4-1. 管路口の孔あけ

管路口は右図のような形状になっているので管路を接続する孔のみ、コンクリートを外側からハンマー等でハツリます。なお、ハツルときは周囲に悪影響をあたえないように注意してください。

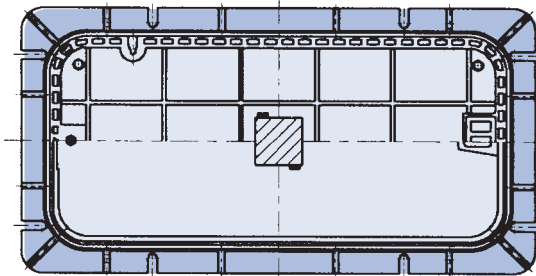
#### 4-2. 管路口の仕上

コンクリート壁を水でしめして湿潤にし、壁と管路の隙間にモルタルを十分詰めてコーキングします。さらに管路口は、なめらかな円弧をつけて仕上げます。

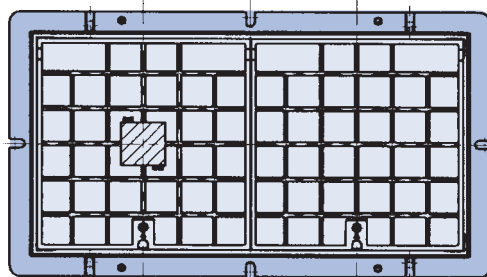


# ● プレハブマンホール関連商品 (取扱商品)

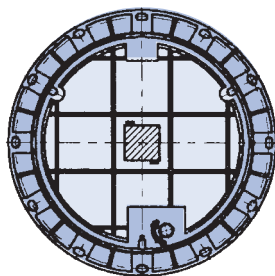
## 1 鉄 蓋



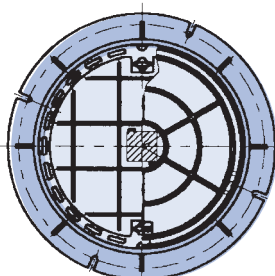
500×1200、600×1200



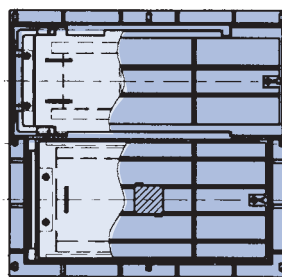
600×1200



φ750、φ700、φ600



φ870



1000×1000将来機器用

●メモ



Handwriting practice area consisting of a solid top line, a dashed midline, and a solid bottom line, repeated down the page.

